

は、金盥でもバケツでもたゞいて警報せよ。

▼夜間は各戸でバケツに水を満たし、これに柄杓を添へておけ。

▼近所で火事騒ぎがあつたら、消火器か汲置のバケツをさげて消火に協力せよ。

▼煙ほどに火は大きいものでないから始めの内に思ひ切つて奮闘して「小火」の内

に消防に努めよ。

▼火を消すことに氣をとられて、消防署に知らせることを忘れてはいけない。消火する人と警報する人とに手わけするがよい。

▼火災報知機の押し方や、火事特有の電話のかけ方は、平常そのある附近の箇所

▼村落で火災が突發したら、報知設備のないところは、火事を目撃した人が火の見

梯子に登つて半鐘をたゞけ。

▼老人、子供、病人、不具者はなるたけ

二階に寝かすな。火事になつたらこれ等の

人は家人が附添つて早く風上の安全な場所

に一時避難させよ。

▼煙に巻かれた時は、這つて壁に傳つて

逃げよ。手拭を水に浸して鼻や口を掩へば、

煙の窒息を防ぐ効果がある。二階から外部

に逃げ出す時は、蒲團を巻いて抱いて飛ぶ

か、麻紐かまたは帯を結び合せて、その端

を柱にくくりつけて、すべり降りよ。窓外

に吊してある物干竿を滑棒に代用するの

もよい。

▼消防隊が来たなら道を開き、荷を片づ

けて極力援助せよ。決して妨害になつては

いけない。家の内に逃げおくれた人があつ

たら、早くその場所を消防隊の人に教へて

救助の途をとらせよ。

▼着物に火がついたら、すぐころがりな

がらもみ消せ、毛布か蒲團を巻いてすれば

なほよい。立つたまゝもみけすのは危険で

ある。

▼水をかけるにはなるたけ火に接近して

燃えてゐる物にかける。煙にかけては利き

目がない。油や薬品は水をかけると大きく

なるから、土砂か灰をかけるか、または濡

藁か蒲團類で掩ふとよい。精進湯や油揚の

鍋に火が道入つた時は、ウドン粉か、鹽を

投げ込め、青菜を投げ込むとすぐ消える。

機械磨擦の發火には鋸屑に重曹をまぜた粉

末消火剤がよい。電氣の火事は一時も早く

スキツチを斷つて消防署に急報せよ。更に

餘裕があつたら、電燈會社にも知らせる。

電氣の火事に水をかけるのは危い。

▼貴重品は身に着け、都會地では家財の

搬出は身につけられるだけにせよ。家財に

執着すると避難の時を逸して生命を失ふ場

合がある。搬出した荷物は路上や橋の上に

置いてはならない。荷物の番人はなるたけ

家財を知つてゐる大人がよい。

(警視廳消防部)

警察犯處罰令

(明治四十一年内務

省令大正八年改正)

警察署長または分署長はその管轄區域内

に於ける左記犯罪に該當するものを即決

處罰することを得

第一條 左の各號の一に該當する者は三十

日未滿の拘留に處す

- 一、故なく人の居住若は看守せざる邸宅、建造物及船舶内に潜伏したる者
 - 二、密賣淫を爲し又は其の媒合若は容止を爲したる者
 - 三、一定の住居又は生業なくして諸方に徘徊する者
 - 四、故なく面會を強請し又は強談威迫の行爲を爲したる者
- 第二條 左の各號の一に該當する者は三十日未滿の拘留又は二十圓未滿の科料に處す
- 一、合力、喜捨を強請し又は強て物品の購買を求めたる者
 - 二、乞丐を爲し又は爲さしめたる者
 - 三、濫に寄附を強請し又は收利の目的を以て強て物品、入場券等を配付したる者
 - 四、入札の妨害を爲し又は共同入札を強請し若は落札人に對し其の事業又は利益の分配若は金品を強請したる者
 - 五、他人の業務に對し惡戯又は妨害を爲したる者
 - 六、新聞紙、雜誌其の他の方法を以て誇大又は虚偽の廣告を爲し不正の利を圖りたる者
 - 七、新聞紙、雜誌其の他の出版物の購讀

- 又は廣告掲載に付強て其の申込を求めたる者
- 八、申込なき新聞紙、雜誌其の他の出版物を配付し又は申込なき廣告を爲し其の代料を請求したる者
 - 九、祭事、祝儀又は其の行列に對し惡戯又は妨害を爲したる者
 - 十、自己占有の場所内に老幼、不具又は疾病の爲め扶助を要する者若は人の死屍、死胎あることを知りて速に警察官吏に申告せざる者
 - 十一、公衆の自由に交通し得る場所に於て喧噪し、横臥し又は泥酔して徘徊したる者
 - 十二、公衆の自由に交通し得る場所に於て濫に車馬舟筏其の他の物件を置き又は交通の妨害となるべき行爲を爲したる者
 - 十三、公衆の自由に交通し得る場所に於て危険の虞あるとき點燈其の他豫防の裝置を爲すの義務を怠りたる者
 - 十四、劇場、寄席其の他公衆會同の場所に於て會衆の妨害を爲したる者
 - 十五、雑沓の場所に於て制止を肯ぜず混

- 雑を增すの行爲を爲したる者
- 十六、人を誑惑せしむべき流言浮説又は虚報を爲したる者
 - 十七、妄に吉凶禍福を説き又は祈禱、符呪等を爲し若は守札類を授與して人を惑はしたる者
 - 十八、病者に對し禁厭、祈禱、符呪等を爲し又は神符、神水等を與へ醫療を妨げたる者
 - 十九、濫に催眠術を施したる者
 - 二十、官職、位記、勳牌、學位を詐り又は法令の定むる服飾、徽章を借用し若は之に類似のものを使用したる者
 - 二十一、官公署に對し不實の申述を爲し又は其の義務ある者にして故なく申述を肯ぜざる者
 - 二十二、人の飲用に供する淨水を汚穢し又は其の使用を妨げ若は其の水路に障礙を爲したる者
 - 二十三、河川、溝渠又は下水路の疏通を妨ぐべき行爲を爲したる者
 - 二十四、自己又は他人の身體に刺文したる者
 - 二十五、出入を禁止したる場所に濫に入したる者
 - 二十六、官公署の榜示し若は官公署の指

揮に依り榜示せる禁條を犯し又は其の設置に依る榜標を汚濁し若は撤去したる者

二十七、水火災其の他の事變に際し制止を肯せずして其の現場に立入り若は其の場所より退去せず又は官吏より援助の求を受けたるに拘らず傍觀して之に應ぜざる者。

二十八、濫に他人の標燈又は社寺、道路、公園其の他公衆用の常燈を消したる者

二十九、他人の田野、園圃に於て菜果を採摘し又は花卉を採折したる者

三十、使用者にして勞役者に對し故なく其の自由を妨げ又は苛酷の取扱を爲したる者

三十一、濫に他人の身邊に立塞がり又は追隨したる者

三十二、他人の身體、物件又は之に害を及ぼすべき場所に對し物件を抛擲し又は放射したる者

三十三、神祠、佛堂、禮拜所、墓所、碑表、形像其の他之に類する物を汚濁したる者

三十四、人の死屍又は死胎を隠匿し又は他物に紛ばしく擬裝したる者

三十五、一定の飲食物に他物を混じて不正の利を圖りたる者

三十六、不熟の果物、腐敗の肉類、其の他健康を害すべき食物を營利の用に供したる者

三十七、濫に他人の繋ぎたる舟筏、牛馬其の他の獸類を解放したる者

第三條 左の各號の一に該當する者は二十圓未満の料料に處す

一、許可なくして人の死屍又は死胎を解剖し又は之れが保存を爲したる者

二、公衆の目に觸るべき場所に於て袒裼、裸程し又は臀部、股部を露はし其の他醜體を爲したる者

三、街路に於て尿管を爲し又は爲さしめたる者

四、濫に銃砲の發射を爲し又は火藥其の他劇發すべき物を遊びたる者

五、家屋其の他の建造物若は引火し易き物の近傍又は山野に於て濫に火を焚く者

六、石炭其の他自然發火の虞ある物の取扱を忽にしたる者

七、開業の産婆故なく妊婦、産婦の招きに應ぜざる者

八、故なく官公署の召喚に應ぜざる者

九、炮資、洗滌、剥皮等を要せず其の儘食用に供すべき飲食物に覆蓋を設けず店頭に陳列したる者

十、濫に禽獸の死屍又は汚穢物を棄擲し又は之れが取除の義務を怠りたる者

十一、監置に係る精神病者の監護を怠り屋外に徘徊せしめたる者

十二、濫に犬其の他の獸類を嘯し又は驚逸せしめたる者

十三、狂犬、猛獸等の繋鎖を怠り逸走せしめたる者

十四、公衆の目に觸るべき場所に於て牛馬其の他の動物を虐待したる者

十五、濫に他人の家屋其の他の工作物を汚濁し若は之に貼紙を爲し又は他人の標札、招牌、賣貸家札其の他榜標の類を汚濁し若は撤去したる者

十六、橋梁又は堤防を損壞するの虞ある場所に舟筏を繋ぎたる者

十七、通路なき他人の田圃を通行し又は之に牛馬諸車を牽入れたる者

第四條 本令に規定したる違反行為を教唆し又は幫助したる者は各本條に照し之を罰す但し情狀に依り其の刑を免除することを得

鑄鋼、鑄造、砲金、製菓、鍛冶、

暖房、家庭用のコトクス

ベンゾール 硫酸安母仁亞、ナフタリン

ピツチクレオソート油、コールタール

名古屋市中區御器所町高繩手

東邦瓦斯株式會社副産課

電(代表)南三一番

道府縣・都市

郡市町村數 (帝國統計年鑑)

郡數	昭和五年		同六年		同七年	
	數	市	數	市	數	市
村	計	町	計	町	計	町
二	九、九〇〇	一、七〇八	二、八〇三	一、七〇八	二、八〇三	一、七〇八
三	九、九〇〇	一、七〇八	二、八〇三	一、七〇八	二、八〇三	一、七〇八

府縣別市町村數

本表は内務省調査による昭和八年四月末日現在に於ける市町村數にして町村の區別なきも前掲の郡市町村數と比較すれば七年度の増減を窺ひ知ることが出来るであらう。

道府縣	市	町	村
北海道	七	二六四	二、四〇〇
青森縣	一	一六四	一、三三〇
岩手縣	一	一三六	一、〇七〇
福島縣	一	一三六	一、〇七〇
栃木縣	一	一三六	一、〇七〇
埼玉縣	一	一三六	一、〇七〇
東京府	一	一三六	一、〇七〇

道府縣文官人員 (昭和六年末)

道府縣	市	町	村	合計
北海道	一	一	一	三
青森縣	一	一	一	三
岩手縣	一	一	一	三
北海道廳	一	一	一	三
合計	三	三	三	九

府縣別道路延長 (昭和六年末)

道府縣	市道	町村道	合計
北海道	五、九三〇	三、六五三	九、五八三
青森縣	一、六六一	一、六三九	三、二五〇
岩手縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
宮城縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
秋田縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
山形縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
福島縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
茨城縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
栃木縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
群馬縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
埼玉縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
東京府	一、七六一	一、六三九	三、三九九
神奈川縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
新潟縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九
富山縣	一、七六一	一、六三九	三、三九九

道府縣	市	町	村	合計
石川縣	一	一	一	三
福井縣	一	一	一	三
山梨縣	一	一	一	三
長野縣	一	一	一	三
岐阜縣	一	一	一	三
靜岡縣	一	一	一	三
愛知縣	一	一	一	三
三重縣	一	一	一	三
滋賀縣	一	一	一	三
京都府	一	一	一	三
大阪府	一	一	一	三
兵庫縣	一	一	一	三
奈良縣	一	一	一	三
和歌山縣	一	一	一	三
鳥取縣	一	一	一	三
島根縣	一	一	一	三
岡山縣	一	一	一	三
廣島縣	一	一	一	三
山口縣	一	一	一	三
徳島縣	一	一	一	三
香川縣	一	一	一	三
愛媛縣	一	一	一	三
高知縣	一	一	一	三
福岡縣	一	一	一	三
佐賀縣	一	一	一	三
長崎縣	一	一	一	三

地方廳文官俸給 (昭和七年)

道府縣	人員	俸給	人員	給料年額
和歌山縣	一	一四三	一	七九九
鳥取縣	一	一四三	一	七九九
島根縣	一	一四三	一	七九九
岡山縣	一	一四三	一	七九九
廣島縣	一	一四三	一	七九九
山口縣	一	一四三	一	七九九
徳島縣	一	一四三	一	七九九
香川縣	一	一四三	一	七九九
愛媛縣	一	一四三	一	七九九
高知縣	一	一四三	一	七九九
福岡縣	一	一四三	一	七九九
佐賀縣	一	一四三	一	七九九
長崎縣	一	一四三	一	七九九
熊本縣	一	一四三	一	七九九
大分縣	一	一四三	一	七九九
宮崎縣	一	一四三	一	七九九
鹿兒島縣	一	一四三	一	七九九
沖縄縣	一	一四三	一	七九九

道府縣	人員	俸給	人員	給料年額
和歌山縣	一	一四三	一	七九九
鳥取縣	一	一四三	一	七九九
島根縣	一	一四三	一	七九九
岡山縣	一	一四三	一	七九九
廣島縣	一	一四三	一	七九九
山口縣	一	一四三	一	七九九
徳島縣	一	一四三	一	七九九
香川縣	一	一四三	一	七九九
愛媛縣	一	一四三	一	七九九
高知縣	一	一四三	一	七九九
福岡縣	一	一四三	一	七九九
佐賀縣	一	一四三	一	七九九
長崎縣	一	一四三	一	七九九
熊本縣	一	一四三	一	七九九
大分縣	一	一四三	一	七九九
宮崎縣	一	一四三	一	七九九
鹿兒島縣	一	一四三	一	七九九
沖縄縣	一	一四三	一	七九九

道府縣・都市

熊本縣 一、八二、八四五 一八一、一四、三六六 一七、五、六九

鹿兒島縣 一七三、二、二五九 三〇一、一、四六八 一四、〇〇〇

計 八、三五五、一〇〇、四三三 三〇、三六九、八〇八、六九一 一九五、一、四九〇

計總 八、三五五、一〇〇、四三三 三〇、三六九、八〇八、六九一 一九五、一、四九〇

道府縣歳入歳出總覽(單位千圓)

道府縣歳入 昭和四年度 同五年度 同六年度 同七年度 同八年度

町村歳入 昭和四年度 同五年度 同六年度 同七年度 同八年度

道府縣歳入内譯(單位千圓)

種目 昭和三年度 昭和四年度 昭和五年度 昭和六年度 昭和七年度 昭和八年度

道府縣歳出内譯(單位千圓)

種目 昭和三年度 昭和四年度 昭和五年度 昭和六年度 昭和七年度 昭和八年度

市歳入内譯(單位千圓)

種目 昭和三年度 昭和四年度 昭和五年度 昭和六年度 昭和七年度 昭和八年度

道府縣・都市

種目 昭和三年度 昭和四年度 昭和五年度 昭和六年度 昭和七年度 昭和八年度

市歳出内譯(單位千圓)

種目 昭和三年度 昭和四年度 昭和五年度 昭和六年度 昭和七年度 昭和八年度

町村歳入内譯(單位千圓)

種目 昭和三年度 昭和四年度 昭和五年度 昭和六年度 昭和七年度 昭和八年度

道府縣・都市

道府縣補助金 一三、五三三 二、八七〇 三、二六一
寄附金 一五、八六五 一〇、〇〇七 九、六三〇
町村債 七〇、五八五 二二、三三九 二二、五七一
前年度繰越金 五七、八八八 二〇、七四一 一九、五三九
其他諸收入 六〇、六〇八 四九、九三三 五五、五五一
合計 五四〇、四四五 四三三、二六七 四五一、九三二

町村歳出内譯 (單位千圓)

種目 昭和六年度 昭和七年度 昭和八年度
教育費 一六六、一五七 一九四、六九三 一九三、〇三〇
衛生費 三六、〇五九 三三、三三七 四一、六八一
土木費 二八、六三三 二五、三三九 一四、二六〇
勸業費 一五、三三五 九、二四一 一六、三二四
社會事業費 九、六〇八 一一、二〇六 九、八九三
電氣及瓦斯事業費 一、七二五 二、五三三 一、七七二
役場費 七四、六三三 七二、五四四 六九、六七五
會場費 二、一四一 二、六三三 二、七四一
警備費 六、九四一 七、〇九六 七、一三三
公債費 四三、四四五 四一、三四四 三三、六九〇
諸稅及負擔 一、九三二 一、八二七 二、二七一

積立金及基本財産造成費 一五、八二二 一五、四〇八 一四、四三二
其他諸費 五五、五二八 三六、九三三 四四、九六一
合計 四八八、九三七 四五一、九八二 四五一、七四六

町村債 二五六、三〇五 三二二、八三三 二七九、〇六〇
水利組合及土功組合 四三、八六四 四五、六五六 五一、五八八
合計 三二〇、四四一 二、五三五、〇八五 二、七八、二四九

昭和八年度地方財政一戸一人當り

道府縣 市 町村
歳入一戸當り 一七、三七三 三三、〇三六 三三、〇三六
歳出一戸當り 三、四三五 六、九三九 四、四四〇
同一人當り 七、六七六 二〇、〇九七 二〇、〇八七
戸數割課率一戸當り 一、四三二 一、四三二 一、三、九四五

地方有財産 (各年末)

道府縣 昭和五年 同六年 同七年
市 昭和五年 同六年 同七年
町村 昭和五年 同六年 同七年

府縣別國富額 (昭和五年末)

總額 官有 公有 私有
千圓 千圓 千圓 千圓

地方債團體別 (各年度末)

道府縣 昭和五年 同六年 同七年
市 昭和五年 同六年 同七年
町村 昭和五年 同六年 同七年

道府縣別港灣數 (昭和七年)

北海道 一 青森 一 岩手 一
宮城 一 秋田 一
東京 一 神奈川 一
福井 一 山形 一
新潟 一 富山 一
石川 一 福井 一
愛知 一 岐阜 一
靜岡 一 長崎 一
滋賀 一 三重 一
大津 一 京都 一

備考

右府縣別國富推計額ハ昭和五年末各府縣境域内ニ現在シタル物の財貨ニ付其總價額ヲ表章シタルモノナリ、尙ホ對外債權債務差額ヲ除外ス

道府縣・都市——都市

市名	人口十萬以上の市	夫	妻	差
札幌市	28,627	24,327	4,300	
小樽市	28,846	24,297	4,549	
函館市	30,140	24,704	5,436	
仙台市	28,547	24,033	4,514	
東京市	29,578	24,834	4,744	
横濱市	29,736	25,062	4,674	
横須賀市	28,257	23,320	4,937	
川崎市	28,443	24,679	3,764	
新潟市	26,358	23,467	2,891	
金沢市	28,257	23,833	4,424	
静岡市	27,633	23,294	4,339	
名古屋市	27,490	23,794	3,696	
名古屋市	28,490	24,177	4,313	
名古屋市	28,521	24,177	4,344	
名古屋市	28,979	24,533	4,446	
名古屋市	29,588	25,040	4,548	
名古屋市	29,496	25,439	4,057	
名古屋市	29,326	24,849	4,477	
名古屋市	28,344	24,074	4,270	
名古屋市	28,743	24,533	4,210	
名古屋市	26,266	23,626	2,640	
名古屋市	27,461	23,540	3,921	
名古屋市	28,648	24,687	3,961	
名古屋市	28,193	24,181	4,012	
名古屋市	29,591	24,699	4,892	

長崎市 29,591 25,232 4,359

佐世保市 28,188 24,255 3,933

熊本市 30,234 25,878 4,356

鹿兒島市 29,167 24,862 4,305

總數 29,149 24,645 4,504

六大都市最大交通個所

本表は昭和八年六月中三日間に亘り調査せるもので數字は三日間の平均である。

都市	自動車	自轉車	歩
東京	16,579	40,562	25,607
大阪	7,884	27,526	24,973
横濱	5,977	23,495	24,973
神戸	4,788	7,946	4,326
京都	2,428	4,326	2,428
名古屋	2,173	7,946	2,173
東京	浅草區御藏前片町	西淀川區茶園町野田	西淀川區茶園町野田
大阪	西淀川區茶園町野田	西區御幸本町九丁目	西區尾上町六丁目
横濱	神奈川區高島二丁目	灘區友田町一丁目	下京區七條千本東入
神戸	灘區友田町一丁目	西區明道町	
京都	下京區七條千本東入		
名古屋	西區明道町		
東京	浅草區御藏前片町		
大阪	西淀川區茶園町野田		
横濱	神奈川區高島二丁目		
神戸	灘區友田町一丁目		
京都	下京區七條千本東入		
名古屋	西區明道町		

列國大都市の人口

都市	國名	調査年次	人口 順位
紐約	育(米)	1930	1
東京	京(日)	1925	2
ロンドン	ン(英)	1925	3
ベルリン	ン(獨)	1925	4
シカゴ	ゴ(米)	1925	5
上海	海(中)	1925	6
大坂	阪(日)	1925	7
アエノス	ア(亞)	1925	8
モスクワ	コ(ソ)	1925	9
フイラデルヒア	ヒ(米)	1925	10
ウイーン	ン(奥)	1925	11
レンニグラー	ラ(ソ)	1925	12
デトロイト	イト(米)	1925	13
カルカッタ	タ(印)	1925	14
リオデジャネイロ	ロ(伯)	1925	15

市名	人口十萬以上の市	夫	妻	差
天津(中)	1,369	1,254	115	
シドニー(波)	1,254	1,139	115	
ロスアンゼルス(米)	1,254	1,139	115	
ワシントン(波)	1,254	1,139	115	
孟買(印)	1,254	1,139	115	
漢口(獨)	1,254	1,139	115	
カシオ(埃)	1,254	1,139	115	
メトロポリス(英)	1,254	1,139	115	
東京(日)	1,254	1,139	115	
アタハス(洪)	1,254	1,139	115	
パルミンガム(英)	1,254	1,139	115	
ロバート(伊)	1,254	1,139	115	
サンパウロ(伯)	1,254	1,139	115	
ミラノ(伊)	1,254	1,139	115	
名古屋(日)	1,254	1,139	115	
メキシコ(墨)	1,254	1,139	115	
クリスタル(米)	1,254	1,139	115	
リヴァプール(英)	1,254	1,139	115	
ブライチ(英)	1,254	1,139	115	
ナボ(伊)	1,254	1,139	115	
神戸(日)	1,254	1,139	115	
マドリット(西)	1,254	1,139	115	
聖路(米)	1,254	1,139	115	

市名	人口十萬以上の市	夫	妻	差
モントリオール(加)	827	712	115	
北平(中)	827	712	115	
バルセロナ(佛)	827	712	115	
マニラ(佛)	827	712	115	
成都(中)	827	712	115	
パルセロ(西)	827	712	115	
ホスト(米)	827	712	115	
漢口(中)	827	712	115	
マンチエスタ(英)	827	712	115	
アムステルダム(和)	827	712	115	
ケムン(獨)	827	712	115	
ミュンヘン(同)	827	712	115	
ライプツヒ(同)	827	712	115	
スタムブール(土)	827	712	115	
サンチアゴ(智)	827	712	115	
横濱(日)	827	712	115	
温州(中)	827	712	115	
ヒツパ(米)	827	712	115	
エッセン(獨)	827	712	115	
マドラス(印)	827	712	115	
重慶(中)	827	712	115	
桑港(米)	827	712	115	
アカレス(羅)	827	712	115	
ドレステン(獨)	827	712	115	

列國の都市中人口六十萬以上の大都市を掲ぐ。×印は推計人口他は國勢調査、我國の都市の順位は推計人口に依る。調査年次三〇は一九三〇年のことである。

復興功勞者行賞 關東大震災後の復興事業一段落を告げたので同事業にたづさはつた東京府、東京市、復興局、神奈川縣横濱市、内務省、大藏省の關係者に對し六月二十一日叙勳及び賜杯の御沙汰あり、内務次官潮惠之輔氏に對しては勳一等に叙し瑞寶章を授けられたのを始め叙勳十七名、金杯一箇宛九名、金杯一組一名、銀杯一組宛二十二名、銀杯一箇宛百二十一名の人々が夫々榮譽に浴した。

六大都市

東京市

廣表

方位	地名	距離
極東	江戸川區東條崎町東端	三・三二四軒
極西	板橋區西大泉町西端	三・三二四軒
極南	蒲田區六郷町南端	三・一五五軒
極北	足立區舍人町北端	三・一五五軒

土地種別

種類	昭和六年	昭和七年
總計	八三、八二四、五四五	八四、五三二、九九九
御料地	四、七三〇、七七一	四、七三三、五三九
國有地	三〇、六九三、三八四	三〇、五六一、八九九
民有地	四八、四八四、三七〇	四九、二六七、五二一
市有地	七、一五四、〇五五	八、〇一五、八四八
私有地	四一、三三〇、三二五	四一、三五一、七〇五

種類	全市	舊市部	新市部
煉瓦造	一、六七五	一、六八八	三、七〇二
コンクリート造	三、六三一	三、九二六	六、八二〇
木造	二九一、三七七	二九四、三四六	八七一、八八三
其他	三六五	三三三	一、一九二

宅地賣買價格 (昭和七年、一平方米當)

區名	地名	賣買價格	賣買價格
芝	有樂町一ノ	七〇・〇〇	六六・三五
	須田町二三	一八二・〇〇	九・七七
	通二丁目五	三九三・三〇	七・六八
	銀座四丁目	三三三・六九	三五・〇〇
	二ノ四	三三三・六九	三五・〇〇
	新橋二丁目	三三三・六九	三五・〇〇
	二ノ六	三三三・六九	三五・〇〇
	白銀三丁目	三三三・六九	三五・〇〇
	白金三丁目	三三三・六九	三五・〇〇
	四ノ三	三三三・六九	三五・〇〇

區名	地名	賣買價格	賣買價格
麻布	表町二丁目	四九・三五	二・五七
	赤坂一ノ	六六・五四	四・三三
	四谷新三丁目	一一〇・二六	一〇・八九
	牛込通寺町六	九一・〇〇	四・八〇
	小石川駕籠町三〇	五二・四三	三・九三
	本郷春木町三二	四三・三七	五・七九
	下谷五條町七	二〇・九二	二・八七
	浅草北仲町五〇	九二・〇〇	八・〇〇
	目四ノ一	二七・〇〇	一・五〇
	目四ノ二	二七・〇〇	一・五〇

宅地賃貸價格 (昭和七年、一平方米當)

區名	地名	賃貸價格	賃貸價格
本所	東兩國一丁目	四五・八三	五・六七
	安宅町一ノ	八八・四〇	三・八三
	品川南品川三丁目	二六・九六	三・〇三
	目四ノ一	二六・九六	三・〇三
	目四ノ二	二六・九六	三・〇三
	目四ノ三	二六・九六	三・〇三
	目四ノ四	二六・九六	三・〇三
	目四ノ五	二六・九六	三・〇三
	目四ノ六	二六・九六	三・〇三
	目四ノ七	二六・九六	三・〇三

區名	地名	賃貸價格	賃貸價格
王子	王子町一〇	三四・一四	二・五四
	板橋町一丁	三三・七七	〇・五七
	目三ノ九	三三・七七	〇・五七
	目三ノ八	三三・七七	〇・五七
	目三ノ七	三三・七七	〇・五七
	目三ノ六	三三・七七	〇・五七
	目三ノ五	三三・七七	〇・五七
	目三ノ四	三三・七七	〇・五七
	目三ノ三	三三・七七	〇・五七
	目三ノ二	三三・七七	〇・五七

赤坂	田町六丁目	〇・三九	九一	〇・三三	八
四谷	新宿三丁目	〇・八二	二七	〇・〇八	九
牛込	神樂町三丁目	〇・四四	三〇	〇・〇四	三
小石川	指ヶ谷町一丁目	〇・三〇	三九	〇・〇五	二
本郷	本郷三丁目	〇・六一	二五	〇・〇八	二
下谷	五條町六七	一・〇七	二四	〇・一六	六
浅草	茶屋町二丁目	〇・六四	三三	〇・〇七	八
本所	東兩國四丁目	〇・三〇	二五	〇・〇五	二
深川	門前仲町一丁目	〇・三六	二五	〇・〇八	二
品川	目黒三丁目	〇・三九	二五	〇・〇五	二
目黒	目黒四丁目	〇・三九	二五	〇・〇五	二
荏原	小田町八丁目	〇・三〇	二五	〇・〇三	四
大森	新井町一丁目	〇・三三	二五	〇・〇三	五
蒲田	御園町三八	〇・三七	二五	〇・〇三	七
遊谷	上通三丁目	〇・九一	二五	〇・〇三	八
世田谷	太子堂三丁目	〇・三〇	二五	〇・〇四	一

小石川	角管一丁目	〇・六〇	三六〇	〇・〇一	〇
本郷	上落合一丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	〇
牛込	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	〇
四谷	鷹宮六丁目	〇・〇三	三六〇	〇・〇三	二
赤坂	久我山一丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
小石川	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
本郷	千川三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
下谷	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
浅草	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
本所	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
深川	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
品川	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
目黒	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
荏原	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
大森	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
蒲田	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
遊谷	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一
世田谷	目黒三丁目	〇・〇一	三六〇	〇・〇一	一

町 數 (昭和八年一月一日現在)

葛飾	板橋	豊島	世田谷	目黒	浅草	牛込	芝罘	麩町
六三	八七	五七	九四	五五	六三	七九	三三	六九
江戸川	足立	瀧野川	淀橋	大森	深川	本郷	赤坂	日本橋
二五	一五	二	二	二	二	二	二	二
全市	向島	荒川	中野	蒲田	品川	下谷	四谷	京橋
二、三六五	三九	四	九	七	七	四	九	二七

面積及人口 (昭和八・一〇・一)

區名	面積 (方軒)	總數	男	女
麩町	八・七七七	六〇、一〇〇	三一、九〇〇	二八、二〇〇
神田	三・三三三	一三〇、九〇〇	六六、四〇〇	六四、五〇〇
日橋	三・四〇六	一〇九、三〇〇	六三、六〇〇	四五、七〇〇
京橋	五・三三六	一三三、八〇〇	七〇、〇〇〇	六三、八〇〇
芝罘	一〇・一一三	一七九、二〇〇	九七、三〇〇	八〇、九〇〇
麻布	三・七六五	八五、七〇〇	四四、三〇〇	四一、四〇〇
赤坂	四・五五一	五九、八〇〇	三一、三〇〇	二八、五〇〇
四谷	二・八七九	七五、〇〇〇	三七、六〇〇	三七、四〇〇

道府縣・都市——東京市

小石川	五・一〇六	一八、七〇〇	六八、〇〇〇	六〇、七〇〇
本郷	四・八三三	一五〇、八〇〇	七二、一〇〇	七二、七〇〇
浅草	四・九六一	一七四、七〇〇	九五、〇〇〇	七九、七〇〇
本所	五・一〇六	二四七、四〇〇	一三三、八〇〇	一一三、六〇〇
深川	六・六二九	二五二、一〇〇	一四〇、八〇〇	一一一、三〇〇
品川	一〇・一六二	一八六、四〇〇	一〇〇、七〇〇	八五、七〇〇
目黒	一四・七二六	三三四、九〇〇	一七〇、〇〇〇	一六四、九〇〇
荏原	五・七七八	一六七、五〇〇	七〇、六〇〇	九六、九〇〇
大森	三・三三三	一七九、七〇〇	九〇、二〇〇	八八、五〇〇
蒲田	二・一〇四	一三三、一〇〇	六三、五〇〇	六九、六〇〇
世田谷	三・八七九	一六五、八〇〇	八七、〇〇〇	七八、八〇〇
淀橋	一・〇五五	三三、七〇〇	一五、七〇〇	一八、〇〇〇
中野	一・五〇五	一六四、七〇〇	八六、一〇〇	七八、一〇〇
杉並	三・〇九四	一七五、一〇〇	八六、〇〇〇	八九、一〇〇
豊島	一・三六二	一五九、五〇〇	八三、三〇〇	七六、二〇〇
瀧野川	五・一九七	二二一、七〇〇	一一一、七〇〇	一一〇、〇〇〇
荒川	一〇・五三三	三二七、四〇〇	一六八、一〇〇	一五九、三〇〇
板橋	一・八二三	一五二、三〇〇	七七、九〇〇	七四、四〇〇
足立	八〇・六六三	一三三、七〇〇	六八、九〇〇	六四、八〇〇
板橋	五・五〇九	一五〇、三〇〇	七七、一〇〇	七三、一〇〇
足立	七・七八七	一七六、三〇〇	九〇、七〇〇	八五、六〇〇
葛飾	一〇・一七六	一六〇、七〇〇	八四、一〇〇	七六、六〇〇
葛飾	三・七六六	一〇五、二〇〇	五四、〇〇〇	五二、二〇〇

三六一

江戸川

四六八〇一

一六、二〇〇

五九、八〇〇

五、四〇〇

計

五三、九六七

五、四八六、二〇〇

三六二

二、八九四、三〇〇 二、五九一、九〇〇

世帯數 (昭和八年推計)

區名	世帯	一世帯に付人口
總數	一、一七六、八〇〇	四・七
舊市部	四三三、八三〇	五・〇
神田區	一〇、三三〇	五・八
日橋區	三三、四六〇	五・六
芝橋區	一七、六六〇	六・二
赤坂區	二七、七〇〇	五・〇
四谷區	一七、三二〇	五・一
牛込區	一〇、七七〇	五・六
小石川區	一四、八九〇	五・〇
本郷區	二五、三八〇	五・一
下谷區	三二、三三〇	四・八
淺草區	二七、三三〇	五・〇
本所區	五七、六六〇	四・六
深川區	五一、五四〇	四・八
品川區	五三、一九〇	四・七
新市部	四〇〇、一八〇	四・六
黑川區	七五三、九八〇	四・五
川口區	四〇〇、三三〇	四・八
目黒區	二九、七三〇	四・五

寄留外國人數 (昭和七年末現在)

總數	舊市部	新市部
一、〇四二	三、一〇	四八二
六	二九	二二
滿洲國	二九	三〇

歷代市長

氏名	就任年月日	辭任年月日
松田 秀雄	明治三二・一〇・六	明治三六・六・一五
尾崎 行雄	同 三六・六・二九	同 四一・九・二二
尾崎 行雄	同 四一・九・三〇	同 四五・六・二六
阪谷 芳郎	同 四五・七・二二	大正 四・二・二四
奧田 義人	大正 四・六・二五	同 六・八・二一
田尻 稻次郎	同 七・四・五	同 九・一・二七
後藤 新平	同 九・二・二七	同 一二・四・二七
永田 秀次郎	同 一二・五・二九	同 一三・九・八
中村 是公	同 一三・一〇・八	同 一五・六・八

市債 (昭和九年三月末日現在、單位千圓)

電氣事業減債金	六五、〇三三、〇五六
電氣事業工場勘定及貯藏物品費	三、七五六、〇〇〇
計	六八、七八九、〇五六

電氣研究所費

計	三三、八三三、〇〇五
---	------------

昭和九年度豫算

經濟別	歲入	歲出
普通	一〇五、二四〇、三九三	一〇五、二四〇、三九三
水道	二五、三二七、〇〇〇	二五、三二七、〇〇〇
質屋	二、〇〇四、五二四	二、〇〇四、五二四
勞働賃金其他立替資金	四、八〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇
公債償還金	五三、一五八、七三五	五三、一五八、七三五
職員貸付資金	五〇六、三九九	五〇六、三九九
火災共濟金	一、六八七、四〇四	一、六八七、四〇四
用品及工場	五、四九一、八七一	五、四九一、八七一
轉貸資金	二、六四七、六二二	二、六四七、六二二
土地區劃整理清算金	一、五六九、九九三	一、五六九、九九三
養育院	六六九、〇二二	六六九、〇二二
電氣軌道事業費	三三、一九一、〇〇〇	三三、一九一、〇〇〇
電氣供給事業費	一三、六六六、〇〇〇	一三、六六六、〇〇〇
乘合自動車事業費	五、七七五、〇〇〇	五、七七五、〇〇〇

道府縣・都市——東京市

市債

借入先別	普通	水道	電氣	轉貸關係
國庫	三三、一八九	二四、四八	一一、五三〇	一六九、一九八
公債	六七、二九〇	八、四四一	八四、三七六	一六〇、一〇八
預金部	七三、四四五	〇	〇	七三、四五五
簡易保險局	七六、六三一	九、〇九七	〇	三二、一八〇
東京府	四三、四六四	〇	〇	一一一、三四〇
銀行其他	八、三一九	四、一九一	〇	一九、三三三
計	一七、〇八七	一、八八六	〇	一〇、三二二
計	三三、一八九	一、五七五	〇	三、七〇六
計	三三、一八九	一、五七五	〇	三、七〇六

選舉有權者數 (昭和八年十二月現在)

市議會	舊市域	新市域	合計	前年度比較增
市議會	三九六、五二〇	五九九、六一〇	九九六、一三〇	四三、四七五
區議會	四〇四、一八七	五七三、二五六	九七三、三三三	九〇、七七八
計	八〇〇、七〇七	一一七二、八六六	一九七三、五七三	一三三、二五三

上水道 (昭和七年末現在)

鐵管延長

舊市部	一、七七一、七八二
新市部	一、七八三、〇二九
合計	三、五六四、八一〇

總檢數 三五九、五五二 一七〇、〇三三
過水 量 一七五、二四七、二八九
一日平均水量 四八〇、六八八
配水 量 一七四、一七五、六六二
一日平均水量 五八、三八〇
使用人口は専用栓、共用栓の合計である。

私設上水道 (昭和七年末)

給水戸數 給水鐵管 配水量
玉川水道 八〇、二五 三五六、四五八 一七、五七三、四八九
日本水道 三九四 六五、五三六 七四、二四五
矢口水道 一、九九三 二二、六〇五 二二七、〇七五

醫師及藥劑師 (昭和七年末)

赤痢 發生數 五、八六四 死亡數 七三
赤痢 發生數 五、八六四 死亡數 七三

傳染病患者 (昭和八年)

赤痢 發生數 五、八六四 死亡數 七三

赤痢 一、九三九 二四九
疫チフス 六、六七二 三、三三七
腸チフス 三、二四二 六三一
パラチフス 四、二四二 一一一
ザラチフス 五、六六三 九二
猩紅熱 四、八三四 一一三
痘疹 七二 二二
流行性腦脊髄膜炎 五 三
計 二八、六五〇 計 五、八五六

神社及宗教 (昭和七年末)

總數 三三七 神社 一六三 新市部 二〇九
官幣社 一 神社 一六三 新市部 二〇九
別格官幣社 一 神社 一六三 新市部 二〇九
府社 九 神社 一六三 新市部 二〇九
郡社 一八 神社 一六三 新市部 二〇九
村社 五九 神社 一六三 新市部 二〇九
無格社 一三九 神社 一六三 新市部 二〇九
△神道教會及信徒數 舊市部 三〇七 新市部 六三五 計 九三二

信徒 二二八、四三四 一九七、九二〇 四一六、三四四

△寺院及教會・檀信徒 舊市部 一〇一七 新市部 一、八六八 計 二、八八五

寺院 一、〇一七 一、八六八

僧侶 二、四九七 一、七六九 四、二六六

檀道家 一四九、二一八 一〇五、五六八 二五四、六八六

佛道教會 四三 一七七 二〇〇

同信徒 八四 二六六 三五〇

△基督教信徒數 一七、六五三 五、六八九 七六、三四一

基督教會堂及講義所は二百十個所にして宣布者及信徒數は左の如くである。

宣布者 (内國人 二五三 七九 三三二 外國人 五 四二 九九 計 二五八 一二二)

校園總覽 (昭和七年)

幼稚園 學校 教員 生徒及児童
幼小學校 舊 一六六 三六九 八、〇四八
新 一四四 四七一 七、五七六
小學校 舊 二二九 五、二七三 二二三、六二八
新 三三四 七、七六〇 四〇五、八三一
各種學校 舊 二四 二六〇 一、四四四
新 二四 二一七 一、四四四
盲及聾啞學校 舊 二 二二五 三九五
新 二 二二五 三九五

中學校 新 二八 九三四 二二、四六八
高等女學校 新 三三 六三三 二、六〇〇
實業學校 新 三三 六三三 二、六〇〇
實業補習學校 新 三三 六三三 二、六〇〇
師範學校 新 三三 六三三 二、六〇〇
△市立小學校 (昭和九年) 學校數 教員數 兒童數
麴町 一四 二七四 二、二〇三
神田 一三 二七四 二、二〇三
日本橋 一三 二七四 二、二〇三
芝布 一三 二七四 二、二〇三
麻坂 一三 二七四 二、二〇三
赤坂 一三 二七四 二、二〇三
四谷 一三 二七四 二、二〇三
牛込 一三 二七四 二、二〇三
小石川 一三 二七四 二、二〇三
本郷 一三 二七四 二、二〇三
下谷 一三 二七四 二、二〇三
浅草 一三 二七四 二、二〇三
本所 一三 二七四 二、二〇三
深川 一三 二七四 二、二〇三

品川 二〇四 五、〇四八 二、四〇、〇七五
目黒 二〇三 四、八八八 二、三〇、二〇〇
荏原 二〇二 四、八八八 二、三〇、二〇〇
大森 二〇一 四、八八八 二、三〇、二〇〇
浦田 二〇〇 四、八八八 二、三〇、二〇〇
世谷 一九九 四、八八八 二、三〇、二〇〇
澁谷 一九八 四、八八八 二、三〇、二〇〇
中野 一九七 四、八八八 二、三〇、二〇〇
杉並 一九六 四、八八八 二、三〇、二〇〇
豊島 一九五 四、八八八 二、三〇、二〇〇
瀧野 一九四 四、八八八 二、三〇、二〇〇
荒川 一九三 四、八八八 二、三〇、二〇〇
板橋 一九二 四、八八八 二、三〇、二〇〇
足立 一九一 四、八八八 二、三〇、二〇〇
向島 一九〇 四、八八八 二、三〇、二〇〇
葛飾 一八九 四、八八八 二、三〇、二〇〇
江戶川 一八八 四、八八八 二、三〇、二〇〇
新市部計 一八七 四、八八八 二、三〇、二〇〇
合計 五、〇四八 二、四〇、〇七五
△初等及中等學校 (昭和七年) 學校數 教員數 兒童數
在、兒童數は昭和八年三月一日現在。
在、兒童數は昭和九年四月現在。

總數 舊市部 新市部
學校 一、三三四 五九〇 七三四
官立 一、三三四 五九〇 七三四
私立 一、三三四 五九〇 七三四
教員 一、三三四 五九〇 七三四
官立 一、三三四 五九〇 七三四
私立 一、三三四 五九〇 七三四
生徒 一、三三四 五九〇 七三四
官立 一、三三四 五九〇 七三四
私立 一、三三四 五九〇 七三四
△高等諸學校 (昭和六年) 東京市 併合五郡
總數 二六五 一五五
官立 二六五 一五五
私立 二六五 一五五
學校 二六五 一五五
官立 二六五 一五五
私立 二六五 一五五
教員 二六五 一五五
官立 二六五 一五五
私立 二六五 一五五
生徒 二六五 一五五
官立 二六五 一五五
私立 二六五 一五五

圖書館 (昭和七年度)

圖書館 (昭和七年度) 三六五

舊市部		新市部	
官立	二	官立	一
市立	一	市立	三〇
私立	三	私立	三
合計	六	合計	三三
現在圖書	一、四九七、五三三	現在圖書	三、三九〇、八五六
閱覽人員	七五三、四〇五	閱覽人員	四三一、八四八
	三八六、九九四		二、三八三、九六二
	三五七、二二四		二四七、四〇五
	一一、五六八		四四、二四二
	一一、五六八		四四、二四二
	二、五六八		四四、二四二
	二、五六八		四四、二四二
	二、五六八		四四、二四二

青年訓練所 (昭和七年度)

舊市部		新市部	
市立	三	市立	三
私立	三	私立	三
合計	六	合計	六
所數	三	所數	三
學級	二六	學級	二六
職員	二五八	職員	二五八
生徒	四、九五七	生徒	四、九五七
	一、二四〇		一、二四〇
	三六八		三六八
	七五五		七五五
	六、九九四		六、九九四
	二五		二五

青年團 (昭和八年三月末現在)

舊市部		新市部	
聯合青年團	五七六	聯合青年團	八八、三三三
女子青年團	四三	女子青年團	四一、八四七
合計	六一九	合計	一三〇、一八〇
	一、四一八		一、四一八
	一、四一八		一、四一八
	一、四一八		一、四一八
	一、四一八		一、四一八
	一、四一八		一、四一八
	一、四一八		一、四一八

工場及生産額 (昭和七年末)

使用職工五人以上の工場

舊市部		新市部	
工場	五、三六四	工場	四、二七七
原動機設備工場	五、〇四二	原動機設備工場	四、〇二九
原動機なき工場	三三二	原動機なき工場	二四八
職工	八、六四九	職工	二、五三三
生産額 (一箇年)	三、三三〇	生産額 (一箇年)	一、五三三
	三、三三〇		一、五三三
	三、三三〇		一、五三三
	三、三三〇		一、五三三
	三、三三〇		一、五三三
	三、三三〇		一、五三三

産業別労働者

舊市部		新市部	
印刷	一〇七	印刷	一、八三八
紙工	一、〇八九	紙工	二、〇七六
製糖	三	製糖	三、〇七六
被服	二、四〇一	被服	二、〇七六
紡織	二、四〇一	紡織	二、〇七六
化学	二、四〇一	化学	二、〇七六
精巧	二、四〇一	精巧	二、〇七六
用具	二、四〇一	用具	二、〇七六
造船	二、四〇一	造船	二、〇七六
製造	二、四〇一	製造	二、〇七六
機械	二、四〇一	機械	二、〇七六
金屬	二、四〇一	金屬	二、〇七六
石工	二、四〇一	石工	二、〇七六
窯業	二、四〇一	窯業	二、〇七六
總計	二、四〇一	總計	二、〇七六

會社數 (昭和七年末)

舊市部		新市部	
株式會社	一〇、六六六	株式會社	八、〇九三
合資會社	三、二九	合資會社	二、五二
合名會社	八、四三三	合名會社	四、七六三
總計	二二、三九四	總計	一五、三六九
	二二、三九四		一五、三六九
	二二、三九四		一五、三六九
	二二、三九四		一五、三六九
	二二、三九四		一五、三六九
	二二、三九四		一五、三六九

銀行 (昭和七年末)

舊市部		新市部	
本店	一、四四三	本店	一、四四三
支店	一、八八四	支店	一、八八四
合計	三、三二七	合計	三、三二七
	三、三二七		三、三二七
	三、三二七		三、三二七
	三、三二七		三、三二七
	三、三二七		三、三二七
	三、三二七		三、三二七

日用品販賣店 (昭和八年七月末現在)

舊市部		新市部	
總計	一、四九七	總計	一、四九七
米	七、七三一	米	七、七三一
麵粉	三、二五〇	麵粉	三、二五〇
乾物	六八九	乾物	六八九
海產	七四七	海產	七四七
魚類	四、九七六	魚類	四、九七六
蔬菜	七、〇四二	蔬菜	七、〇四二
鳥獸	二、八五六	鳥獸	二、八五六
豆類	二、五五二	豆類	二、五五二
醬油	九、五〇五	醬油	九、五〇五
牛奶	七二四	牛奶	七二四
麵類	二、五八三	麵類	二、五八三
茶葉	八、七三六	茶葉	八、七三六
清酒	五五九	清酒	五五九
西洋	八二六	西洋	八二六
食品	四二二	食品	四二二
西藥	三、六六三	西藥	三、六六三
薪炭	二、二八	薪炭	二、二八
油類	五二七	油類	五二七
磁器	四九六	磁器	四九六
陶器	四〇八	陶器	四〇八
硝子	五四四	硝子	五四四
硝子	五四四	硝子	五四四
硝子	五四四	硝子	五四四
硝子	五四四	硝子	五四四
硝子	五四四	硝子	五四四

舊市部		新市部	
木材	一、二四八	木材	一、二四八
建築	二、五〇〇	建築	二、五〇〇
草花	一、九三六	草花	一、九三六
盆栽	一、五二五	盆栽	一、五二五
神佛	六八五	神佛	六八五
祭具	七三三	祭具	七三三
雜貨	五、九六〇	雜貨	五、九六〇
靴鞋	一、九七三	靴鞋	一、九七三
皮革	七九六	皮革	七九六
皮製	二、六九六	皮製	二、六九六
其製	二、四三七	其製	二、四三七
吳服	三、四三三	吳服	三、四三三
綿織	七四四	綿織	七四四
組物	四、二四九	組物	四、二四九
洋貨	一、五九六	洋貨	一、五九六
洋雜	四、二四九	洋雜	四、二四九
夜間	二、七九九	夜間	二、七九九
洋間	一、六二八	洋間	一、六二八
小間	四、九七三	小間	四、九七三
履物	一、六六五	履物	一、六六五
紙製	二、八九三	紙製	二、八九三
文具	一、二六六	文具	一、二六六
書籍	一、四三三	書籍	一、四三三
玩具	四、〇三九	玩具	四、〇三九
藥材	二、〇八八	藥材	二、〇八八
藥材	二、〇八八	藥材	二、〇八八
藥材	二、〇八八	藥材	二、〇八八
藥材	二、〇八八	藥材	二、〇八八
藥材	二、〇八八	藥材	二、〇八八

舊市部		新市部	
質屋	六九四	質屋	六九四
出貨	四、九二一、六六五	出貨	四、九二一、六六五
受入	二、七〇一、八六一	受入	二、七〇一、八六一
流金	一、七五七、九七八	流金	一、七五七、九七八
質金	四、五五九、九三三	質金	四、五五九、九三三
在現	二、四九八、九三三	在現	二、四九八、九三三
金口	一、三三〇、六七四	金口	一、三三〇、六七四
金口	六、九二四、九七〇	金口	六、九二四、九七〇
合計	三、三二	合計	三、三二
本店	三、三二	本店	三、三二
支店	三、三二	支店	三、三二
支店	三、三二	支店	三、三二
支店	三、三二	支店	三、三二
支店	三、三二	支店	三、三二
支店	三、三二	支店	三、三二

公設小賣市場 (昭和七年)

舊市部		新市部	
市場數	二二	市場數	二二
販賣高	三、八八八、六七七	販賣高	三、八八八、六七七
東京市設小賣市場及東京府市場協會市場	四、〇九三、七七〇	東京市設小賣市場及東京府市場協會市場	四、〇九三、七七〇
の合計である。	七、九八二、四四七	の合計である。	七、九八二、四四七
	七、九八二、四四七		七、九八二、四四七
	七、九八二、四四七		七、九八二、四四七
	七、九八二、四四七		七、九八二、四四七
	七、九八二、四四七		七、九八二、四四七
	七、九八二、四四七		七、九八二、四四七

Table of commodity categories and their respective counts in Tokyo. Categories include various materials, machinery, and foodstuffs.

Table showing electricity supply and usage statistics for Tokyo, including gas supply and electricity needs.

Table detailing road extension statistics for Tokyo, including total numbers and specific details for old and new city areas.

Table listing railway lines and stations in Tokyo, categorized by region like 'East Sea Line' and 'Central Line'.

Table listing railway lines and stations in the mountainous region (山本線), including various lines like 'Hand Line' and 'Yamanote Line'.

Table listing railway lines and stations in the northern and eastern regions (東北本線), including lines like 'Tohoku Main Line' and 'Yamanote Line'.

Table of railway statistics for Tokyo City, including lines like 京王, 東武, 東横, 小田, 京成, and 東京地下鉄. Columns include line names, distances, and other metrics.

Table detailing railway operations, including '使用車輛實車數' (Actual number of vehicles used), '運轉實軒數' (Actual number of trainsets), and '使用電力' (Electricity used).

Table titled '新市部の農業(昭和七年)' (Agriculture in the New City Department, 1932), showing statistics for various agricultural products and land use.

Table titled '舊市部の耕地(昭和七年, 單位段)' (Cultivated land in the Old City Department, 1932), showing statistics for different types of land (e.g., 自作, 小作).

Table titled '公園(昭和八・一・一)' (Parks, 1933), listing various parks and their areas.

Table titled '京橋' (Keicho), listing various bridges and their locations, including 月島第一, 文島, 越前, etc.

Table titled '下谷' (Shimo-Ya), listing various locations and their associated statistics, including 山伏, 入谷, 東谷, etc.

Table listing districts: 本所, 淺草, 西御徒, 今乳, etc. with associated data points.

Table listing districts: 深川, 品川, 目黒, etc. with associated data points.

Table titled '墓地' (Cemeteries) listing various cemetery names and their areas.

砂町 城東區北砂町 葛飾區龜有町一丁目

堀之内 杉並區高圓寺町 多摩火葬場 北多摩郡多摩村

大阪市

Table titled '面積及人口(昭和八・一〇・一)' listing areas and population by district.

歴代市長

Table listing past mayors: 田村太兵衛, 鶴原定吉, etc. with dates.

財政

道府縣・都市——大阪市

商工業

三三三

Table with financial and industrial data including '純歲入總額' and '株式會社'.

三七三

貯蓄銀行 計 工業(昭和七年末) 事業別 工場數 職工數 生産額

學校 (昭和七年度) 學校數 教員數 學生兒童數

圖書館 (昭和七年度) 藏書冊數 和漢書 洋書 閱覽人員

鐵道乘降客別 (昭和七年一日平均) 乘客 降客 乘客 降客

乘客賃金

外國貿易 (單位千圓)

年次 輸出 輸入 合計

傳染病 (昭和七年)

赤痢 患者 死亡

公園數 (昭和八年一月現在)

區名 數 面積 區名 數 面積

宅地賃貸價格 (昭和八年一月一日)

區名 地名 賃貸價格 最高 最低

在留外國人數 (昭和七年末)

英國 戶數 總數 男女 佛米英領印度 佛米英領印度 佛米英領印度

京都市

歴代市長

氏名	就任年月日	退職年月日
内貴甚三郎	明治三三・一〇・三	明治三七・一〇・二
西郷菊次郎	三三・一〇・三	四四・七・三
川上親晴	四五・一・六	大正元・三・三〇
井上密	大正二・三・三	五・七・九
大野盛郁	六・一・一〇	七・五・七
安藤謙介	七・一・九	九・二・三
馬淵銳太郎	一〇・七・三	一三・九・九
安田耕之助	一四・二・三	昭和二・八・一〇
市村光惠	昭和二・八・一〇	二・二・三
土岐嘉平	二・二・三	六・三・二
森田茂	六・三・二	七・二・三〇
大森吉五郎	七・二・三	現

人口

区域	昭和八・一〇・一
東京区	二二、七〇〇
左京区	一七、四〇〇
中京区	一七、四〇〇
東山区	一五、八〇〇
總數	七三、一〇〇

商工業

種別	昭和七年	資本金
株式會社	三〇九	二五、五三一
合資會社	一、〇八五	二八、九三八
合名會社	八五九	三九、〇六三
計	二、二五三	三二、一五三
△主要工産物		
絹織物及絹綿交織物	五、二七六、一六	
晒及染物	一七、二七三、三六九	
陶磁器	五、三八九、九七五	
漆器	三、七〇七、一六六	
木製品	四、一七五、七九七	
綿糸紡績	二、二四五、九三〇	
絹糸紡績	三、〇六四、六二六	
被服絹綿及麻製品	二七、六六六、六〇九	
糸物及袋物	五、〇九三、六六九	
電氣及瓦斯機械器具材料	三、六七三、九一四	
金屬製品	六、七八八、二六	
印刷製品	五、〇〇三、三九一	

財政

年度	歳入	歳出
昭和六年度	五、八五六、七四三	四三、八九五、二五五
同七年度	五、七四四、七八八	五三、七六四、七八八
同八年度	五、三三三、〇三四	五三、三三三、〇三四

公園

公園名	位置	開設年月	總坪數
岡崎公園	左京區	明治三七・七	八七、四九九
圓山公園	東山區	同 一九・八	九六、三三五
五條公園	同	三八・二	一、〇七八
嵐山公園	右京區	明治三九・三	九九、八一

名古屋市

歴代市長

氏名	就任年月日	退職年月日
中村修	明治三三・三・二八	明治三三・九・二
志水忠平	三三・三・二八	二七・二・二
柳本直太郎	二七・二・二	三〇・六・二六
志水直	三〇・七・九	三四・二・二
青山朗	三四・二・二	三九・四・二
加藤重三郎	三九・六・二七	四四・七・四
阪本彰之助	四四・七・四	大正六・一・三
佐藤孝三郎	大正六・七・三	一〇・七・二
大喜多寅之助	一〇・七・二	二二・二・二
川崎卓吉	二二・二・二	三三・六・二
田阪千助	三三・六・二	昭和三・八・一
大岩勇夫	昭和三・八・一	現

人口

区域	昭和八年度現在
東京區	二八四、七九五
西區	二二〇、九六一
中區	三七一、四三四
南區	二四七、一三一
全市	一、二四、三一

愛知縣下在留外國人

性別	昭和八年末
男	一〇、八
女	八
計	一八

財政

年度	歳入	歳出
昭和元年度	一〇、一三一	一〇、〇七九
同二年度	一〇、四一五	一〇、三五四
同三年度	一九、四三八	一八、九三九
同四年度	二五、三九〇	二五、二五四
同五年度	三一、四七七	三一、四三四
同六年度	三三、九六三	三三、〇七三
同七年度	三七、七九一	三七、七九一
同八年度	三八、〇五五	三八、〇五五

商工業

種別	昭和七年末	資本金
株式會社	四九九	三三、〇
合資會社	二、〇六六	三三、〇
合名會社	二、一三五	三三、〇
計	四、六九九	三三、〇
△主要工産物		
絹織物	一	一
晒及染物	一	一
陶磁器	一	一
漆器	一	一
木製品	一	一
綿糸紡績	一	一
絹糸紡績	一	一
被服絹綿及麻製品	一	一
糸物及袋物	一	一
電氣及瓦斯機械器具材料	一	一
金屬製品	一	一
印刷製品	一	一

外國貿易

Table of foreign trade statistics including import and export values for various goods like rice, cotton, and iron. Columns include '昭和六年', '昭七年', and '昭八年'.

交通

Table of transportation statistics showing ship arrivals and departures, and passenger counts for various modes of transport.

史蹟名勝

Table of historical sites and landmarks, listing names and their locations within the city.

神戶市

歷代市長

Table of past mayors of Kobe, listing names, terms of office, and dates.

面積

Table of land area statistics for different districts of Kobe, including total area and population.

商工業

Table of commercial and industrial statistics, including counts of businesses and capital assets.

事業別 工場數 職工數 生産額

紡織工業	二六	四、四九三	一三、二九四
金屬工業	七〇	六、一〇九	五〇、六四五
機械器具工業	二二	一五、六七八	四三、〇二五
窯業	三	一、八一	一、五〇
化學工業	一八	二、七五五	四七、二五八
製材及木製品工業	四	四、〇四〇	一、〇四二
印刷及製本業	二〇	二、二九〇	六、一四三
食料品工業	三三	二、八九二	四六、七二五
瓦斯及電氣業	三	四、八五	五、五三
其他の工業	一六七	三、一七一	九、六二八
計	八六二	四八、四三八	三三四、四一〇

官設工場を含まず。常時職工五人以上の工場若は五人以上を使用し得る設備を有するものについての調である。

宅地賃賃價格

一坪當り 賃賃價格	一、一〇〇・〇〇
一坪當り 買評定價	七〇・三〇
神戶區 海岸通	七五・〇〇
兵庫區 大開通	四三・九〇
須磨區 西代字 鷹取山	〇・一四
昭和六年	同七年
同七年	同八年

外國貿易 (單位千圓)

財政

年度	歲入	歲出
昭和四年度(決算)	六五、五六八、〇二九	五二、七二九、一七〇
五年度(同)	六四、四四四、七三九	四八、八五八、〇八四
六年度(豫算)	六六、四六六、六八六	四六、四六六、六八六
七年度(同)	四二、七二七、七六三	四三、七二七、七六三
八年度(同)	三九、三七七、三七二	三九、三七七、三七二

公園

名稱	位置	開設年月	總坪數
東遊園	加納町六丁目	明治	八、一一五
大倉山公園	楠町七丁目	同	一三、一八五
淡川公園	舊淡川埋立地	同	四、四一九
諏訪山遊園	山本通四丁目	同	四、四二二
會下山遊園	會下山町二丁目	同	三、一五二

在留外國人 (昭和七年末)

人口 (昭和八年十月一日)

廣義(東西)	一五五・〇五軒		
廣義(南北)	一一・四七軒		
區別	總數	男	女
神戶見	九七、六〇〇	五〇、七〇〇	四六、九〇〇
中奈川	一四三、六〇〇	七四、六〇〇	七二、〇〇〇
磯保子	三三、三〇〇	一八、五〇〇	一六、九〇〇
計	六二二、六〇〇	三三一、五〇〇	三三一、一〇〇

在留外國人數 (昭和七年末)

イギリス	三〇二	男	二八六	計	五八八
アメリカ	一七五	女	一四四		三三九
ドイツ	九〇		七〇		一六〇
フランス	四三		三八		八一
イタリア	二二		一七		二八
その他	一、五四三		六六九		二、二二二
計	二、四〇〇		一、四三七		三、八三七

道府縣・都市——横濱市

工業 (昭和七年)

種類別	工場數	職工數	工産額
染織工業	三三八	五、二二	九、三三三
機械工業	四九三	一〇、八二九	四九、五三〇
化學工業	一七八	三、二八三	三六、〇三三
飲食品工業	一、七六九	五、三三〇	四八、二五五
雜工業	一、四三六	七、七三三	一五、二七四
特別工業	一六	一、六三〇	一一、四二九
計	四、二四〇	三三、九〇六	一六九、七四五

外國貿易 (單位千圓)

輸出	輸入
昭和七年	同八年
四〇〇、六五八	五〇〇、八八七
三三三、三五八	四六六、三五四
七六六、〇一六	九七九、二四一

交通

△外國貿易船 (昭和八年)	隻數	噸數
入港內國船	一、五三三	五、四三八、四六四
同 外國船	八八三	四、七〇六、五八九
出港內國船	一、四九三	五、三四五、〇九八
同 外國船	八八九	四、七〇〇、四六〇

重要輸出品 (單位千圓)

昭和七年	同八年
一、〇二一	三、七〇一
一〇、三七八	一七、七三六
二六二、二五三	二七四、六九一
四、一三九	五、一四四
六、七八四	九、九一六
八、〇三五	七、七五一
九、三六〇	一五、一八五
	七、一九四

横濱市 歷代市長

氏名	就任年月日	退職年月日
増田 知	明治三三・四・一	明治三三・三・四
佐藤喜左衛門	同 三三・三・四	同 二九・三・一
梅田 義信	同 二九・六・三	同 三五・九・三〇
市原 盛宏	同 三六・一・九	同 三九・五・二
三橋 義方	同 三九・九・二八	同 四三・六・二五
荒川義太雄	同 四三・九・一〇	同 四三・二・二二
安藤 謙介	大正三・七・二四	同 七・七・二三
久保田政周	同 七・八・二七	同 一一・五・二九
渡邊勝三郎	同 一一・二・三〇	同 一四・四・一〇
有吉 忠一	同 一四・五・二七	昭和六・二・二六
大西 一郎	昭和六・三・三	現 在

土地

面積 一三三・八七方軒

財政

Table showing fiscal data for the city of Yokohama, including income and expenditure for the years 1930, 1931, 1932, and 1933.

諸税負擔一戸平均

Table showing the average burden of various taxes per household for the years 1930, 1931, 1932, and 1933.

託兒所

Table listing various kindergartens and their locations, such as the Yokohama City Kindergarten and others in different districts.

Table listing various kindergartens and their locations, including names like 'Hirakawa Kindergarten' and 'Yokohama Kindergarten'.

名所舊蹟

Text describing historical sites and landmarks in Yokohama, such as the 'Sanji-ko Garden' and 'Hirakawa Garden'.

外

出生、死亡數 (昭和六年)

Table showing birth and death statistics for the year 1931, categorized by region (e.g., Choshi, Sagami, etc.).

婚姻と離婚數 (昭和六年)

Table showing marriage and divorce statistics for the year 1931, categorized by region.

外地——朝鮮

地

都市の氣温降水量

Table showing the average temperature and precipitation for major cities in the region, including Choshi, Sagami, and others.

方位地名

Table listing various locations and their geographical directions, such as 'Choshi' and 'Sagami'.

道行政區劃 (昭和七年末)

Table showing administrative divisions and population statistics for various prefectures and provinces as of the end of 1932.

現住人口 (昭和七年末)

Table showing the current population statistics for various regions, including domestic and foreign residents.

現住人口種別比例

Table showing population statistics for 昭和二年年末 through 昭和三年年末, categorized by 内地人 (Native) and 朝鮮人 (Korean), with sub-categories for 朝鮮人 (Native-born) and 外國人 (Foreign-born).

歴代朝鮮總督

Table listing the names and appointment dates of successive Korean Governors-General, including 伊藤博文, 曾根正毅, 寺内正毅, 長谷川好道, 齋藤實, 宇垣一成, 山梨半造, 齋藤實, and 宇垣一成.

總督府關係職員 (昭和七年)

Table detailing agricultural and land statistics for 昭和二年年末, 昭和三年年末, and 昭和五年年末, including 耕地面積及農家戸口 (Cultivated area and number of farming households), 主要農産物 (Major agricultural products), and 人員 (Personnel).

耕地面積及農家戸口

主要農産物

Table showing the quantity of major agricultural products such as 米 (Rice), 粟 (Millet), and 麦 (Wheat) for 昭和七年 and 同八年.

Table showing the number of farms and production amounts for various industries including 織工業 (Textile industry), 機械器具工業 (Machinery industry), 窯業 (Ceramics), 印刷及製本業 (Printing and bookbinding), 食料品工業 (Food processing), and 瓦斯及電氣業 (Electricity).

工場數及生産額 (昭和七年)

Table showing the number of factories and production amounts for various industries including 織工業, 機械器具工業, 窯業, 印刷及製本業, 食料品工業, 瓦斯及電氣業, 其の他の工業, 鑛産 (Mining), and 鑛種 (Mineral types).

Text describing the process of drying ginseng (紅蔘) and its use as a medicinal product, mentioning its high value and export to various countries.

家畜及家禽

Table listing the number of various types of livestock and poultry (家畜及家禽) for 昭和五年年末 and 同六年年末.

林野面積 (昭和七年年末)

Table showing the area of forests and wilderness (林野面積) for 昭和七年年末, categorized by 國有林 (State forest) and 寺刹有 (Religious forest).

水産 (昭和七年)

外地—朝鮮

Table showing the number of companies (会社) and their capital amounts (資本金) for 昭和七年, categorized by industry such as 官製 (Government-owned), 私製 (Private-owned), 農業 (Agriculture), 商業 (Commerce), 工業 (Industry), 銀行及金融業 (Banking and finance), and 運輸業 (Transportation).

Table showing the number of mines (鑛) and their production amounts (生産額) for 昭和六年 and 同七年, categorized by 鑛種 (Mineral types) such as 鐵 (Iron), 石炭 (Coal), 金 (Gold), and 銅 (Copper).

外地——朝鮮

銀	206,600	552,724
銅	35,485	33,827
其他共計	32,741,519	33,746,959

國有鐵道

昭和六年度	同七年度	
營業 行程	3,008,550	3,123,450
停車場數	400	400
旅客人員(千人)	1,916,633	2,052,523
貨物噸數(千噸)	6,035	6,329,999
運輸(客車千圓)	16,635	18,121
貨車(千圓)	1,934,044	2,066,687
收入(合計千圓)	3,830	3,868

私設鐵道及軌道(昭和七年度)

私設鐵道	軌道
行程(未開業)	1,139
旅客人員(千人)	319
貨物噸數(千噸)	8,907
營業收入(千圓)	2,406
營業費(千圓)	3,578
營業益金(千圓)	827

船舶

(昭和七年末)	
船數	總噸數
37	88,917

汽船

汽船	515	60,895
帆船	8,299	103,404
石船	1,813	16,274

郵便貯金(昭和七年、金額單位圓)

內地人	5,977,898	3,344,550,018	一人平均 57.51
朝鮮人	1,896,166	6,441,414,344	33.8
合計	2,494,064	10,785,964,362	

警察官署及職員

警察官署	警察部長	1
警察官署	警察視察官	31
警察官署	警察視察官	31
警察官署	警察補佐	426
警察官署	警察補佐	758
合計		817

普通學校

普通學校	官	198	2,300	730
公立中學校	私	82	5,611	2,783
高等普通學校	私	22	2,521	1,563
高等女子學校	私	2	2,448	6,011
女子高等普通學校	私	24	2,338	6,663
實業學校	私	2	2,008	6,007
專門學校	私	2	2,663	8,603
帝國大學	官	1	2,100	2,375
帝國大學	私	1	1,750	1,160
官立師範學校	官	1	1,750	1,160
私立一般各種學校	私	1	1,750	1,160
私立宗教各種學校	私	1	1,750	1,160
合計		386	33,100	142,668

神社・宗教

神社	52	199
寺院	22	
基督教會堂布教所及講義所		
所數	宣布者	信徒
22		

醫療機關 (昭和八年末)

病室	448
醫師	154
內科	154
外科	154
婦科	154
小兒科	154
牙科	154
眼科	154
耳鼻喉科	154
皮膚科	154
泌尿科	154
放射線科	154
其他	154
合計	605

附記) 他に醫生四、二六七人、限地醫業者三〇七人、入商營業者一九〇人、產婆一、五四五人、限地產婆四一人、看護婦一、五八六八人

失業者 (昭和八年六月末日)

內地人	計
給料生活者	六八、五七六
日傭勞働者	九、三三三
其他勞働者	一〇、九九三
合計	八八、九〇二
朝鮮人	計
給料生活者	二、二五〇
日傭勞働者	六、四一三
其他勞働者	五、四一三
合計	一四、〇七七

輸移入重要品價額 (昭和八年)

米及穀	1,839	1,788
大豆	2,737	2,990
砂糖	5,853	5,329
揮發油	1,845	3,016
外油		
檳榔		
小麥粉		
酒類		
燈油		

輸移出重要品價額 (昭和八年)

綢緞打綿	9,584	綿織物	43,802
絹織絲	6,800	柞蠶生絲	9,422
毛織物	8,292	絹織物	18,447
紙類	10,735	セメント	3,399
鐵條及板	13,531	肥料	11,045
其他共計	40,185	其他共計	18,185

對外貨物輸出入額 (單位千圓)

昭和六年	同七年	同八年	
輸出	12,773	29,210	33,773
輸入	53,696	61,666	64,368
合計	66,469	90,876	98,141
超過額	△39,934	△33,876	△21,595

對內貨物移出入額 (單位千圓)

移出	249,27	28,144	315,854
移入	277,70	258,670	536,370
合計	526,97	546,814	852,224
超過額	31,257	33,277	33,277
昭和六年	同七年	同八年	
移出	39,548	28,315	24,395
移入	22,957	10,605	38,488
合計	62,505	38,920	62,883
超過額	16,591	17,711	20,547

金銀輸移出入額 (單位千圓)

移出	3,580	3,580
移入	3,580	3,580
合計	7,160	7,160
超過額	0	0

臺 灣

方位	地名	經緯度
極東	基隆市棉花嶼東端	東經 122°06'
極西	澎湖廳花嶼西端	同 121°18'
極南	高雄州七星岩南端	北緯 21°45'
極北	基隆市彭佳嶼北端	同 25°38'

面積 (方 米)

臺北州	4,565,646	新竹州	4,598,640
-----	-----------	-----	-----------

外地—臺灣

臺中州 七、三八三、四三三 臺南州 五、四三二、四九
高雄州 五、七三三、七三〇 臺東廳 三、五三六、三三八
花蓮港廳 四、六二八、二七〇 澎湖廳 一、二六〇、八六六
總數 三三、九七三、五五五

人口 (昭和七年末)

總數 男 女
總數 四、九三三、四三三 二、五三二、六三三 二、四〇〇、八〇〇
本島人 四、六四一、六八六 二、三六〇、〇九四 二、二八〇、五九二
內地人 二、七四一、五八〇 一、一七一、二九五 一、五六四、三二五
朝鮮人 九、五九九 三、三三三 六、二六六
外國人 四三、〇〇八 二七、九二一 一四、〇八七
(註) 本島人中、蕃人八九、五八八(男
四六、二三七、女四四、三五一) 九含心

主要都市人口 (昭和七年)

臺北市 二六六、〇六六 臺南市 一〇三、七三三
基隆市 八〇、三九〇 高雄市 七二、四〇〇
嘉義市 六二、九六三 臺中市 六一、八五七
新竹市 五〇、六三五 彰化市 四七、六八六

歷代臺灣總督

總督 就任年月日
樺山資紀 明治二十八年五月十日
桂太郎 同 二十九年六月二日
乃木希典 同 二十九年十月十四日

總督府文官人員 (昭和七年末)

勅任 奏任
勅任 五、一六五 奏任 八〇一
判任 一七、八〇六 備託 五三六
雇 八七〇

田畑面積 (單位甲)

總數 田 畑
昭和二年末 八一、八七三 三九、九一五
三年末 八一、七七四 四〇、八三二
四年末 八一、〇〇〇 四〇、六三二
五年末 八三、三〇二 四〇、八九三
六年末 八三、三〇二 四〇、八九三

三八八

同 七年末 八三九、七三〇 四、九四六、六〇〇、二六四
(註) 一甲は九段七畝二十四歩。

農作物收穫高

昭和六年 同 七年
米 (石) 七、四七九、八四六 八、九四九、二二六
甘藷 (千斤) 二、四〇四、七八七 二、三八八、八五四
甘藷 (千斤) 一〇、九四四、六六九 一三、四一五、四七五
芋 (斤) 一、五一八、〇〇〇 一、四四〇、九七五
黃麻 (斤) 六、四九七、九五三 七、六四四、四四四
落花生 (石) 五〇三、七九二 五三二、二〇七
煙草 (斤) 二、一三三、八二一 (貯) 一、三七九、二八七

家畜及家禽

昭和五年末 同六年末 同七年末
牛 三九〇、八九九 三八三、〇〇二 三六六、六〇六
山羊 八三、八七五 九三、三九八 九〇、〇八四
豚 一、七五〇、四六四 一、七三三、八七四 一、七五三、九六三
雞 四、八五六、二二五 〇、〇五〇、二九五、二六六、七九六
鴛鴦 三三三、六六一 二六三、三〇七 三〇六、三〇三
鷺 一、一八三、〇〇四 一、三四三、三三七 一、三三七、三五四
七面鳥 五、一四二 六、六三一 九、二二四

林野面積 (和和七年)

輸出 輸入 計 入 超
昭和四年 三三、一八八 六四、五五二 九七、七四〇 三、三五三
五年 三三、八〇九 四五、一三一 七九、九四〇 三、三三三
六年 一九、四四九 三〇、八五九 五〇、三〇八 一、四一〇
七年 一八、〇四五 三一、〇四一 四九、〇八六 一、九九六
八年 一七、六六六 三五、四七七 五三、一四三 一、七、八一〇
移出 移入 計 出 超
昭和四年 三三、一八八 一四〇、三七〇 一七三、五五八 九、三三六
五年 三三、八〇九 一三三、二二七 一六七、〇三七 九、五〇六
六年 一九、四四九 一四四、七三三 一六四、一八二 八、六六一
七年 一八、〇四五 一三三、四七五 一五一、五二〇 八、三二六
八年 一七、六六六 一四四、九二二 一六二、五八八 八、三五五

官設鐵道

昭和六年度 同七年度
營業 九九九 一、〇〇四
車輛數 (機車) 二二七 二二七
貨客人員 (千人) 一、五一五 一、五一八
貨物噸數 (千噸) 一、六、六〇四 一、六、七九六
運入 (千噸) 四、八三八 四、三〇三
運出 (千噸) 六、九八八 六、九三〇

私設鐵道

三八九

平地 蕃地 計
國有森林 四一、四九〇 一、三三三、一〇一 一、七四四、五九一
公有森林 二六、九六七 三〇八、一〇九 三三五、〇七六
私有森林 一三、五〇九 一、一三三、一〇九 一、二六八、六一八
計 原野 六三、六九三 一、三三三、一〇九 一、九〇六、七〇二
森林 二七三、二六〇 三〇八、一八九 五八一、四四九

鑛產額 (單位圓)

昭和五年 同六年 同七年
金 六三六、四八六 七三三、七三三 一、六八一、五九三
金銅鑛 三、四七七、一八七 三、〇七七、七九二 三、七〇九、一五七
銀 一〇、七九〇 一〇、〇〇三 一、六六三、三三三
石炭 九、六一三、四一七 一、六四四、五五八 一、九一五、二七三
硫黃 三三三、二二七 五二一、二九〇 三、七、一四八
原油 三八一、五〇四 二六三、六三一 二、四四、九四四
揮發油 七六〇、七二九 一、七九四、二七五 九、九四、〇〇三

外地—臺灣

工業 (昭和七年)

種別 社數 公稱資本 拂込出資
農林業 六四 二〇、三三八 一五、六八八
水産業 二五 六、〇八一 三、五九四
鑛業 二七 二四、四四七 一六、三九六
工業 二二 二五、〇五四 一八、七九二
商業 四三七 一一、八〇〇 六〇、四三八
運輸業 一三一 一七、五五六 九、〇五八
計 八八七 四五六、七五五 二九一、〇三三

貿易 (單位千圓)

△輸出入品價額

工場總數六千二百九十二

三八九

Table with 3 columns: 種類 (Type), 昭和六年 (1935), 同七年 (1936). Rows include 營業 (Business), 車輛數 (Vehicle Count), 貨物運送 (Goods Transport), etc.

教育 (Education)

(昭和八年・四・三〇)

Table showing school statistics by level: 小學校 (Elementary), 中學校 (Middle), 高等學校 (High), etc.

醫療機關 (Medical Institutions)

(昭和七年)

Table listing medical institutions: 官立醫院 (Official Hospital), 私立醫院 (Private Hospital), 診療所 (Clinic), etc.

神社及神職數 (Shinto Shrines and Clergy)

Table with 3 columns: 神社 (Shrine), 總數 (Total), 官幣社 (Imperial Shrine), etc.

宗教別信徒數 (Religious Followers)

Table listing religious groups: 神道 (Shinto), 佛教 (Buddhism), 基督教 (Christianity), etc.

樺太

位置 (Location)

Table providing geographical coordinates: 方位 (Direction), 地名 (Place Name), 經緯度 (Coordinates).

面積 (Area)

Table showing area statistics: 支廳 (Prefecture), 面積 (Area), 支廳面積 (Prefecture Area).

人口 (Population)

大正九年同十四年 昭和五年

Table showing population statistics: 總數 (Total), 男 (Male), 女 (Female), etc.

主要市街地 (Main Urban Areas)

(昭和八年末)

Table listing urban areas: 豐原 (Toyohara), 大泊 (Oshiro), 落合 (Ryūgū), etc.

種族別戶數人口 (Population by Race)

(昭和八年末)

Table showing passenger statistics: 客車 (Passenger Train), 貨車 (Freight Train), 旅客 (Passengers).

輸出入額 (Trade Volume)

(單位圓)

Table showing trade volume: 總額 (Total), 輸出 (Exports), 輸入 (Imports).

移出入額 (Migration Volume)

(單位圓)

Table showing migration statistics: 總額 (Total), 移出 (Out-migration), 移入 (In-migration).

學校 (Schools)

(昭和七年)

Table showing school statistics: 種類 (Type), 校數 (Number of Schools), 教員數 (Teacher Count), etc.

歷代樺太廳長官 (Former Governors)

氏名 (Name) 就任年月日 (Assumed Office Date)

Table listing governors: 民政長官 (Civil Governor), 熊谷喜一郎 (Kumagai Kiichirō), etc.

水産物 (Seafood)

(單位圓)

Table showing seafood production: 鮭 (Salmon), 鱒 (Trout), 鱈 (Cod), etc.

鐵道 (Railways)

(昭和七年)

Table showing railway statistics: 官設鐵道 (Official Railway), 地方鐵道 (Local Railway), etc.

土人教育所 五 六 一五五
其他私立學校 五 二 二〇

關東州

方位 地名 經緯度

極東	魏子窩海洋島東端	東經 一三三・一三
極西	旅順山頭會嶼島西端	同 一三〇・五六
極南	旅順方家屯會老鐵山南端	北緯 三八・四三
極北	普蘭店朝陽寺會北端	同 三九・三四

面積 (方料)

關東州	三、四六二・四五
旅順民政署	六一四・八三
大連民政署	四一八・六四
金州民政署	七二五・六五
普蘭店民政署	一、一〇七・六八
魏子窩民政署	六〇五・六五
鐵道附屬地	二九〇・三〇
總數	三、七五二・三五

人口 (昭和七年末)

關東州	附屬地	計
內地人	二五、九三五	二六、五八九
朝鮮人	二、〇〇二	二七、九五六
小計	(二七、九三五) × (一三九、〇一六)	一、四四、五四五
滿支人	八三三、四八八	一三九、九七三
外國人	七二一	二七、八八九
計	九六一、二四六	三六二、七二〇

(備考) 小計×印は昭和八年末の日本人數を示したも。

歴代關東長官

就任年月日	長官名
明治三十九年九月一日	關東都督 大島 義昌
同 四十五年四月二十五日	福島 安正
大正 三年九月十五日	中村 覺
同 六年八月六日	中村雄次郎
大正 八年四月十二日	關東長官 林 權助
同 九年五月二十四日	山縣伊三郎
同 十一年九月八日	伊集院彦吉
同 十二年九月二十六日	兒玉 秀雄
昭和 二年十二月十七日	木下謙次郎
同 四年八月七日	太田 政弘
同 六年一月十六日	塚本 清治
同 七年一月十二日	山岡萬之助

兼武藤信義 同 年八月八日
兼菱刈 隆 同 年七月二十八日

關東廳文官人員 (昭和七年末)

勅任	九	奏任	一八三
判任	一、六七	囑託	二〇七
雇	七、二六〇	備	三、五六八

主要農産物 (單位頃)

品名	昭和六年	昭和七年
高粱	四九五、四五三	四二二、三〇八
玉蜀黍	一、八二二、一七三	一、九九七、四九五
糜子	一一一、二二四	一一五、七三六
粟	三三三、六五七	三三四、三〇一
落花生	一、八五五、二〇六	二、〇五五、六三四

家畜及家禽數

種類	昭和六年末	昭和七年末
牛	二七、二八八	二五、七三〇
馬	九、一五七	九、九七一
騾	二四、二八五	二四、九七一
驢	二六、七七七	二五、五三三
豚	一四三、三四七	一四二、〇四五

漁獲物 (昭和七年)

種類	數量(担)	價額(圓)
鱈	九、八三二、一八九	七三四、二九八
鮑	三、四三九、三三七	三四九、九七六
黃魚	九、一六六、八一七	七四七、八五八
鱈魚	一、四四六、四三四	三三七、四四四
鮭魚	五、九九九、四八七	四四〇、一一一
魚	一、六七九、六二五	九四、三八一
鼠	四、四八七、〇	一〇一、五〇〇
海	一、二五、五六七	五〇九、〇六一

鑛産額

種類	昭和六年	昭和七年
鐵	一、〇四三、五五三	九三六、九九三
石炭	五七、三五六、八〇八	五五、一一四、一三六
苦灰	七、二七五	七四、七五八
石綿	二八、二三三	三三、〇三九

(備考) 滿鐵附屬地を含む。

外國貿易總價額 (單位圓)

外地—南洋

內國貿易價額 (單位圓)

種類	昭和六年	昭和七年
總額	一、〇二二、四〇〇	二、四六六、八七二
輸出	一〇七、七三三	一、七八八、八四九
輸入	四三、〇四〇	六八、〇三三
超過額	六四、三三三	一一〇、八二四

大連港輸出入地方別 (單位千圓)

種類	昭和七年	昭和八年
總額	一、四〇、五九四	二、六五、七三二
輸出	八四、四四四	一、二六、二九一
輸入	三、二九四	四、三九九
超過額	一、一三三	二、六七一

大連埠頭船客 (昭和八年)

種類	昭和八年
總額	六、二〇六
輸出	一、二六八
輸入	六、八七四

鐵道

種類	昭和六年	昭和七年
營業車	一、三三七	一、三三一
客車	四七〇	四六七
貨車	五七八	五九一
旅客數	八、一八〇	八、一七八
貨物數(噸)	六、四二〇、一二二	八、七四〇、四九七
收入(圓)	一五、五三〇、〇二八	一六、六三九、九七四
其他	八五、六六九、一八一	一〇四、一〇一、八四六

南洋

方位	地名	經緯度
極東	ミレ島東端	東經 一七二・〇七
極西	トコメイ島西端	同 一三二・一一

極南 グリニヤ島南端 北緯 一・四
極北 ウラカス島北端 同 二〇・三

主要島面積

サイパン島(マリアナ群島)	二二・〇〇
テニアン島(同)	六・三五
ロタ島(同)	八・一〇
ヤップ島(西カロリン群島)	一四・〇〇
パラオ諸島本島(同)	二四・〇〇
アンガウル島(同)	〇・五〇
春島(東カロリン群島)	一・四三
夏島(同)	〇・五八
水曜島(同)	一・五一
ボナヘ島(同)	二四・三四
クサイ島(同)	七・五〇
ヤルート島(マーシャル群島)	〇・五一

支廳及管轄區域

支廳	管轄區域	面積
サイパン	マリアナ群島一圓	六三・八九
パラオ	東經百三十七度以西の西カロリン群島一圓	四七・八二
ヤップ	東經百三十七度以東の西カロリン群島一圓	二五・八〇
トラツク	東經百五十四度以西の東カロリン群島一圓	一三・八七

南洋廳文官人員 (昭和七年末)

勅任	一 奏任	三〇
勅任	一 雇	三六六
同	横田 郷助	同 二二・四
同	堀口 満貞	同 六二・〇
同	田原 和男	同 六二・二
同	松田 正之	同 七二・五
同	林 壽夫	同 八八・四

貿易 (昭和七年)

外國貿易	總額	二〇、一〇四、四六八
輸出	移出	一三、八四九、三三一
輸入	移入	六、二五五、一三三
超過額	超過額	七、五八四、一九四

學校 (昭和七年)

種別	校數	教員	生徒
小學校(内地人)	二七	六六	三、一六
公學校(島民)	三四	八七	三、〇一九
宗教學校(共學)	一五	三九	一、六五八
木工徒弟養成所(島民)	一	八	三三

ボナヘ 東經百五十四度以東の東カロリン群島一圓及東經百六十四度以西のマーシャル群島一部 二〇・三・五八

ヤルート 東經百六十四度以東のマーシャル群島 一七・〇・四三

面積總計 二、一四八・八〇

氣候風土

南洋群島はその位置赤道に接し、全管内悉く熱帯圏内に在るを以て、他の温帯地の如く四季の別がない。即ち一年を通じて温帯の夏季の季候で、所謂「常夏の國」である而してスコール多く、純然たる海洋性氣候に屬し、その晝夜の差による氣候變化も亦極めて少ない。なほ全群島一般に殆ど氣温相等しく、又一年を通じて變化極めて少い一年中の最高温度は概ね攝氏三十度位で、一年中の温度の差は僅に四乃至六度に過ぎない。なほ南洋群島は内地若くは臺灣を襲ふ颱風、發生地であるけれども、管内に於る氣象變化は僅少で、偶々颱風を發生すべき變化を起すことはあるが、その低氣壓効果に屬するものが多いため、暴風に達することは稀である。

人種風俗

土人の種族は普通チャモロ、カナカの二種族に分けられる。チャモロ族は、その容姿衣食住などすべてカナカ族より比較的進歩して居り、性質温順で勤地の風があり、資産あるものは西洋風の清楚な住宅を構へ、ピアノなどの樂器を備へ、日常洋装して稍々文化的生活を以て居るものもある。カナカ族もまた性質温順で快活ではあるが、前者よりも一般に遊惰放逸で、文化の程度も極めて低い。言語は土語、日本語の外に西班牙語、英語、獨逸語を解する者も少からずある。

人口 (昭和七年)

總數	七、三三八	七、四五七	四三、三三八	三三、二一九
本地人	九、六三六	五、〇六九	二五、八六三	二四、二〇七
内地人	七、五三三	二六、〇〇九	一七、一五五	一〇、八二四
朝鮮人	八三	二八二	二二四	六八
外國人	五五	九七	六七	三〇

歴代長官

氏名	就任年月日
臨時南洋防備 民政部長 手塚 敏郎	大正七・七・一
南洋廳長官 手塚 敏郎	國 二・四・一

外地の法制

◎朝鮮に施行すべき法令に關する法律
第一條 朝鮮に於ては法律を要する事項は朝鮮總督の命令を以て之を規定することを得

第二條 前條の命令は内閣總理大臣を経て勅裁を請ふべし

第三條 臨時緊急を要する場合に於て朝鮮總督は直ちに第一條の命令を發することを得

第四條 前項の命令は發布後直に勅裁を請ふべし若し勅裁を得ざるときは朝鮮總督は直に其の命令の將來に向て効力なきことを公布すべし

第五條 法律の全部又は一部を朝鮮に施行するを要するものは勅令を以て之を定む

第六條 第一條の命令は制令と稱す

◎臺灣に施行すべき法令に關する法律
第一條 法律の全部又は一部を臺灣に施行するを要するものは勅令を以て之を定む

前項の場合に於て官廳又は公署の職權法律上の期間其の他の事項に關し臺灣特殊の事情に因り特例を設くる必要あるものに付ては勅令を以て別段の規定を爲すことを得

第二條 臺灣に於て法律を要する事項にして施行すべき法律なきもの又は前條の規定に依り難きものに關しては臺灣特殊の事情に因り必要ある場合に限り臺灣總督の命令を以て之を規定することを得

第三條 前條の命令は主務大臣を経て勅裁を請ふべし

第四條 臨時緊急を要する場合に於て臺灣總督は前條の規定に依らず直に第二條の命令を發することを得(以下略)

◎樺太に施行すべき法令に關する法律
法律の全部又は一部を樺太に施行するを要するものは勅令を以て之を定む但し左の事項に關しては勅令を以て特別の規定を設くることを得

一、土人に關すること

二、行政官廳又は公署の職權に關すること

三、法律上の期間に關すること

四、裁判所又は裁判長が職權を以て選任し又は選定する辯護人、訴訟代理人又は訴訟承繼人に關すること

移 植 民

移民概観

我海外拓植事業は近年著しき進展を見、殊に出移民数の激増振りまことに目ざましきものがある、即ち昭和七年中の本邦出移民は總計一萬九千三十三名であつてこれ

を前年に比ぶれば實に八千六百四十九名の増加を見、同八年また海外興業株式會社取扱のみにて二萬一千五百六十五名といふ數字を示し漸増の傾向が窺はれる。七年中における激増の主因をなすものはブラジル行移民が前年に比し約一萬名増加したことにあるが、その反面において北米合衆國及び加奈陀よりの歸國移民は依然としてその後を絶たざる状況にある。七年中における歸國移民は一萬三千百七十名で、そのうち一

萬四百三十八名は米國より、一千五百三名は加奈陀よりのものである、しかし、數年來の統計は歸國者數と出移民數と殆んど同數に近きものがあつたのであるが、同年において差引五千八百六十三名の渡航超過を見、現に海外に在る本邦人(内地人)は關東州及滿洲國を除いて約五十四萬を算し、ブラジルを主とする南米及び南洋方面における本邦人の活躍は想像するに餘りある。

移民總數

年次	渡航許可員數		歸國移民數	
	男	女	男	女
昭和元	一六、一八四	一〇、五五五	九、〇八〇	五、四六九
昭和二	一八、〇四一	一一、七五五	九、〇六五	五、六七〇
同	同	同	同	同
三	一九、八五〇	一三、七〇四	一〇、三八四	五、〇三八
四	二五、七〇四	一六、三三〇	一四、一三〇	七、〇五三
五	三二、八三九	二一、八二九	一〇、三六四	七、〇五三
六	三九、四三三	二六、九三三	一三、九六五	一〇、四〇一
七	四六、〇三三	三二、九六六	一七、七〇〇	一三、一七〇

渡航地別移民數

總數	昭和七	同
ブラジル	一五、〇三三	同
グワイエト聯邦	一、〇九六	三、二九八
比律賓群島	七四七	二、五五五
蘭領東印度	五三三	一、〇九六
英領馬來	三六九	三、五五五
英領加奈陀	九八	一、四一四
英領印度	八三	一、五〇三
英領ホルネオ	六四	一、五〇三
其 他	一一五	一、五〇三

昭和七年中呼寄による新規渡航を見たるはエチオピア四名、エル・サルグアドル佛領タヒチ各一名の合計六名に過ぎぬ。なほ七年は外務省通商局の調。八年は海外興業株式會社取扱移民の數を示す。

目的別移民渡航(昭和七年)

業 種	數
農業	一六、〇五一
漁業	一、〇五三
製造工業	四二
運輸交通	七九四
理髮店	一四
家事使用人	一、〇九六
計	一八、〇三三

北米合衆國	布 哇	英領加奈陀	英領西馬	英領馬來	英領印度	英領ホルネオ	其 他
八、〇二二	三、九九九	一、四一四	五三	九八	八三	六四	一一五
六、七六六	三、五五五	一、四一四	七三	九八	八三	六四	一一五
六、六三三	三、八二五	一、五〇三	五八	九八	八三	六四	一一五
六、六三三	三、八二五	一、五〇三	五八	九八	八三	六四	一一五

出身地別移民數(昭和七年)

出身地	數
北海道	三、四七六
岩手縣	四三九
秋田縣	五二四
東京府	五五五
靜岡縣	四四四
大阪府	四四八
岡山縣	四四一
山口縣	三〇〇
山形縣	四〇〇
佐賀縣	四〇〇
熊本縣	九四九
鹿兒島縣	五〇九
沖繩縣	一、二六六
三百人以上の移民渡航者を出したる府縣のみを抽出す。	

移民歸國者

年次	數
昭和五	同六
昭和六	同七
昭和七	同七

海外在留本邦人(昭和七年)

洲 別	男	女	計
亞細亞洲	四四七、四七四	三六〇、〇一六	八〇七、四九〇
内地	二九、〇六五	九、九一三	三八、九七八
朝鮮	三二、三九六	二、五七九	三五、九七五
臺灣	七、〇三三	四、五七九	一一、六一二
歐羅巴洲	二、八四一	九六七	三、八〇八
内地	二、八二一	九六七	三、七八八
朝鮮	三〇	一三	四三
臺灣	三〇	一三	四三
北亞米利加洲	一、五〇六	二、三三四	三、八四〇
内地	一、五〇六	二、三三四	三、八四〇
朝鮮	一、五〇六	二、三三四	三、八四〇
臺灣	一、五〇六	二、三三四	三、八四〇
南亞米利加洲	九、八三〇	六、七二九	一六、五五九

邦人在留主要地(昭和七年十月)

内 地 人	朝鮮人	臺灣人
極東露領	二、二〇一	九七五
滿洲國	一、三五、五〇七	五、六三三、三三九
中華民	五三、三七四	三、二八三
中 華 民 國	五三、三七四	三、二八三
英領香港	一、四七三	三三
英領澳門	一、四七三	三三
英領馬來	五、八六四	二五
英領印度	一、四四三	一五
英領東印度	六、八七四	一九
蘭領東印度	三、五四八	六五五
米 洲	二四九、六五九	八、三五二
計	七〇九、七七七	五五〇、七五二

本表は南洋群島及關東州を除く。拓務統計に據る。

移民

Table of immigration statistics by country/region, including Japan, British India, and various European countries.

海外在住地人 (昭和七年十月)

Table of overseas residents by country, including China, Korea, and various European nations.

非移民海外渡航数 (昭和七年)

Table of non-immigrant overseas travel statistics by country, including the United States, Europe, and other regions.

三九八

其他海外邦人 在外公館費 合計

滿洲移植民

Text describing the process and statistics of Manchurian settlement, including government support and local conditions.

安縣鏡泊湖畔に約一千三百町歩の土地をトし、こゝにおいて移民指導者の養成をなさんとする目的を有するものである。

昭和九年度の滿洲自衛移民實施要綱

(拓務省四月五日發表)

- 一、入植人員 五〇〇名
二、一般募集地域及び人員
三、入植時期 八月上旬内地出發
四、移民選考資格 (一)思想堅實にして現在農業に従事し居る年齢卅五歳以下の者とす、但し特に適任者ある場合に於ては

四十歳以下の者の採用を妨げず(二)在郷軍人(未入營在郷軍人を含む)を主とするも人物によつては在郷軍人ならざるも可とす(三)妻帯者を主とするも人物によつては獨身者たるを妨げず(四)各種經費の引當として金三十圓以上を預託し得る者
五、訓練 訓練は成るべく入植地毎に分割して行ひその時期は七月上旬より約一月間とす
六、その他 移住者は七月下旬訓練を終りし上にて一旦歸郷せしめ八月上旬渡滿入植せしむる豫定なり

南洋各地邦人 (昭和五年調査)

Table showing land area, rental, and investment for Japanese in Southeast Asia.

列國の移民 (列國國勢要覽)

Table of immigration statistics by country for various nations, including the US, UK, and others.

三九九



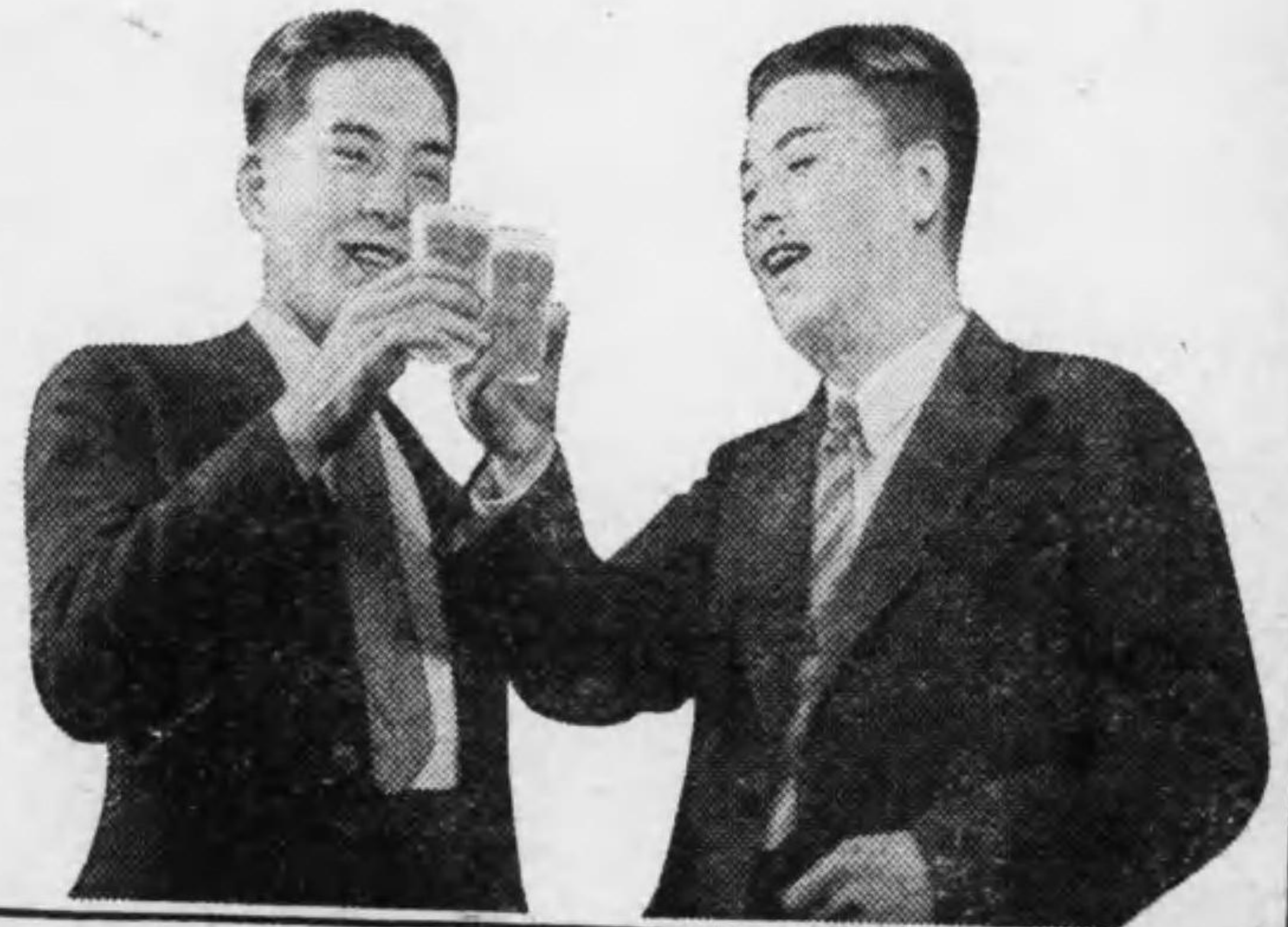
春 夏 秋 冬
季節にふさはしい
洋服は

丸ノ内テーラー

支店
丸ノ内海上ビル新館一階
電話丸ノ内三七二六番
神田区小川町二丁目四番地
電話神田三七八三番

あげる乾杯
快味陶然!

エビスビール
サツポロビール
アサヒビール
ユニオンビール



宮内省御用達 大日本麥酒株式会社



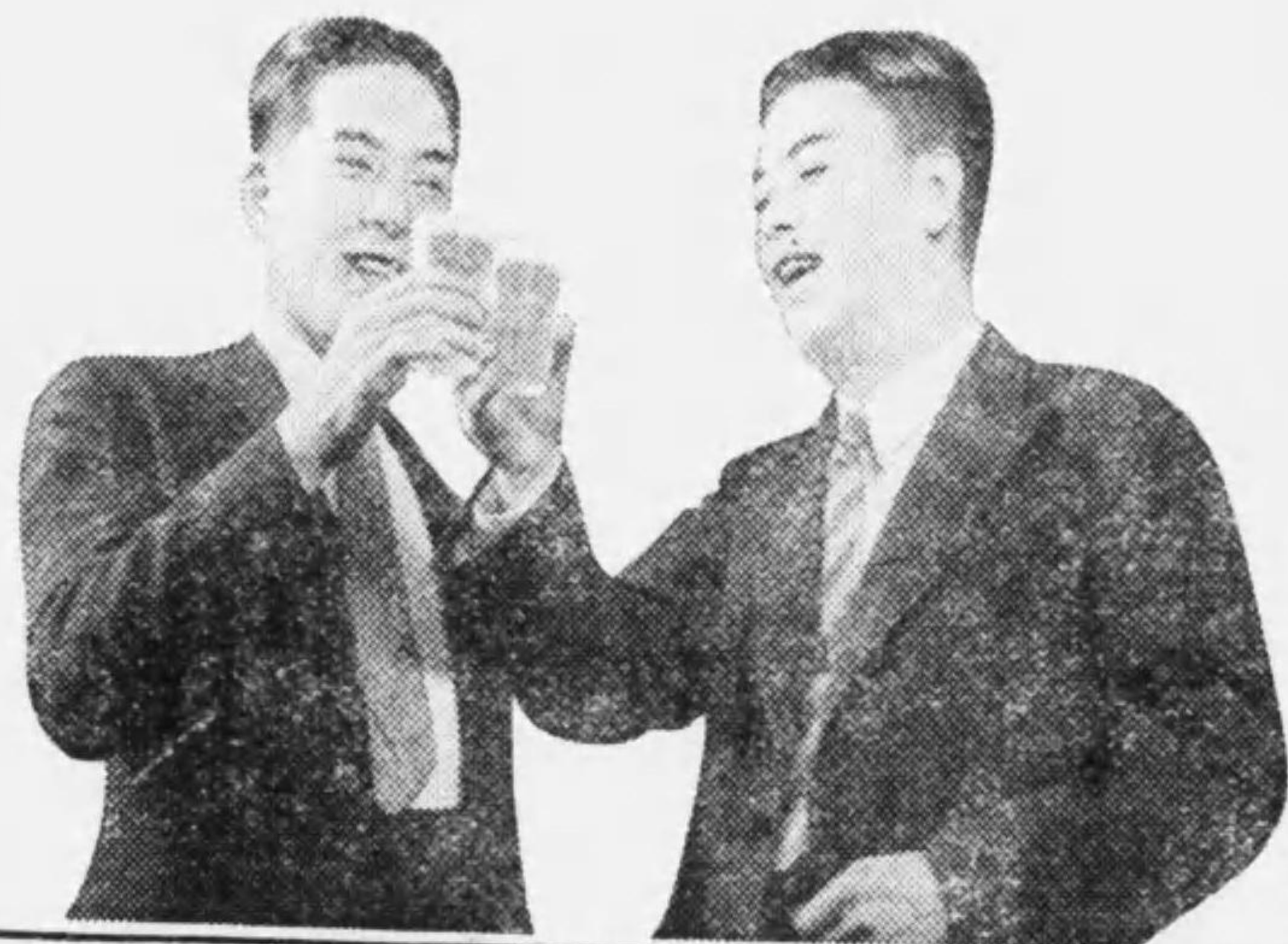
春 夏 秋 冬
季節にふさわしい
洋服は

丸の内デパート

支店
丸の内海上ビル新館一階
電話丸の内三七二六番
神田区小川町二丁目四番地
電話神田三七八三番

あげる乾杯
快味陶然!

エビスビール
サツポロビール
アサヒビール
ユニオンビール



宮内省御用達 大日本麥酒株式会社

明治三十五年
創業

本 店 東京市京橋區銀座西五丁目三番地
電話銀座(57)二五〇二、二五九二、二五九三
支 店 北海道小樽市色内町三丁目九番地
電話 二一九二、二〇七九
倉 庫 東京市京橋區西八丁堀四丁目六番地
電話京橋(56)三二二一、四

龜岡商會
店主 龜岡 豐二

日本石油株式会社 專屬特約販賣店
ソコニーヴァキユームコーポレーション
旭力印機械油製造發賣元

BUTTONS & MEDALS

メタル・マーク
金銀盃 カツプ
賞牌・美術工藝品 製造
徽章・金ボタン 製

PLASTANN

合金・精鍊
新式ハンダ 錫銀
.....
××.....
特許プラスチック
鉛管接合材料
世界に誇る最新式鐵管接合法
接合の堅牢・施工の簡易
材料の節約・工費至廉
プラスチック (練・棒・糊状)
低温プラスチック (低温ハンダ)
高温プラスチック (高温ハンダ)
ネオヘースト (無酸ヘースト)
プラスチック溶劑 (無酸溶劑)

東京市神田區末廣町十番地

青木メタル工場

電話下谷二七五六番・振替東京二一四一番

工場 東京市豊島區高田南町三ノ七三六
電話牛込五三五二番

大阪出張所 大阪市浪速區立葉町一三〇二
電話櫻川四二一八番

寫真器械
寫真製版機械
コロタイプ
活動寫真器械
レントゲン寫真

品藥及料材

名古屋市東區京町二丁目

**横井吉助商店**

電話東一六九五番
振替口座名古屋二三三八四番

各種印刷用インキ製造販賣
印刷材料附屬品一式眞輸入



會合
社資

三門商會

東京市城東區龜戸町三ノ一八
電話墨田(74)二八八三番

製造元 神戸製鋼所門司伸銅工場 特約一手發賣元

寫真製版用
亞鉛鋅凸版
寫真用銅鋅

伊藤彌一商店

下關市豊町七九七番地
電話 五三〇番
東郵便局私書函四七號



長春堂寫真製版所

原 正 信

銀座松坂屋横木挽橋際
京橋區木挽町六丁目二番地
電話銀座(57)六二三番

寫真銅版・亞鉛凸版・寫真石版
其他寫真工業一切

スポーツ

第十回極東大會

極東スポーツの覇を争ふ第十回極東競技大會は昭和九年五月十二日から十九日まで八日間、酷熱のマニラ市郊外リザール公園設置競技場で華々しく舉行された。大會開幕に先き立つて滿洲國の参加問題から種々なる紛擾を重ね、大會開催を危ぶまれてゐたので我が選手も多少氣を腐らし乍らも萬難を排して参加し、同問題も正式コンダレスにより東洋體育協會の誕生となり、茲に於て滿洲國参加問題も解決され無事八日間の大會期も一日の雨に延びたのみで我が國の歴史的な大勝に歸し四選手権を獲得した

第一日 (五月十二日)

庭球

▲日支軍試合

佐藤	6	6	6
邱飛海	4	4	0

スポーツ—第十回極東大會

排球

▲日比第一回戦

比島	日本	比律賓	山田
サンベテロ	谷山	21 21 18 21	6 6 6
グラシア	佐藤	14 7 21 18	5 4 3
ピラール	打越		許承基
イコ	長崎		
ラセリス	土山		
レイス	坂上		
メルガド	温井		
テクソン	赤城		
マンゾ	野呂		

アラゴン(比)	6 6 6	ニツヘ(蘭)	2 4 0
ガウイア(比)	7 6 6 4	ニツヘ(蘭)	5 4 3 6

野球

▲日支第一回戦

第二日 (十三日)

比	支	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	0	1	0	4	11	0	3			25	1

野球

▲日支第一回戦

反	得	(支)	(日)	得	反	支那	日本
3	9	陳盛魁	森井前大	2	1	42	26
1	9	劉振元	田中	8	1	24	18
0	2	李作雲	田中	6	0	19	7
3	2	李振中	牧山	2	1		
1	12	王錫良	金子	4	1		
1	4	張景寶	松江	0	0		
2	0	唐寶堃	中野	0	0		
0	4	王湛若	浅野	0	0		
11	42	20	FC	11	26	5	
		2	FT			4	

四〇一

高級釣具

富豊庫在

目丁一町田埴区田神一店田神
目丁一宿新区谷四一店宿新

會商スグテ山亀

番一四四三田神 } 話電
番三五三三谷四 }

山賢越太 崎呂上 井城口

(日) 藤藤

谷佐打佐 長野坂 温赤山

(比) 前 中 後

アロルコ スバ ルンド

ラベト フリエル エクソサ

エサジチ ラレサ ノテメル

△比支第一回戦 午後八時から開始、前半26—12で比島のリードの時豪雨襲来し試合続行不可能になつたので支那から中止を申出たが審判これを聞き入れず、支那が試合続行を拒否したので二對零を以つて比島の勝を宣した。

第五日(十六日)

陸上競技

▲千五百米 1 田中秀雄(日)四分三秒五 [極東新記録] 2 柳長春(日)四分五秒 [極東新記録] 3 アンデス(比) 千露木(日) ▲圓盤投 ノアマンテ(比) 四二米五四五 [極東

新記録] 2 菊本耕作(日) 四二米二一 [極東新記録] 3 藤田喜代次(日) 四〇米三五 [極東新記録] 4 千劉(日) 三九米八六 ▲走幅跳 1 田島直人(日) 七米三〇 2 原田正夫(日) 七米二六 3 ラミレスツ(比) 六米九六 チカリノ(比) 六米八九 ▲走高跳 ノトリビオ(比) 一米八八 2 朝隈善郎(日) 一米八八 3 安達清(日) 一米八三 4 吳(支) 一米八三。

Table with 2 columns: 日本 (21, 15, 27, 22) and 支那 (17, 21, 25, 20)

日本 支那 前 中 後 山賢越 崎呂上 井城口 谷佐打 長野坂 温赤山

日支第二回戦

Scoreboard for the second match between Japan and China, listing runs, hits, errors, and fielding percentages for both teams.

第六日(十八日)

陸上競技

▲百米 ノデレオン(比) 一〇秒六 [極東新

田田井井尾藤本橋谷保 林 田田井井尾藤本橋谷保 (二) 荻片永松鷺伊松高菊 (遊) (中) (右) (左) (一) (捕) (捕) (投) (投) (三) 打安横盗三失 數打打壘振死 三三〇二一三

Scoreboard for the match between China and Japan, listing runs, hits, errors, and fielding percentages.

第七日(十九日)

陸上競技

▲千六百米 織走 1 比島(エストラダ、ホワイト、カンダリ、アランプラ) 三分二〇秒三 [極東新記録] 2 日本(相原、市原、吉住 増田) 三分二〇秒五 [極東新記録] 3 支那 ▲五種競技 1 日本 一三一八〇、七〇〇

記録] 2 吉岡隆徳(日) 一〇秒九 3 阿武殿 夫(日) 4 谷口(日) ▲砲丸投 阿部巧(日) 一二米九〇五 [極東新記録] 2 陳寶球(華) 一二米八〇三 [極東新記録] 3 エランズ(比) 一二米六五 藤田喜代次(日) 一二米六四 ▲高障碍 村上正(日) 一四秒八 [極東、日本新記録] 2 カシア(比) 一五秒 [極東新記録] 3 パンセ 1 ル(比) チャペロ(比) ▲四百米 1 カンダリ(比) 四九秒八 2 グズマン(比) 五〇秒 二 3 エストラダ(比) 4 増田(日) ▲二百米 1 吉岡隆徳(日) 二一秒六 [極東新記録] 2 谷口陸生(日) 二一秒九 3 鈴木開多(日) 4 サルセド(比) ▲四百米 障碍 1 ホワイト(比) 五三秒〇 [極東新記録] 2 アラングラ(比) 五四秒六 3 市原(日) 4 ロア(比) ▲一萬米 1 柳長春(日) 三二秒四五 五 2 田中秀雄(日) 三三分五五 七 3 名島(日) 露木(日) ▲八百米 1 青地球磨男(日) 一分五七秒二 [極東新記録] 2 アンデス(比) 一分五七秒三 [極東新記録] 3 ヤタル(比) 4 富江(日) ▲槍投 1 長尾三郎(日) 五九米八三 2 鈴木源三郎(日) 五九米一五五 3 アントニオ(比) 五六米二五 4 劉(日) ▲棒高跳 1 大江季雄(日) 三米九〇五 2 符保廬(華) 三米七六 3 杉本伊和夫(日) 三米七六 4 ス(比) 三米六五 ▲三段跳 1 大

記録を作り府縣對抗では鹿兒島縣が再度優勝した。

一般男子

- ◇百米 1 南部忠平(浪速) 一〇秒八 2 近藤(専大) 3 阿武(中大) 谷口(關大)
- ◇二百米 1 鈴木開多(慶應) 二二秒二 2 阿武(中大) 3 谷口(關大) 4 矢澤(専大)
- ◇四百米 1 西貞一(鶴見) 五〇秒五 2 今井(京一商) 3 吉住(明大) 4 窪田(早大)
- ◇八百米 1 保坂周助(文理大OB) 一分五九秒 2 青地(立教) 3 天近(札幌) 4 黒澤(北奥専門)
- ◇千五百米 1 濱田常盛(滿鐵) 四分一〇秒 二 内田(埼玉) 3 朝倉(早大) 4 栗本(中大)
- ◇五千米 1 須田藤夫(和歌山青) 一五三分三〇秒 2 名島(明大) 3 丸山(三井砂川) 4 邊(朝鮮)
- ◇一萬米 1 小柳早見(佐世保工廠) 三二分六秒八 2 須佐(和歌山青) 3 竹中(慶應) 4 村社(中大)
- ◇マラソン 1 楠好藏(坂出青) 二時間三一分一〇秒 [世界新記録] 2 南(朝鮮) 3 鹽飽(坂出青) 4 相良(麻布AAA) 4 千葉(小樽)
- ◇高障礙 1 清水孝太郎(早大) 一五秒一

2 淺川(文理大) 3 山本(名高商) 4 安達(早大)

- ◇中障礙 1 陸口正一(明大) 五五秒七 [日本新記録] 2 市原(立命館) 3 外山(名古屋) 4 神(三井砂川)
- ◇三千米障礙 1 内田賢(明大) 九分五七秒 2 五十嵐(千葉) 3 山口(文理大) 4 星野(慶應)
- ◇四百米繼走 1 専大(廣瀬、渡邊、近藤、矢澤) 四三秒七 2 京大 3 全福岡 4 中大
- ◇千六百米繼走 1 文理大(中島、塚本、長谷川、三柳) 三分二八秒四 2 日大 3 門鐵 4 大牟田陸協
- ◇五千米競歩 1 和田英治(鶴見) 二五五分五秒六 [日本新記録] 2 濱田竹次郎(大阪) 六分三五秒六 [日本新記録] 3 喜多見英一(十勝) 二六分四〇秒二 4 葛西(滿鐵)
- ◇五萬米競歩 1 和田英治(鶴見) 五時間二二分三〇秒 2 濱田(大阪) 3 清水(日本郵船) 4 杉浦(農大)
- ◇走高跳 1 安達清(早大) 一米九〇 2 矢田(早大) 3 武内(滿洲) 村上(早大) 小野(慶應) 樹本(慶大)
- ◇走巾跳 1 南部忠平(浪速) 七米一五 2 田島(京大) 3 澹川(早大) 4 原田(京大)
- ◇三段跳 1 原田正夫(京大) 一五米〇九

田島(京大) 3 戸上(關大) 4 和田(關大)

- ◇棒高跳 1 西田修平(早大) 四米二〇 2 松本(日大) 井上(小野中) 久恒(滿鐵) 高野(文理大)
- ◇砲丸投 1 高田静夫(廣島) 一三米四六 2 西田(文理大) 3 西村(佐賀) 4 吉田(文理大)
- ◇鐵槌投 1 阿部功(中大) 四七米一二 2 長常陸(俱) 3 沖田(早大) 4 吉澤(文理大)
- ◇圓盤投 1 藤田喜代治(四一米三六) 2 上條(早大) 3 劉(朝鮮) 4 金子(文理大)
- ◇槍投 1 長尾三郎(關大) 六一米二二 2 柏分(臺北帝大) 3 佐藤(早大)
- ◇五種競技 1 梁田秀雄(日體俱) 三六三五點七九 [日本新記録] 2 吉住(明大) 3 佐々木(大阪) 4 柏分(臺北帝大)
- ◇十種競技 1 金木房雄(文理大) 六五六四點九五 2 小椋(岐阜) 佐藤(日體) 4 淵田(臺北鐵)

一般女子

- ◇八百米 1 眞木らん(山形第二高女) 二分三一秒四 [日本新記録] 2 中村勝子(北海高女) 二分三二秒一 [日本新記録] 3 井戸田きよ子(愛知淑徳) 二分三四秒一 [日本新記録] 4 加藤(山形第二高女)
- ◇八十米障礙 1 森岡富美子(體專) 一二秒七二 2 高田(豊川實科) 3 本多(基隆高女) 4 千原(臺南第一高女)
- ◇二百米繼走 1 名古屋高女(前田、近藤、木村、渡邊) 二六秒三 2 新潟高女 3 廣島高女 4 二條高女
- ◇四百米繼走 1 名古屋高女(前田、近藤、木村、渡邊) 2 廣島高女 3 德島高女 4 女子體專
- ◇走高跳 1 廣橋百合子(女子體專) 一米四三 2 相良(女子體專) 3 野口(愛知淑徳) 4 三井(沼津高女)
- ◇走巾跳 1 渡邊すみ子(名古屋高女) 五米六四 2 湯淺(體專) 3 近森(金城專) 4 瀧野(近畿)
- ◇三段跳 1 林氏月雲(女子體專) 一〇米八七 2 相原(京城女師) 3 田中(北海高女) 齋藤(大館高女)
- ◇砲丸投 1 山本定子(中京高女) 一〇米一四 2 石津(體專) 3 吉田(京二條高女俱) 4 城川(北海高女)

- ◇圓盤投 1 石津光惠(體專) 三六米七三 [日本新記録] 2 峰島(體專) 3 吉田(京二條高女俱) 4 星野(横濱DC)
- ◇槍投 1 眞保正子(近畿教員) 三九米三六 [日本新記録] 2 山本定子(中京高女) 三九米〇八 [日本新記録] 3 田中(山中高女) 4 矢田(體專)

青年團對抗

鹿兒島	一砲走百四千走繼儀
熊本	萬丸巾 百五高
神奈川	米投跳米米百跳走擔
群馬	0 0 0 3 1 3 7 7 7
茨城	4 0 0 7 0 0 0 5 3
大阪	3 0 0 0 7 1 0 4 4
北海	0 0 4 0 5 7 0 0 0
和歌山	0 0 7 0 3 0 0 3 0
岩手	0 0 1 2 0 0 4 0 0
福島	0 0 5 0 4 0 0 0 1
佐賀	0 7 0 0 0 0 0 0 2
青森	0 0 0 0 0 0 0 0 0
石川	0 0 0 0 0 0 0 0 0
計	5 5 5 6 6.5 7 9 10 12 13 16 19 19 27

栃木	0 0 0 5 0 0 0 0 0 0 0
山形	0 0 0 0 0 0 4 0 0 0 0
長崎	0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0
宮崎	0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0
鳥取	0 0 2 0 0 0 0 0 1 0 0
鳥根	0 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0
計	3 3.5 4 4 4 5

- ◇百米 1 田中注連男(熊本) 一一秒一 2 柴田(栃木) 3 草野(福島) 4 岩切(鹿兒島) 5 向井(大阪) 6 寛(愛知)
- ◇四百米 1 森町三之助(神奈川) 五〇秒四 2 茂木(群馬) 3 神(北海道) 4 佐々木(茨城) 5 宮川(新潟) 6 千田(鹿兒島)
- ◇千五百米 1 田中定治郎(群馬) 四分一三秒 2 岩淵(岩手) 3 結城(山形) 4 堀内(鹿兒島) 5 岡(千葉) 6 露木(神奈川)
- ◇一萬米 1 須田藤太(和歌山) 三二分三五秒 2 堀尾(大阪) 3 尾方(熊本) 4 大谷(神奈川) 5 楠(香川) 6 本間(樺太)
- ◇千米瑞典繼走 1 鹿兒島(岩切、千田、竹之内、崎蘭) 二分〇一秒九 2 熊本 3 神奈川 4 茨城 5 廣島 6 宮崎
- ◇依擔 1 井田(鹿兒島) 二七秒九 2 工藤(青森) 3 高橋(神奈川) 4 垣田(宮城) 5 村上(三重) 6 表(北海道)

- ◇走高跳 1山下女城(竜見島)一米九一
- 2中楊(石川) 3馬瀬(大阪) 4根本(鳥取)
- 5益見(福井) 和賀(岩手) 近藤(兵庫)
- ◇走巾跳 1豊崎格(茨城)六米七四
- 2對馬(北海道) 3藤口(群馬) 4青木(島根)
- 5松本(鳥取) 6立中(大阪)
- ◇砲丸投 1高田静雄(廣島)一三米三七
- 2西村(佐賀) 3中島(長崎) 4安部(宮崎)
- 5佐久間(福島) 6長谷川(新潟)

水上競技

神宮競技大會のトップを切り九月廿日、十月一日の兩日神宮プールに開催、記録作成會では短水路(廿五米)世界、日本の新記録を繰出し、青年團對抗では静岡縣が優勝した。

記録作成會

- 男子の部
- ◇五十米 [A組] 1竹村公良(早大)二六秒 [日本新記録] 2梅田(東高師)二六秒
- 四 [日本タイ記録] [B組] 1岡部泰幸(福島中)二七秒八 2森(三水) 3東(三水)
- [C組] 1高橋成夫(早大)二六秒四 [日本タイ記録] 2伊藤(三水)
- ◇二百米 1横山隆志(早大)二分一三秒六

- 横井(京都) 3渡邊(淑徳)
- ◇百米平泳 1眞下常子(京都)一分三二秒
- 六 2松倉(岡山) 3淺井(愛知第一)
- ◇百米背泳 1小木曾治子(淑徳)一分三〇秒
- 四 2吉田(愛知) 3初田(京都)

飛込競技

- 東西對抗の部
- ◇男子飛板飛込 1柴原恒雄(西)一三四點七〇
- 2原西(東) 3原秀(東)
- ◇男子高飛込 1奥平俊二(東)八六點一六
- 2岩切(東)
- ◇女子飛板飛込 1大澤政代(東)七七點九八
- 2香野(西)
- ◇女子高飛込 1島崎惠笑子(東)三五點八四
- 2香野(西) 3大澤禮(東) 4横山(西)
- 初等の部
- ◇男子飛板飛込 1蒲澤欣三郎(大井線)五〇點六八
- 2小倉(横濱D.C.) 3橋本(小松商)
- ◇男子高飛込 1細谷幸四郎(横濱D.C.)二八點四二
- 2蒲澤(大井) 3庄川(横濱D.C.)
- ◇女子飛板飛込 1林悦子(九段精華)三六點一八
- 2山路(無所屬) 3岡田(大井)
- ◇女子高飛込 1林悦子(九段精華)二三點

- [日本新記録] 2牧野(早大)二分一三秒
- 八 [日本新記録] 3片岡(早大)
- ◇四百米 [A組] 1石原田(明大)四分四七秒六
- 2片岡(早大) [B組] 1牧野正藏(早大)四分三六秒八 [世界新記録] 2横山(早大)
- ◇五百米 石原田(明大)六分七秒二 [日本新記録]
- ◇二百米背泳 1河津憲太郎(明大)二分三
- 五秒八 2清川(商大) 明(小松商業)
- ◇四百米背泳 [A組] 1河津憲太郎(明大)五分三七秒六 [世界新記録] 2秋吉(日大三中) [B組] 1清川正二(商大)五分三〇秒
- 四 [世界新記録] 2入江稔夫(早大)五分三四秒 [世界新記録] 3明(小松商業)
- ◇百米平泳 岡田達男(日大)一分一七秒八
- ◇二百米平泳 1小池禮三(慶應)二分四二秒八 [日本新記録] 2葉室(修猷館中)
- ◇四百米平泳 1山田弘(早大)六分一五秒六 [日本新記録] [B組] 1小池禮三(慶應)五分五六秒八 [日本新記録] 2葉室鐵夫(修猷館中)六分〇六秒 [日本新記録] 3青柳(關東)

- 女子の部
- ◇百米 1小島一枝(相山)一分一三秒四 [新日本記録]
- 九 2豊田(女子商) 3山路(無所屬)

新人競技

- 男子の部
- ◇百米 1田口正治(同大)一分一秒六
- 2壺田(京都) 3篠原(聖ポール)
- ◇四百米 1島本信義(和歌山)五分二〇秒
- 2寺石(京一商) 3前川(三水)
- ◇百米背泳 1吉田喜一(佐伯中)一分一四秒
- 四 2古川(聖ポール) 3古田(静岡)
- ◇二百米平泳 1三鴨清(朝鮮)三分五秒二
- 本間(喜多方中) 3大塚(富山中)
- 女子の部
- ◇五十米 1横井キヌ(京都)三二秒八 [日本新記録] 2鹽見梅子(相山)三三秒六 [日本タイ記録] 3渡邊(淑徳)
- ◇百米 1鹽見梅子(相山)一分一五秒八

青年團對抗

計	20	18	12	12	7	7	6	5	5	4	3	2	1
二百米	10	7	4	0	0	2	3	0	5	0	0	0	0
四百米	0	7	0	0	2	0	0	0	5	4	3	0	1
百背泳	2	0	4	0	3	7	0	0	1	5	0	0	0
三百混	5	3	2	7	4	0	0	1	0	0	0	0	0
二百米	3	7	5	1	0	0	0	4	2	0	0	0	0
九	9	1	0	0	3	0	7	0	0	0	0	0	0

岡都島庫山湯知岡京知阪本川城形葉
静京廣兵和新愛福東高大熊神宮山千

水球競技

- ◇二百米續泳 1廣島(吉田、吉瀬、大林、笹尾)一分五四秒
- 四 2大阪 3兵庫 4東京 5福岡 6静岡
- ◇三百米メドレー・リレー 1兵庫(中村、魚井、向井)三分五〇秒六
- 2静岡 3和歌山 4京都 5廣島 6福岡
- 中等學校東西對抗
- 西部(茨木中) 6 2 1 0 1 東部(神奈川商工實)
- 4 2 1 1 1
- 一般東西對抗
- 西部 4 1 1 1 1 東部
- 3 1 3 1 1
- 野球
- 大會の華、中等學校、七大學新人野球戦は十月廿一日から十一月三日まで神宮、戸塚の兩球場で開催、中等學校は甲子園の花形チーム八校が参加し、決勝は又もや中京商業と明石中學の顔合せとなり、明石利あらず中京に凱歌揚る、大學新人戦は本年より東京六大學(帝大を除く)に日大、専修の兩大學を加へ、結局明大新人が優勝するところとなった。
- 大學新人戦

◇第一回戦

慶	10120222A	早大	000100000
慶	10120222A	早大	000100000
早大	000100000	慶	10120222A
早大	000100000	慶	10120222A
早大	000100000	慶	10120222A
早大	000100000	慶	10120222A

中京商	4A—0
浪華商	0—4A

中京	00000201A
松本	000001000
中京商	3A—1
明石中	3A—2

◇三壘打

大正	000100000
松山	000000000
大正	000100000
松山	000000000
大正	000100000
松山	000000000

◇ダブルス

宮城(東大)	6—2
宮城(東大)	6—4
宮城(東大)	6—2
宮城(東大)	6—4
宮城(東大)	6—2
宮城(東大)	6—4

◇決勝戦

宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1

◇第一回戦

慶	8A—1
早大	1—8A
慶	8A—1
早大	1—8A
慶	8A—1
早大	1—8A

中京	400000000A
浪華	000000000
中京	000000000
浪華	000000000

中京	00000201A
松本	000001000
中京商	3A—1
明石中	3A—2

◇三壘打

明石	01000200A
北海	001000000
明石	01000200A
北海	001000000
明石	01000200A
北海	001000000

◇ダブルス

宮城(東大)	6—2
宮城(東大)	6—4
宮城(東大)	6—2
宮城(東大)	6—4
宮城(東大)	6—2
宮城(東大)	6—4

◇決勝戦

宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1
宮城(東大)	6—1

後藤(商大) 6-6 藤澤(東俱) 6-2

三浦(早大) 6-6 塚田(明大) 6-1

高田(東大) 6-6 伊與田(立教) 6-2

◇準決勝戦

宮城(東大) 7-6 後藤(商大) 6-3

三浦(早大) 6-0 高田(東大) 3-1

◇決勝戦

宮城(東大) 6-6 三浦(早大) 6-4

坪井(廣島) 6-3 松原(愛知) 1-6
水津(市商) 6-4 巖木(一師) 3-2

林(小石川) 6-6 松平(GM) 6-2

岡田(ラポ) 6-6 瀧口(ラポ) 6-1

林(小石川) 6-6 岡田(ラポ) 6-2

◇決勝戦

府縣對抗

朝鮮 4-4 兵庫 4-1

大阪 4-3 愛知 3-2

北海 3-3 臺灣 3-2

朝鮮 4-4 愛知 4-1

大阪 4-4 北海 4-1

臺灣 3-3 兵庫 3-0

愛知 3-2 大阪 2-1

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

愛知 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

後藤(商大) 6-6 藤澤(東俱) 6-2

三浦(早大) 6-6 塚田(明大) 6-1

高田(東大) 6-6 伊與田(立教) 6-2

◇準決勝戦

宮城(東大) 7-6 後藤(商大) 6-3

三浦(早大) 6-0 高田(東大) 3-1

◇決勝戦

宮城(東大) 6-6 三浦(早大) 6-4

坪井(廣島) 6-3 松原(愛知) 1-6
水津(市商) 6-4 巖木(一師) 3-2

久野(愛知) 6-6 松本(京都) 7-5

三浦(一中) 6-6 野村(師範) 6-2

久野(愛知) 6-6 坪井(廣島) 6-4

◇決勝戦

松本(京師) 6-6 鍵富(慶商) 6-9

鶴田(佐師) 9-5 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

鶴田(佐師) 6-7 久野(愛一中) 6-7

林(小石川) 6-6 松平(GM) 6-2

岡田(ラポ) 6-6 瀧口(ラポ) 6-1

林(小石川) 6-6 岡田(ラポ) 6-2

◇決勝戦

府縣對抗

朝鮮 4-4 兵庫 4-1

大阪 4-3 愛知 3-2

北海 3-3 臺灣 3-2

朝鮮 4-4 愛知 4-1

大阪 4-4 北海 4-1

臺灣 3-3 兵庫 3-0

愛知 3-2 大阪 2-1

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

朝鮮 3-2 朝鮮 3-2

◇決勝戦

高濱	女松	21	21
女子部	日體	21	21
		8	9
		一京	高女
		女城	女田

▼不登録の選手が出場したのが発見されて日體女子部除外さる。

◇第二回戦

廣中	21	18	21
師香	21	23	21
師德	21	21	18
師廣	21	21	18
商業	21	21	18
	15	16	19
	10	21	19
	10	21	17
	中	神	師
	高	第	京
	學	戸	範
	同	商	城
		一	澤

◇決勝戦

仙臺(仙臺)	4	1	0	0
東京OB	(東京)	4	1	3
		1	3	1
		1	0	1
				1
				仙臺
				(仙臺)

東京

FW	阪腰丸丸	FW	仙臺
	三宅		二根
	生		根
	濱		永
	市		横
	竹		山
	井		田
	阿		柳
			奥
			我
			伊
			達
GK	CK	GK	伊達
	4		6
	FK		3
	GK		27
	16		

場及YMCA各コートで舉行、優勝チーム左の如し。

▼一般男子 東京高師 ▼一般女子 新

◇第三回戦

柴俱樂部	20	15
東京高師	21	35
	12	10
	17	10
	水	關
	高	西
	校	學
		院

スポーツ—神宮競技

◇決勝戦

師香	21	21
師廣	21	21
	10	19
	10	14
	師	二
	範	廣
	島	中
		島

ラグビー 蹴球は十一月一日と三日に外苑競技場で舉行

◇準決勝戦

早高	8	0	3
	8	0	3
	0	3	3
			明大豫

◇準決勝戦

常盤俱樂部	32	30
成城高校	11	25
	22	12
	22	12
	19	10
		岐
		阜
		俱
		楽

◇第四回戦

成女俱樂部	15	8
名古屋一	20	15
女	5	6
	13	9
		木
		更
		津
		高
		女

◇準決勝戦

馬垣田浦中	5	1
藤村邊下川	5	1
鳥原淵中崎	5	1
相西太三山伊木渡	5	1
木堀	5	1
		中
		藤
		岩
		眞
		江

は全日本地方對抗選手権大會を兼ねて十月廿七日から卅日まで外苑競技場に於て舉行、關東代表OBが優勝した。

◇第一回戦

關學(關西)	5	1
東京OB	1	1
	0	0
	0	0
	0	0
		富
		山
		師
		範
		(北
		陸)
		函
		館
		蹴
		球
		團
		(北
		海)
		靜
		高
		俱
		(東
		海)
		熊
		本
		師
		範
		(九
		州)
		關
		西
		學

◇準決勝戦

成女俱樂部	13	14
新津高女	10	10
	9	9
	9	9
		山
		形
		嚶
		鳴
		名
		古
		屋
		一
		女

◇第三回戦

新湯商業	14	13
東邦商業	14	6
	2	13
	9	8
		東
		筑
		中
		學
		東
		商
		業
		神
		戸
		二
		中
		東
		商
		業
		長
		野
		商
		業
		埼
		玉
		師
		範
		關
		東
		學
		院
		新
		湯
		商
		業

◇決勝戦

長野商業 17—17 東邦商業 28—16

漕艇

十月廿八日から十一月三日まで尾久及向島川沖で行はれた。

固定席艇

◇シニア決勝 1 横濱高工二分四六秒 2 明治専門 3 セビリヤナ

◇選手権決勝 1 北海製罐四分四三秒 2 鐵俱樂部 3 静水會

◇ジュニア決勝 1 横濱商業一分五二秒 2 沼津中學 3 慶應普通部

オープンのエイト

◇決勝 1 第二早高三分一二秒 2 第一早高 オープン・フオア

◇決勝 1 一高柏葉會三分一五秒 2 日本大學

スカル選手権

◇卅歳以上 石井金一郎(關東)四分〇二秒 2 武井(關西)

◇四十歳以上 1 東龍太郎(關東)四分二七秒

◇ジュニア 1 西光稔(關西)四分〇五秒 2 鍋島(關東)

◇商船カッター

1 十二號艇(岡田)一時間 四八分一二秒 2 六號艇 3 八號艇

十月廿八日、廿九日の兩日外苑角力場に於て舉行、結果左の如し。

決勝戦

フライ級

花田(一般) 判定 村田(中部)

バンナム級

内元(一般) 判定 左右田(中部)

フエザイ級

千崎(中部) 判定 天野(一般)

ライト級

飯野(關西) 判定 永松(一般)

ウエルト級

三好(學生) KO 吉田(關西)

ミドル級

平林(學生) 判定 加藤(中部)

柔道

十月廿八日から卅一日まで日本青年館で開催 優勝者は左の如くである。

▼中等學校 御影師範 ▼一般 田中末吉 ▼青年 中島正行 ▼青年團對抗 熊本縣

中等學校

第四回戦

岡山縣 2—0 岐阜縣

香川縣 2—0 大阪府

岡山縣 2—0 岡山縣

植田メメ—0 眞崎

藤本コメ—0 龍川

個人準決勝戦 植田(香川)メメ—0 藤本(香川) 眞崎(岡山)コメ—0 龍川(岡山)

決勝戦 植田一ドメ—0 眞崎尙次

陸海軍人

準決勝戦 作道(日山校)コメ—0 茂利(一師) 有馬(佐世保)メメ—0 一瀬(吳防)

決勝戦 作道圭二 コメ—0 有馬喜三郎

在郷軍人銃劍術

決勝戦 田口(熊本)朋喉—朋 稲田(新發田)

同軍刀術

決勝戦 大倉(姫路)メ—0 宇貫(高崎)

一般の部

廿歳未満決勝戦 中尾(大阪)ドコ—0 片山(奈良)

四一九

◇Bクラス

1 木下昇(東京ロイヤル)四分一二秒 2 松本(東京スカリーング)

◇シニア 1 磯彌之助(關東)八分五〇秒 2 金澤(關西)

◇女子 1 西園寺美代子(選手ボート)四分五〇秒 2 牧野千代子(東京ロイヤル) 海軍カッター

◇決勝 1 金剛一七分 2 海兵團 和 船

◇七挺櫓 1 東京水産講習所A 八分一二秒 2 黒潮會 オワン・ボート

◇小型二人漕 1 山口、高畑(白取組)二分一八秒 2 角田組 ヨット

◇全國學生對抗 1 平松、伊藤組(慶應)四分四九秒 2 木村、吉本組(同志社) 3 上川、早川組(阪大)

◇東西對抗 1 小澤(東部)四分三〇秒 2 黒田(西部) 3 安盛(西部) 4 淺井(東部) 5 小林(東部) 6 吉原(西部) 7 二宮(西部) 8 坂倉(東部) 18 點の同點となつたが第一位が關東であつた爲に關東の優勝となる

◇オープン 1 葵(本多)五分二二秒 2 つばき(矢崎) 3 しぶき(木島)

田中(神奈川) 跳腰 山下(石川) 後藤(長野) 引分 田中(神奈川) ▼順位 1 田中末吉五段(神奈川) 2 山下雄五段(石川) 3 後藤三郎五段(長野) 4 高田貞治五段(静岡)

青年團府縣對抗

府縣準決勝戦 北海道 2—1 東京府 熊本縣 2—1 新潟縣

決勝戦 熊本縣 2—0 北海道 岡川 峰吉(逆十字) 橋本茂右衛門 辻本英之助(内股) 千葉英雄

個人準決勝戦 中島(神奈川) 内股 産江(新潟) 辻本(熊本) 内股 鈴木(大阪)

決勝戦 中島正行 大外刈 辻本英之助

剣道 十一月一日から三日まで日本青年館に於て開催、青年團では香川縣、個人も植田(香川)軍人は作道(日山學校)、在郷軍人銃劍術田口(熊本)軍刀術大倉(姫路)がそれぞれ優勝した。

青年團對抗

準決勝戦

鹿兒島商 1—0 帝京商業

長野中學 2—1 關西中學

久留米商 3—0 秋田中學

御影師範 3—0 神奈川師

準決勝戦 久留米商

御影師範 4—0 久留米商

鹿兒島商 1—1 長野中學

決勝戦 1—0 鹿兒島商

御影師範 2—1 鹿兒島商

大學高専

第五回戦 山本三段(早大) 内股返 佐谷二段(九醫) 加藤五段(東高) 大外刈 森四段(國十館) 篠原四段(京都武) 合技 長 澤(慶應) 山口五段(早大) 内股 奥 村(中大)

準決勝戦 山本三段 小内刈 加藤五段 山口五段 返技 篠原四段

山口利雄 支釣込足 山本秀雄

府縣一般選手権

決勝リーグ 山下(石川) 引分 後藤(長野) 田中(神奈川) 跳腰 高田(静岡) 後藤(長野) 燕返 高田(静岡)

長崎第三 3—0 桃井第三
高等科決勝戦

牛込高小 2—1 千壽高小
十一月三日牛込河田町馬場で舉行、各種競技優勝者左の如し。

馬術
乙種純馬術〔自馬〕
1 波邊正夫(東京馬術) 2 高橋(東京乗馬)
3 岩城(東京乗馬)

甲種純馬術〔自馬〕
1 川崎隆三郎(東京乗馬) 2 四條(東京馬術) 3 高橋(佐々木馬術)

甲種純馬術〔教團〕
1 久力紫郎(東京馬術)

小障礙連續飛越〔女子〕
1 澤田静子(東京馬術)

小障礙連續飛越〔生徒〕
1 黒田長久(學習院) 2 岩城(學習院) 3 菊地(弘高工)

中障礙連續飛越〔學生〕
1 岩井正治(同志社) 2 福井(法政) 3 植村(北大)

中障礙連續飛越〔自馬〕
1 岡幸昌(高知乗馬) 2 鈴木(村上馬術) 3 村上(村上馬術)

中障礙連續飛越〔下士官〕

西 野井木野森藤見原瀨野田
浦石鈴天高加深杉成淺福

東 原山寺本井澤井村山田野
小横大坂酒瀧酒中杉柴小

中等學校選手権

準決勝戦
名古屋商業 4 4
山陽中學 1 0

札幌商業 1 1
臺北一中 1 0

決勝戦
名古屋商 2 0
札幌商業 0 0

卓球
十月廿九日から三日間
四谷第六小學校コート
に於て舉行、村田(東京)黒崎(東京)兩氏が優勝した。

男子の部
第四回戦
森田(大阪) 3—0 永田(福岡)
山田(東京) 3—0 栗林(廣島)
井上(東京) 3—1 藤村(大阪)
吉住(東京) 3—1 相澤(神奈川)

1 松村金男(陸士) 2 細谷(陸士) 3 小倉(陸士)
中障礙連續飛越〔紳士〕
1 小宮清造(滋賀乗馬) 2 内田(大和乗馬)
3 戸島(二里山乗馬)
大障礙連續飛越〔自馬〕
1 松村英一(東京乗馬)
大障礙連續飛越〔下士官〕
1 石渡十一(陸士) 2 飯沼(陸士) 3 小宮山(陸士)

女子選手権
成城OG 1—0
0 0 0 0 女子大

大壘専門對抗
北海道帝大 3—0
0 0 0 0 1 名古屋

東西OB對抗
東日本 5—4
1 1 2 3 西日本

野球
黒崎(東京) 10 9 10 10 7
忍田(奈良) 8 12 8 7

保原(京都) 10 10 7 6 12
奥山(熊本) 8 4 10 10 9

決勝戦
黒崎(東京) 14 10 10
12 5 7 保原(京都)

六大學リーグ
立教優勝す(八年)
一年一季制を採用した東京大學野球聯盟
昭和八年秋季シーズンは九月九日から再開
良く整備した立教の突撃物凄く早慶法帝を
薙ぎ倒し、勝敗率七割八分六厘の最高率に

女子の部
準決勝戦
村田(東京) 10 6 12 10 7
井上(東京) 8 10 9 6 10

決勝戦
村田(東京) 10 10 10
5 6 5 小林(兵庫)

井上(東京) 14 10 14
11 6 11 山田(東京)

準決勝戦
角田(東京) 3—2 今(青森)
村田(東京) 3—2 幸田(福岡)
小林(兵庫) 3—0 中島(岩手)
程塚(東京) 3—0 勝田(大阪)

第五回戦
山田(東京) 3—1 森田(大阪)
井上(東京) 3—0 吉住(東京)
村田(東京) 3—0 角田(東京)
小林(兵庫) 3—0 程塚(東京)

立教
法政 0 0 2 0 0 1 0 0 0 3
立教 0 0 0 0 4 0 0 0 0 4

バッテリー
立教 鶴澤、若林、倉、南
影浦、百瀬

バツテリ
立教 菊谷、別井、若林、倉

第三回戦は九月十日午後三時十分から立教の先攻で開始、四對三で立教勝つ、法政は春秋を通じて立教に三敗となる、閉戦五時廿分(審判 球錢村、轟本郷、横澤、伊丹)

て一季制最初の制覇を遂げ、春に振はなかつた明大も秋は奮起して一躍第二位、以下早慶法帝の順位となつた、秋季シーズンの成績は左の如くである。

立教 4—3 法政
5A—4
3—4

第二回戦は九月九日正午から法政先攻で舉行、五A對四で立教快勝す、閉戦一時五分(審判 球森田、轟片桐、森、小林)

立教 1 0 0 3 0 1 0 0 0 A
法政 0 0 0 0 0 2 1 0 1 4

バツテリ
立教 若林、倉

慶應 4 19A 7 1 5 帝大

第二次戦は九月九日午後二時九分から帝大先攻で舉行、十九A對一で慶應大勝す、閉戦四時四十分(審判 球伊丹、壘片田、鳥錢村)

慶應 6 1 2 3 0 1 1 6 A 帝大 0 0 0 0 1 0 0 0 0 1-19A

バッテリー(慶應) 三宅—小川、櫻井 帝大 梶原—黒岩

第三次戦は九月十日正午から慶應先攻で舉行、帝大の攻撃振ひ九A對四で帝大金的を射止む、閉戦二時卅分(審判 球齋藤、壘森、横澤、藤田)

帝大 1 0 2 1 0 5 0 0 A 慶應 0 1 1 0 0 0 1 0 1 4-9A

バッテリー(帝大) 藤原—古南、春日井、灰山、塚腰 慶應 春日井、小川、櫻井

明大 3 10A 8A 0 6 早大

第二次戦は九月十六日午後零時十四分から早大の先攻で舉行、八A對零で明大快勝す、閉戦二時八分(審判 球藤田、壘片桐、鳥片田) 明大 0 0 9 2 5 1 0 0 A 早大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0-8A

バッテリー(明大) 折井—追畑 早大 大下、若原、惠、鶴飼

第三次戦は九月十七日午後二時四十二分から早大の先攻で開始、十A對六で明大再勝す、閉戦五時十分(審判 球藤田、壘本郷、小林、齋藤)

明大 3 0 1 4 0 2 0 0 A 早大 0 5 0 0 1 0 0 0 0 6-10A

バッテリー(明大) 折井、山脇—追畑 早大 福田、若原、惠—鶴飼

立数 9 3A 2 帝大 5 1

第二次戦は九月十六日午後三時五十分から帝大先攻で開始、三A對二で立教辛勝す、閉戦五時十五分(審判 球伊丹、壘横澤、本郷、藤田)

大先攻、四A對二で法政勝つ、閉戦二時十五分(審判 球錢村、壘片田、森、本郷)

法政 1 0 2 0 1 0 0 0 A 帝大 1 0 0 0 0 0 0 0 1 2-4A

バッテリー(法政) 鶴澤、劉—倉 帝大 梶原—古南

立数 1 3A 2A 早大 11A 3A 9 2

第二次戦は九月卅日午後零時十分から早大の先攻で舉行、三A對二で立教勝つ、閉戦二時五分(審判 球小林、審判、本郷、藤田)

立教 0 0 0 0 2 0 0 1 A 早大 0 0 0 0 0 0 2 0 0 2-3A

バッテリー(立教) 菊谷—別井 早大 松本—鶴飼

第三次戦は十月一日午後二時五十分から早大の先攻で開始、十一A對九で立教優勝、閉戦五時卅分(審判 球森田、壘横澤、鳥、片桐)

立数 0 0 0 0 1 1 0 0 0 1A 帝大 0 0 0 0 0 0 1 0 1 0 2-3A

バッテリー(立教) 菊谷、壘田—別井 帝大 藤原—古南

第三次戦は九月十七日午後零時五分から立教先攻で開始、五對一で立教三勝す、閉戦一時五十分(審判 球鳥、壘森、錢村、森田)

帝大 0 0 0 0 0 0 1 0 0 1 立教 0 1 4 0 0 0 0 0 0 5-1

バッテリー(帝大) 藤原、梶原—古南 立教 影浦—百瀬

第二次戦は九月廿三日午後零時七分から早大の先攻で舉行、七A對二で慶應復讐、閉戦二時廿四分(審判 球藤田、壘小林、森片田)

慶應 0 1 0 0 4 2 0 0 A 明大 0 0 0 0 0 0 0 0 2 2-7A

立数 0 10 0 0 1 0 0 0 A 早大 0 1 0 2 0 0 1 0 5 9-11A

バッテリー(立教) 影浦、菊谷、壘田—百瀬 早大 若原、惠、松本—鶴飼

明大 9 13 11A 4 2 帝大 5 1

第二次戦は九月卅日午後二時五十分から早大の先攻で開始、十一A對四で明大勝つ、閉戦四時卅一分(審判 球伊丹、壘森田、鳥、片田)

明大 3 1 4 0 2 1 0 0 A 帝大 0 0 0 4 0 0 0 0 0 4-11A

バッテリー(明大) 山脇—追畑 帝大 藤原—古南

第三次戦は十月一日午後零時五分から早大の先攻で舉行、十三對五で明大三勝す、閉戦二時七分(審判 球藤田、壘森田、齋藤本郷)

帝大 0 0 1 0 1 0 0 2 1 明大 2 6 0 1 0 3 1 0 0 13-5

バッテリー(慶應) 三宅—小川、山脇—追畑 明大 折井、山脇—追畑

第三次戦は九月廿四日午後三時から慶應先攻に開始、五A對三で明大の再勝となる、閉戦四時五十分(審判 球伊丹、壘鳥、齋藤、片桐)

明大 3 0 0 1 0 0 1 0 A 慶應 0 1 2 0 0 0 0 0 0 3-5A

バッテリー(明大) 山脇—追畑 慶應 三宅—櫻井

法政 9 7A 4 帝大 4A 2 7A

第二次戦は九月廿三日午後三時六分から法政の先攻で舉行、九A對七で帝大快勝、閉戦五時廿五分(審判 球森田、壘齋藤、横澤、伊丹)

帝大 0 7 0 0 0 0 2 0 A 法政 0 0 0 2 0 0 3 2 0 7-9A

バッテリー(帝大) 藤原—古南、劉、鶴澤、若林、三森 法政 早川、南

第三次戦は九月廿四日午後零時三分から帝

バッテリー(帝大) 梶原—古南、八十川—迫畑、櫻井

法政 01200001A
0001020000
3

第二回戦は十月四日午後二時から明大の先攻に開始、四A對三で法政の勝、閉戦四時五分(審判 球森田、壘片田、森、片桐)

バッテリー(法政) 若林—倉、山脇—迫畑

第三回は十月五日午後二時五分から法政の先攻で開始、七A對二で明大勝つ、閉戦四時(審判 球伊丹、壘本郷、片桐、片田)

明大 10003030A
1000000000
2

立教 65A 6
2 9A
6

第二回戦は十月七日午後二時十二分から慶應先攻で開始、五A對二で立教勝つ、閉戦

四時卅五分(審判 球小林、壘島、錢村、伊丹)

立教 02300000A
0100010000
2

バッテリー(立教) 影浦、菊谷—百瀬、三宅、岸本—小川、櫻井

第三回戦は十月廿五日午後二時五分から立教の先攻に舉行、六對六で引分けとなる、閉戦四時卅八分(審判 球藤田、壘横澤、片桐、森)

慶應 0005100000
0110102016
6

バッテリー(慶應) 塚越、三宅、岸本—小川、菊谷、鹽田—百瀬、別井、成田

第二回戦は十月十日午後二時十分から帝大の先攻で行はれ、十五A對五で早大勝つ、閉戦四時十分(審判 球鳥、壘本郷、横澤、片田)

早大 615A 10A
2 5 0
帝大

明大 00000011A
0010000000
1

バッテリー(明大) 八十川、山脇—櫻井、高野、影浦—百瀬

第二回戦は十月二十一日午後二時十分から早大の先攻で舉行、九對一で早大の大勝に歸す(審判 球藤田、壘横澤、片桐、片田)

慶應 0000100000
0000200003
9

バッテリー(慶應) 水原、岸本、塚越—小川、櫻井、若原—三浦

第三回戦は十月二十二日午後二時七分から早大の先攻で開始、兩軍亂戦を演じて結局九A對八で慶應辛くも勝つ、閉戦五時二分(審判 球錢村、壘鳥、齋藤、小林)

早大 0120003120
0410000012
8

早大 30046020A
0002030000
5

バッテリー(早大) 松本—三浦、梶原、藤田—古南

第三回戦は十月十一日午後二時十一分から早大の先攻に舉行、六對二、早大勝つ、閉戦四時十分(審判 球錢村、壘片田、森、藤田)

帝大 2000000000
0000101222
6

バッテリー(帝大) 篠原—古南、山田、惠—三浦

第二回戦は十月十四日午後二時十五分から法政の先攻で開始、六對三で法政勝つ、閉戦四時(審判 球森田、壘横澤、本郷、片桐)

早大 0000002100
0003102000
6

バッテリー(早大) 若林—倉、松本—鶴飼

第二回戦は十月廿八日午後一時卅三分から法政の先攻で舉行、七A對三で慶應勝つ、閉戦三時五十分(審判 球伊丹、壘横澤、片桐、齋藤)

法政 00021202A
0100000020
3

バッテリー(法政) 塚越—小川、若林、劉、鶴澤、三森、廣瀬—倉

第三回戦は十月廿九日午後一時半から慶應の先攻で舉行、十四回の延長戦を演じ七A對六で法政再勝、閉戦四時四十三分(審判 球錢村、壘片桐、森、齋藤)

法政 2001300000001A
1000100400000000
6

バッテリー(帝大) 梶原—古南、八十川—迫畑、櫻井

法政 01200001A
0001020000
3

第二回戦は十月四日午後二時から明大の先攻に開始、四A對三で法政の勝、閉戦四時五分(審判 球森田、壘片田、森、片桐)

バッテリー(法政) 若林—倉、山脇—迫畑

第三回は十月五日午後二時五分から法政の先攻で開始、七A對二で明大勝つ、閉戦四時(審判 球伊丹、壘本郷、片桐、片田)

明大 10003030A
1000000000
2

立教 65A 6
2 9A
6

第二回戦は十月七日午後二時十二分から慶應先攻で開始、五A對二で立教勝つ、閉戦

四時卅五分(審判 球小林、壘島、錢村、伊丹)

立教 02300000A
0100010000
2

バッテリー(立教) 影浦、菊谷—百瀬、三宅、岸本—小川、櫻井

第三回戦は十月廿五日午後二時五分から立教の先攻に舉行、六對六で引分けとなる、閉戦四時卅八分(審判 球藤田、壘横澤、片桐、森)

慶應 0005100000
0110102016
6

バッテリー(慶應) 塚越、三宅、岸本—小川、菊谷、鹽田—百瀬、別井、成田

第二回戦は十月十日午後二時十分から帝大の先攻で行はれ、十五A對五で早大勝つ、閉戦四時十分(審判 球鳥、壘本郷、横澤、片田)

早大 615A 10A
2 5 0
帝大

明大 00000011A
0010000000
1

バッテリー(明大) 八十川、山脇—櫻井、高野、影浦—百瀬

第二回戦は十月二十一日午後二時十分から早大の先攻で舉行、九對一で早大の大勝に歸す(審判 球藤田、壘横澤、片桐、片田)

慶應 0000100000
0000200003
9

バッテリー(慶應) 水原、岸本、塚越—小川、櫻井、若原—三浦

第三回戦は十月二十二日午後二時七分から早大の先攻で開始、兩軍亂戦を演じて結局九A對八で慶應辛くも勝つ、閉戦五時二分(審判 球錢村、壘鳥、齋藤、小林)

早大 0120003120
0410000012
8

早大 30046020A
0002030000
5

バッテリー(早大) 松本—三浦、梶原、藤田—古南

第三回戦は十月十一日午後二時十一分から早大の先攻に舉行、六對二、早大勝つ、閉戦四時十分(審判 球錢村、壘片田、森、藤田)

帝大 2000000000
0000101222
6

バッテリー(帝大) 篠原—古南、山田、惠—三浦

第二回戦は十月十四日午後二時十五分から法政の先攻で開始、六對三で法政勝つ、閉戦四時(審判 球森田、壘横澤、本郷、片桐)

早大 0000002100
0003102000
6

バッテリー(早大) 若林—倉、松本—鶴飼

第二回戦は十月廿八日午後一時卅三分から法政の先攻で舉行、七A對三で慶應勝つ、閉戦三時五十分(審判 球伊丹、壘横澤、片桐、齋藤)

法政 00021202A
0100000020
3

バッテリー(法政) 塚越—小川、若林、劉、鶴澤、三森、廣瀬—倉

第三回戦は十月廿九日午後一時半から慶應の先攻で舉行、十四回の延長戦を演じ七A對六で法政再勝、閉戦四時四十三分(審判 球錢村、壘片桐、森、齋藤)

法政 2001300000001A
1000100400000000
6

試合勝率

立教	明大	早大	慶大	法政	帝大	試合数	勝数	勝率
2	2	1	3	3	15	11	1	786
1	2	2	1	3	15	9	0	600
1	1	1	2	3	15	8	0	533
1	1	2	1	2	15	7	1	500
0	2	1	2	2	15	7	0	467
0	0	0	1	1	15	2	0	133
敗数								3 6 7 7 8 13

チーム守備率

立教	明治	法政	早大	慶大	帝大	刺殺	補殺	失策	守備率
402	217	33	0.949						
396	200	34	0.946						
408	243	41	0.941						
387	162	39	0.934						
407	176	42	0.933						
389	177	54	0.913						

チーム打撃率

立教	早大	法政	明治	帝大	試合数	勝数	敗数	引分	打点	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打撃点	犠打	盗塁	三振	四死球	打撃率
15	7	7	1	526	87	132	25	9	0	79	175	11	27	33	95	0.251				
15	8	7	0	519	93	130	20	12	1	81	177	18	18	30	92	0.250				
15	7	8	0	508	64	116	18	2	0	55	138	14	30	61	64	0.228				
15	11	3	1	493	74	111	13	8	1	62	143	19	15	44	89	0.225				
15	9	6	0	493	86	108	19	8	0	71	143	13	29	46	77	0.219				
15	2	13	0	488	51	100	13	4	0	45	121	10	14	51	82	0.205				

ベストテン (打席三十以上)

選手名	打方	出場数	打点	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打撃点	犠打	盗塁	三振	四死球	打撃率
岩本(明)	右	15	59	15	23	3	2	0	13	30	1	8	3	0.390
小村(慶)	左	13	36	4	14	1	1	0	8	17	1	1	0	0.389
川(慶)	右	13	39	10	15	1	1	0	6	18	1	0	1	0.385
井(早)	右	9	26	6	10	1	2	1	7	18	1	0	2	0.385
原(帝)	右	14	55	12	20	5	1	0	4	27	1	5	3	0.364
井(明)	右	15	53	11	19	6	1	0	10	27	1	5	1	0.358
澤(明)	右	10	29	5	10	0	0	0	2	10	2	2	3	0.345
口(法)	右	15	56	12	19	3	0	0	6	22	2	2	5	0.339
馬(早)	右	14	55	11	18	4	3	0	19	28	3	0	5	0.327
崎(立)	左	11	42	7	13	1	1	0	5	16	2	1	1	0.310

法政首位 (九年前期)

東京大学野球聯盟一シーズン制二年目の争闘戦、春の一回戦は雨の爲一日延びて四月廿二日から神宮球場に於て火蓋が切られた、各校一回當りの十五試合、此の野球が秋に持ち込まれるのでフアンの人氣稍々淋しく、戦前好評だった明立は案外不振で結局春の順位は四勝一敗で法政が首位を占め早慶三勝二敗で共に第二位、明立は二勝三敗で三位、末位の帝大は最後に慶應を破つて一勝四敗の成績に終わった。

立教 7A—1 帝大

立帝戦は四月廿二日午後二時から帝大の先攻で舉行された、立教の打撃振ひ七A對一で大勝す、閉戦三時四十分 (審判 球藤田 壘横澤、森、森田)

立教	3	2	0	0	0	1	1	0	A
帝大	0	0	0	0	1	0	0	0	7A
立教	1	—	7A						

明法戦は四月廿三日午後三時五分から法政の先攻で舉行、十回の延長戦の結果、四對二で明大敗る、閉戦五時十分 (審判 球藤田)

田、壘片桐、齋藤、森)

明大	2	0	0	0	0	0	0	0	0
法政	0	1	0	0	0	0	0	0	1
明大	4	—	2						

早慶戦は四月廿七日午後二時から早大の先攻に舉行、四A對二で慶應先づ勝つ、閉戦四時廿分 (審判 球藤田、壘横澤、齋藤、片桐)

早慶戦は四月廿八日午後二時三分から法政の先攻で開始、三對一で法政勝つ、閉戦四時十分 (審判 球藤田、壘横澤、森、片桐)

早大	0	0	2	0	0	0	0	2	A
法政	0	0	0	0	1	0	1	0	4A
早大	2	—	4A						

立教は四月廿八日午後二時三分から法政の先攻で開始、三對一で法政勝つ、閉戦四時十分 (審判 球藤田、壘横澤、森、片桐)

立教	0	0	0	0	1	0	0	0	0
法政	0	0	0	0	0	0	0	3	0
立教	1	—	3						

明帝戦は五月一日午後三時から帝大の先攻で開始、五A對四で明大辛勝す、閉戦四時五十分 (審判 球藤田、壘森、齋藤、森田)

明大	0	0	2	0	0	0	0	1	2A
帝大	1	0	2	0	0	0	0	1	0
明大	4	—	5A						

慶明戦は五月五日午後二時から慶應先攻で舉行、四對三で慶應快勝、閉戦四時十五分 (審判 球藤田、壘齋藤、片桐)

明大	0	2	0	1	0	0	0	0	0
慶應	0	0	3	0	0	1	0	0	0
明大	3	—	4						

早法戦は五月六日午後二時から法政先攻で開始、八A對一で早大大勝、閉戦四時一分 (審判 球藤田、壘横澤、片桐、齋藤)

早大 0 2 0 3 1 0 1 1 A
 法政 0 1 0 0 0 0 0 0 0
 バッテリ―〔早大 若原―鶴飼
 法政 若林―藤田〕

早帝戦は五月十二日午後二時五分から帝大の先に開始され、兩軍混戦を演じ結局廿A對九で早大の勝、閉戦四時四十五分(審判 球藤田、壘齋藤、横澤、森田)

早大 2 7 4 4 0 1 0 2 A
 帝大 3 2 3 0 0 0 0 0 1
 バッテリ―〔早大 大下、阿部、桑原―藤堂、鶴飼
 帝大 篠原、梶原―濱野〕

慶立戦は五月十四日午後三時二分から慶應の先攻で舉行、七對六で立教惜敗す、閉戦五時五十分(審判 球片桐、壘横澤、森、藤田)

立教 2 3 0 0 0 1 0 0 0
 慶應 2 0 0 0 2 0 0 2 1
 バッテリ―〔立教 鹽田、影浦―別井
 慶應 岸本、三宅―櫻井〕

早明戦は五月十九日午後二時八分から明大の先攻で舉行、六A對四で早大勝つ、閉戦四時卅五分(審判 球藤田、壘片桐、齋藤 森田)

早大 0 5 0 0 1 0 0 0 A
 明大 0 0 1 0 2 1 0 0 0
 バッテリ―〔早大 若原―鶴飼
 明大 折井、田所―室井〕

法帝戦は五月廿日午後二時五分から法政の先攻で開始、九對五で法政勝つ、閉戦三時五十分(審判 球齋藤、壘横澤、森、藤田)

法政 1 0 2 0 3 1 1 0 1
 帝大 0 0 0 1 0 2 2 0 0
 バッテリ―〔帝大 藤田、篠原―濱野、古南
 法政 若林―藤田、早川〕

慶帝戦は五月廿六日午後二時から帝大の先攻で舉行、慶應投手意外にも不振で二、三回に計九點の大量得点を與へたのが重荷となり、慶應恢復に努めたが、八回更に二點

の致命的ランを奪はれ結局十一對七で帝大の快勝となる、閉戦四時四十七分(審判 球藤田、壘森、横澤、齋藤)

慶應 2 1 0 1 2 1 0 0 0
 帝大 0 7 2 0 0 0 0 2 0
 バッテリ―〔慶應 三宅、飯塚―小川
 帝大 梶原、藤田―濱野〕

早立戦は五月廿七日午後二時五分から立教の先攻で開始、十二對四で立教大勝す、閉戦四時廿分(審判 球藤田、壘片桐、横澤、藤田)

早大 1 0 0 0 0 0 1 0 2
 立教 0 0 1 3 0 3 0 1 4
 バッテリ―〔早大 若原、桑原、鶴飼
 立教 鹽田―別井〕

慶法戦は六月二日午後二時から法政先攻で開始、五對二で法政勝つ、閉戦四時廿七分(審判 球齋藤、壘森、片桐、横澤)

法政 5 1 1 0 0 0 0 1 2
 慶應 0 0 0 0 0 0 2 0 0
 バッテリ―〔法政 梶原、藤田―濱野
 慶應 立教、鹽田―別井〕

勝敗成績表 (春季リーグ試合)

法政	1	0	1	1	1
慶應	0	1	1	1	0
早大	1	0	0	1	1
立教	0	0	1	0	1
明大	0	0	0	1	1
帝大	0	1	0	0	0
敗數	1	2	2	3	3

明立戦は春の最終試合として六月四日午後三時十分から明大先攻で舉行、五對一で明大勝つ、閉戦五時卅分(審判 球片桐、壘森、藤田)

立教 0 0 1 0 0 0 0 0 0
 明大 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 バッテリ―〔立教 鹽田、影浦、有村―山脇、室井
 明大 別井〕

バツテリ―〔慶應 三宅、飯塚、岸本―小川、若林、藤田
 法政 立教〕

守備成績

守備率	失策	補殺	刺殺	試合名
早大 .954	9	53	135	法政
立教 .950	11	75	135	立教
法政 .946	12	71	135	慶應
明治 .945	12	71	135	明治
帝大 .944	11	58	128	帝大
慶應 .932	14	60	132	早大

ベストテン (打數 11 以上)

選手名	打方	出場數	打數	得點	安打	二壘打	三壘打	本壘打	打點	犠打	盗塁	三振	四振	打率
梶原(帝)	右	5	18	7	13	2	1	0	5	17	1	5	0	.722
原(明)	右	3	12	3	6	1	1	0	0	9	0	0	0	.500
馬(早)	右	5	13	2	6	2	0	0	4	8	0	3	1	.462
鳥(早)	右	5	22	7	10	0	3	1	8	19	0	1	0	.455
田(立)	右	5	16	5	7	1	2	0	5	12	0	0	1	.438
下(慶)	右	5	21	2	9	1	1	0	6	12	1	0	1	.429
須(早)	右	5	18	4	7	0	1	1	7	12	1	2	1	.389
村(法)	右	5	19	3	7	0	2	0	2	11	1	0	0	.368
田(立)	右	5	17	5	6	1	0	0	0	7	1	0	0	.353
武(早)	右	5	20	3	7	0	1	0	6	9	0	0	0	.350

全國中等學校大會

第十九回全國中等學校優勝大會は八月十二日から廿日まで九日間に亘つて甲子園球場に於て舉行された、全國より選ばれた廿二地方代表校が覇を争ひ、準決勝戦に中等商業と明石中學が延長廿五回と云ふ驚異的レコードを作り、更に中等商業が連續三年優勝の記録を作成して大會を終つた。

地方選優勝戦

北海中學	5A	3	旭川中學
秋田中學	10	9	秋田商業
盛岡中學	8A	4	育英中學
北關東地方	2	0	桐生中學
南關東地方	3A	2	銚子商業
東京地方	3	0	日大三中
甲神靜地方	4	1	淺野中學

郡山中學、松山中學、嘉義農林、秋田中學。

第二回戦

栃木中學	3	2	大分商業
郡山中學	7	5	秋田中學
中京商業	3	2	浪華商業
平安中學	5	1	北海中學
松山中學	10	1	嘉義農林
明石中學	10	0	水戸商業
大正中學	4	0	松本商業
横濱商業	4	1	敦賀商業

準々決勝戦

平安中學	9A	1	群山中學
中京商業	2	0	大正中學
明石中學	4A	0	横濱商業
松山中學	3A	2	栃木中學

準決勝戦

平安中學	4	0	松山中學
平安對松山の試合は午前十時から鶴田(球)橋本、長谷川、弘世(壘)四氏審判で平安先攻に開始、四對零で平安勝つ、閉戦零時半			
松山	0	0	0
平安	1	3	4

◇東海地方

中京商業	8A	0	岐阜商業
信越地方			
松本商業	10A	1	新潟中學
北陸地方			
敦賀商業	12A	0	富山商業
京津地方			
平安中學	13A	0	舞鶴中學
紀和地方			
郡山中學	6A	3	海南中學
大阪地方			
浪華商業	6A	5	日新商業
兵庫地方			
明石中學	3A	0	育英商業
山陽地方			
大正中學	4A	2	廣陵中學
山陰地方			
鳥取一中	15A	4	松江中學
四國地方			

松山 麻生一竹内
平安 高木一堀添

中京商業 1A—0 明石中學

中京對明石の試合は午後一時十分から水上(球)濱井、富永、伊藤(壘)四氏審判の下に明石の先攻で舉行、延長廿五回の熱戦の末、中京貴重の一打を止め一A對零で快勝する、閉戦六時五分。

中京	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明石	1	2	3	4	5	6	7	8	9
中京	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明石	0	0	0	0	0	0	0	0	0

決勝戦

中京商業 2A—1 平安中學

決勝を争ふ中京對平安の一戦は廿日午後二時十三分から天知(球)池田、町田、有田(壘)四氏審判の下に平安先攻に舉行、二A對一で中京商業の三年連續優勝成る、閉戦四時六分。

松山中學	7	6	高松商業
北九州地方			
佐賀師範	3	1	飯塚商業
南九州地方			
大分商業	6	4	熊本工業
朝鮮地方			
善隣商業	5A	1	木浦商業
臺灣地方			
嘉義農林	9A	1	臺南一中
滿洲地方			
大連商業	11A	5	安東中學

第一回戦

横濱商業	6	2	佐賀師範
敦賀商業	3A	0	鳥取一中
中京商業	11A	0	善隣商業
明石中學	6	0	慶應商工
浪華商業	12A	3	盛岡中學
水戸商業	4A	3	大連商業
不戦一勝			栃木中學、大分商業、平安中學、北海中學、大正中學、松本商業、

全國選抜大會

第十一回全國選抜中等學校野球大會は三月廿八日から四月七日まで甲子園球場で開催された、選抜校は廿校、新進東邦商業(愛知縣)の優勝するところとなつた。

第一回戦

岐阜商業	4	2	吳港中學
中京商業	10	2	坂出商業
京郡商業	4A	0	堺中學
享榮商業	7A	0	靜岡商業
不戦一勝			神戸一中、栃木中學、海南中學、日新商業、和歌山中學、膳所中學、東邦商業、京都一商、徳山中學、小倉工業、明石中學、浪華商業。

第二回戦

神戸一中	2	0	栃木中學
海南中學	2	1	日新商業
和歌山中學	2	0	膳所中學
東邦商業	3	0	京都一商

享榮商業 5—3 徳山中學
 定評のある近藤(享榮) 土谷(徳山)
 兩進新投手の對戦は一對一で延長十
 八回、最後に徳山崩れる。
 浪華商業 4—3 中央商業
 昨夏の覇者中京も吉田、杉浦の兩選
 手を卒業させた爲に浪華の復讐を許
 す。

小倉工業 5A—4 岐阜商業
 明石中等 2—1 京都商業
 浪華商業 3—1 神戸一中
 東邦商業 6A—3 明石中學
 享榮商業 10A—1 和歌山中學
 海南中學 4—1 小倉工業
 準決勝戦
 浪華商業 4—2 享榮商業
 東邦商業 5A—2 海南中學
 決勝戦
 東邦商業 2A—1 浪華商業

東京五大學秋季リーグ戦は九月二日から
 開始され日本大學が優勝した、以下専修、
 中央、國學院、農大の順位である。
 〔八年秋季リーグ戦〕
 東邦 0 0 0 0 0 0 0 0 2A
 浪華 0 0 0 0 0 0 0 0 1
 1—2A
 バツテリー 東邦 立谷—渡邊
 浪華 納家—藤居
 五大學リーグ

春季リーグ戦は五月二日から開始され、
 専修大學は對國大戰の一戦を失つたのみで
 他は全勝し堂々優勝する、以下は中央、國
 學院、日大、農大
 〔九年春季リーグ戦〕
 専修 7 9A
 日大 9 1A
 國大 13A 10
 日大 5 7A
 農大 5 3
 中央 3 0
 農大 4 1
 専修 7 9A
 日大 9 1A
 國大 13A 10
 日大 5 7A
 農大 5 3
 中央 3 0
 農大 4 1

〔八年秋季リーグ戦〕
 關西六大學秋季リーグ戦は九月十六日から
 開始、關西大學が優勝、以下順位は京大立
 命館、關學、神戸商大、同志社となつた。
 日大 10 11
 農大 1 1
 中央 9 6
 國大 2A 9 18A
 農大 0 6
 専修 12 18A 2A
 農大 3 4
 國大 7 7A 3
 日大 4 3 8A
 中央 10 12A
 農大 6 1
 専修 13A 1
 日大 1 0
 國大 5A 10
 農大 2 2
 神商大 9 10
 京大 7 6

同志社 11A 4
 關學 3A 0
 關學 8A 8
 立命館 8A 4
 關大 16 8
 神商大 7 0
 關大 12 8
 京大 0 3
 關大 10 13 1
 同志社 0 0 2A
 立命館 11 17 0
 立命館 10 6 4A
 京大 11 17 0
 立命館 10 6 4A
 關大 2 5
 立命館 1 3
 京大 15 2 10
 同志社 11 3A 8

〔九年春季リーグ戦〕
 組織問題から盟主關大を脱退させた聯盟は
 名を五大學聯盟に改めて五月五日から、春
 季シーズンを開始、一位立命館大學、二位
 關西學院、三位同志社大學、四位京都帝大、
 五位神戸商大となつた。
 關大 3 3
 關學 3 0
 立命館 4 9
 神商大 4 5
 京大 7 8
 關學 5 6
 神商大 8 5
 同志社 6 3
 關學 5 11A
 神商大 3 7
 京大 20 12
 神商大 6 7
 立命館 7 6A
 關學 3 5
 立命館 11 14A
 神商大 2 0

第七回全國都市對抗野球大會は八月四日から十一日まで神宮球場で舉行、參加チーム十六、東京俱樂部(東京)が連続優勝した。

關學	立命館	關學	同志社	立命館	同志社	關學
8A 11A	6A 14A	15A 5A	6 12	3 2 6A	7 28	5 5 5
7 2	1 5	4 4	4 6	0 3 4	5 8	0 0 7A
京大	同志社	立命館	京大	京大	神商大	同志社

東京俱樂部優勝
都市對抗

校が優勝した。(参加校十六)

桐生中學	横濱商業	横濱三中	茨城工業	早實	浅野中學	桐生中學	浅野中學	桐生中學	桐生中學	六大學先輩よりなる六大學俱樂部リーグ
8	5A	4	7	3	6	6	6	7	7	六大學OBリーグ
1	4	3	2	1	0	5	0	3	3	六大學先輩よりなる六大學俱樂部リーグ
川越中學	慶商	千葉中學	高崎商業	浦和中學	銚子商業	水戸商業	横濱商業	横濱三中	横濱三中	六大學先輩よりなる六大學俱樂部リーグ
1	4	3	4	2	9	0	2	2	2	六大學先輩よりなる六大學俱樂部リーグ
1	4	3	4	2	9	0	2	2	2	六大學先輩よりなる六大學俱樂部リーグ

東京對京城決勝戦は十一日京城の先攻に開始、東京は九回五對五の同點に漕ぎつけ十回に一點を入れて六A對五で京城を危ふく打棄つて連続優勝す。

東京	京城
0 2 0 0 0 0 0 0 3 1A	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1A
6A	5

四帝大野球大會

四帝大野球リーグ戦は九月一、二、三の日間、甲子園球場で舉行、東京帝大六度連続す。

東京帝大	東北帝大	九州帝大	東京帝大
14A	8	19A	6
1	5	4	5
京都帝大	九州帝大	京都帝大	東北帝大
14A	8	19A	6
1	5	4	5

關東中等野球

第一回關東選抜中等學校大會は八月廿二日から廿七日まで神宮球場で舉行、桐生中學

水戸高校	佐賀高校
3	1
桐生中學	水戸高校
4	2
桐生高工	桐生高工
9	8
高松高商	高松高商
3	0
松山高商	松山高商
2	0

其の他主なる試合

八、一〇	三	高	一	高
10、ハ	關三田	9A	3	關稻門
二、ニ	關駿臺	5	0	關三田
二、ニ	明大	6A	0	關大
二、ニ	立教	2	0	立命館
二、ニ	立教	9A	0	同志社
二、ニ	立教	5A	4	關大
二、ニ	立教	8A	2	神商大
四三七	慶應	17A	4	立命館

戦は第一回大會を六月九日から土曜、日曜に開催、A組を稲門、三田、帝大の三俱樂部、B組を駿臺、法友、聖ポールに分ち、A組は各チーム一勝一敗、B組の駿臺が法友、聖ポールを撃破したので規程に依り優勝する。

◇A組
三田俱 8 — 6 稲門俱
稲門俱 11 — 4 帝大
帝大 15 — 14 三田俱

◇B組
駿臺俱 3 — 0 法友俱
法友俱 9 — 5 聖ポール
聖ポール 9A — 7 聖ポール

高専野球大會
第十一回高専野球大會は四地方豫選區に於て夫々豫選の結果第二部(専門學校)では横濱高商、桐生高工、松山高商、高松高商が優勝、第一部(高等學校)では水高、一高、松山、佐賀が優勝し、決勝大會を七月廿一日から甲子園球場で開催、専門學校では横濱高商、高等學校では松山高校が優勝した。

◇第一部(高校)
松山高校 10 — 5 一高

二、七	早大	7A	2	關學
二、八	立命館	5	2	早大
二、二	法政	3A	1	立命館
二、二	同志社	9	6	慶應
二、三	慶應	9A	2	立命館
二、三	慶應	3A	1	關大
二、二八	法政	4A	3	立命館
二、二九	關大	2	2	法政
二、二九	法政	7	3	神商大
二、三〇	明大	9A	4	京大
二、三〇	早大	4	4	同志社
二、三〇	關大	12A	4	關學
二、三〇	早大	5	3	早高
二、三〇	早大	14	2	京大
二、三〇	早大	6A	3	早高
二、三〇	早大	7	5	關大
二、三五	早大	6A	2	關大

四、一八	慶應	6A	1	關大
四、一七	關大	3	1	東京俱
四、一七	東京俱	2A	1	専修
四、一六	關大	4A	3	關學
四、一六	關大	3	2	明大
四、一六	關大	6	0	神商大
四、一六	關大	8	3	京大
四、一六	關大	15A	0	同志社
四、一六	立命館	8A	3	關學
四、一六	關大	12	2	立命館
四、一六	帝大	0	0	立教
四、一六	早大	5	3	法政
四、一六	慶應	9	7	明大
四、一六	慶應	6A	4	帝大
四、一六	明大	7	3	法政
四、一六	立教	8A	1	早大
四、一六	立教	6	3	東京俱
四、一六	關大	2A	1	専修

四、二八	慶應	6A	1	關大
四、二七	關大	3	1	東京俱
四、二七	東京俱	11A	3	全大阪
五、二七	關大	11A	5	關大
五、二七	關大	19	6	關大
五、二七	關大	11A	5	關大
六、九	慶應	21A	14	關大
六、九	慶應	11A	8	立命館
六、一〇	慶應	14A	8	同志社
六、一〇	慶應	10A	5	神商大
六、一〇	慶應	14A	5	關大
六、一七	關大	4	2	法政
六、一七	法政	5A	0	神商大
六、一八	法政	10A	5	立命館
六、一八	法政	9A	5	同志社
六、三三	立教	4A	2	立命館
六、三三	立教	5A	2	同志社

庭球

六、四	立教	8A	1	關大
六、七	關大	5	4	立教
七、一	關大	14	12	明大二軍

關西學生選手権

第十三回關西學生庭球選手権大會は八年八月五日から十二日まで甲子園コロシアムで舉行シテ、川崎組が優勝した。

◇ダブルス

木下(學)	6-6	1-3	6-4	増山(京)
尾崎(關)	6-6	2-0	6-2	宮井(關)
木村(學)	6-6	4-2	6-1	龍田(學)
川崎(學)	7-5	4-6	1-1	増田(京)
木下(學)	6-6	1-3	6-4	増山(京)

◇ダブルス

木下(學)	6-6	2-0	6-2	藤井(關)
増山(京)	6-6	1-0	6-3	三宅(同)

決勝戦

木下(學)	6-6	1-3	6-4	増山(京)
-------	-----	-----	-----	-------

大毎主催の第二十六回全國中等學校庭球大會は七月廿七日から卅日まで濱寺コロシアムで舉行、準決勝以後の成績左の如くである。

◇シングル

川崎(學)	6-1	6-1	尾崎(關)
木下(學)	6-3	6-1	木村(學)

◇ダブルス

西岡(高知)	6-2	6-6	6-2	久野(愛一)
久野(愛一中)	10-8	8-10	鶴田(佐賀師)	

決勝戦

西岡(高知)	6-2	6-6	6-2	久野(愛一)
--------	-----	-----	-----	--------

◇ダブルス

阪井(池川)	6-3	6-3	石丸(松山)
横野(師範)	6-3	6-3	別室(中學)
松原(愛知)	6-2	6-2	池田(和歌)
岩本(愛知)	6-3	6-3	山縣(山中)
岩本(愛知)	6-3	6-3	阪井(池田)
松原(愛知)	6-3	6-3	横野(師範)

ルも山岸、西村組が優勝した。

◇シングル

西村(慶)	6-2	6-3	楠本(東)	
山岸(慶)	6-2	6-4	藤倉(明)	
山岸(慶)	6-12	6-11	6-3	西村(慶)

◇ダブルス

西村(慶)	6-6	6-10	9-7	保田(早)
山岸(慶)	6-6	6-11	9-7	波邊(大)
藤倉(明)	6-6	6-11	9-7	楠本(東)
兄弟(大)	6-6	6-11	9-7	鹿島(大)

決勝戦

西村(慶)	6-6	5-7	6-6	藤倉(明)
山岸(慶)	6-6	3-7	6-6	兄弟(大)

◇ダブルス

山岸(慶)	6-6	5-7	6-6	兄弟(大)
西村(慶)	6-6	3-7	6-6	兄弟(大)

男子シングルス

準決勝戦

戎 (カジ) 8-6、6-6、6-20 吉岡 (京都)

林 (京大) 6-4、2-6、6-0 藤井 (關大)

決勝戦

戎 (カジ) 6-1、6-6、6-13 林 (京大)

ダブルス

準決勝戦

堀越 (大澤) 6-2、7-5 藤井 (關大)

戎 (カジ) 6-3、7-5 山田 (大)

決勝戦

上原 (甲大) 6-1、6-3 木下 (關大)

村上 (甲大) 6-3、6-3 川崎 (學)

村上 (甲大) 6-4、6-6、6-13 堀越 (大澤)

上原 (大澤) 6-4、6-6、6-13 戎 (カジ)

女子シングルス

準決勝戦

月田 (千代) 6-2、6-4 中村 (大)

木全 (日本) 6-0、6-4 富川 (清女)

決勝戦

月田 (千代) 8-6、3-6 木全 (日本)

高橋 6-5、7-1、7-15 桑澤

山田 6-7、5-6、6-2 保田

平井 13-11、6-2 三浦

山岸 6-1、6-2 吉川

西村 6-2、6-2 山岡

東日主催の東日庭球トーナメントは九月廿三日から廿七日まで早大、東大両コートで舉行、明大の藤倉、慶應の西村、山岸組が優勝す。

ダブルス

準決勝戦

藤倉 (明大) 6-1、6-2 山田 (慶應)

佐藤 (東大) 6-3、6-2 山岡 (早大)

決勝戦

藤倉 (明大) 4-6、6-6、6-2 佐藤 (東大)

ダブルス

準決勝戦

山西村 (慶應) 6-4、6-3 上原 (BB)

山岸 (慶應) 6-0、6-3 佐藤 (東大)

スポーツ—庭球

瀧口 (東) 6-1、6-2 富川 (西)

早慶對抗秋季試合

第廿回早慶對抗庭球試合は九月十六、七の両日早大コートで舉行、結局九對零で慶應の連勝となる。

年次勝敗成績

春季

秋季

大正十三年 早慶 6-3 慶 早慶 6-3 慶

十四年 早慶 8-1 慶 早慶 8-1 慶

十五年 早慶 7-2 慶 早慶 7-2 慶

昭和二年 慶 6-3 早慶 慶 6-3 早慶

三年 慶 7-2 早慶 慶 7-2 早慶

四年 慶 5-4 慶 慶 5-4 早慶

五年 慶 6-3 早慶 慶 6-3 早慶

六年 慶 7-2 早慶 慶 7-2 早慶

七年 早慶 5-4 慶 慶 5-4 早慶

八年 慶 8-1 早慶 慶 8-1 早慶

健富 (應) 6-2、6-2 楠本 (慶)

健富 (應) 6-1、6-2 莊田 (成)

楠本 (慶) 6-1、6-2 大津 (城)

東西學生對抗戦

第三回學生東西對抗庭球試合は十月廿一、二の両日東京大森コートで舉行。

ダブルス

〔關東〕 8-0 〔關西〕

新谷 6-7、5-8、6-6 國松

楠本 6-1、6-3 小野田

山田 6-1、6-6、6-4 林

山岡 6-2、3-6、6-4 藤井

藤倉 6-1、3-6、8-6 増山

西村 6-6、3-1、6-4 木下

山岸 6-6、1-2、6-0 伊藤

佐藤 6-6、4-2、6-4、1-6 布井

ダブルス

〔關東〕 5-0 〔關西〕

新谷 6-6、4-3、6-3 鶴田

川村 6-3、4-6、3-6 羽田

四四一

河平	67	45	6	2	不野田
山田	66	28	6	6	小野田
吉川	66	28	6	6	藤木
山西	66	32	6	4	藤木
岸村	66	32	6	4	木宅
佐藤	65	72	5	10	伊藤
藤倉	61	71	7	8	井藤

一般男子軟球選手権
全日本一般男子軟球選手権大会は十一月三、四、五の三日間東京江古田コートで舉行。

準決勝

中下(大)	棄權	伊谷
藤原(大)	棄權	津谷
熊野(大)	棄權	岩崎
有馬(大)	棄權	日向
中下(大)	4-1	有熊
藤原(大)	4-1	馬野
熊野(大)	4-2	日向
有馬(大)	4-2	京東

全日本男子選手権
第十二回全日本男子選手権大会は十一月五日から十七日まで甲子園コートで舉行大試合連続して大奮闘等を演じた結果、シングルズでは西村がデビス選手を破り優勝、ダブルズは西村、山岸組が佐藤、布井組の棄權によつて優勝した。

シングルス

西村(慶)	67	58	67	29	布井(神商)
藤倉(大)	66	42	56	72	山岸(慶)
西村(慶)	36	11	66	24	藤倉(明)

ダブルズ

西村(慶)	36	11	66	24	藤倉(明)
布井(神商)	66	11	66	24	宮城(東)
西村(慶)	66	11	66	24	齋藤(東)
山岸(慶)	66	11	66	24	堀越(三)
山岸(慶)	66	11	66	24	鶴原(大)

テニスマン別試合
一九三四年度テニスマン別試合は各地で行はれた、成績左の如し。

甲子園

西村	64	26	秋元
布井	75	75	佐藤次
秋元	82	66	山岸
布井	86	75	西村
藤倉	57	86	上村
藤倉	64	86	原上

關東學生對OB

山岸	64	75	西村
西村	64	75	藤倉

關東支部主催の關東學生對OB庭球試合は四月三日、早大コートで舉行、雨の爲め九試合目で中止した。

關西學生對OB

喜多山(OB)	6-3	6-4	梅久(生)
高田(生)	6-2	10-8	藤澤(OB)
楠本(生)	6-4	3-6	川地(OB)
高橋(生)	7-3	5-6	牧野(OB)
中谷(生)	6-3	6-3	鹿島(OB)
佐藤(OB)	6-1	6-4	山田(生)
喜多山(OB)	6-4	6-4	加藤(生)
山田(生)	11-9	中止	山岸(OB)

關西學生對抗庭球

慶應	8	5	1	帝大
明大	5	9	4	早大
慶應	5	5	0	早大
帝大	5	5	4	早大
慶應	8	5	4	明大
帝大	5	5	4	早大
慶應	8	5	4	早大
帝大	5	5	4	早大
慶應	8	5	4	早大
帝大	5	5	4	早大
慶應	8	5	4	早大
帝大	5	5	4	早大
慶應	8	5	4	早大
帝大	5	5	4	早大
慶應	8	5	4	早大
帝大	5	5	4	早大

關東學生對抗庭球

塚田(明)	66	20	613	村上(慶)
楠本(大)	66	33	6416	平井(慶)
同高	8	9	0	姫路高校
同高	8	9	0	京都工務
同高	7	2		甲南高校

楠本(東大) 6 4 3 7 6 5 3

中谷(明大) 6 4 6 6 4 4

塚田(早大) 6 7 1 6 2 9 6 6 1 4 4

服部(早大) 6 7 2 9 11 7 9 5

桑澤(早大) 7 6 4 6 4

西村(慶應) 1 西村(慶應)

山岸(慶應) 2 山岸(慶應)

藤倉(明大) 3 藤倉(明大)

佐藤(東京俱) 4 佐藤(東京俱)

我城(カジマヤ) 5 我城(カジマヤ)

宮城(帝大) 6 宮城(帝大)

山岡(早大) 7 山岡(早大)

山田(慶應) 8 山田(慶應)

平井(慶應) 9 平井(慶應)

村上(甲子園俱) 10 村上(甲子園俱)

本保(帝大) 11 本保(帝大)

浦本(早大) 12 浦本(早大)

山岸(慶應) 2 山岸(慶應)

山岡(早大) 3 山岡(早大)

宮城(帝大) 4 宮城(帝大)

木下(慶應) 5 木下(慶應)

平井(慶應) 6 平井(慶應)

三浦(早大) 7 三浦(早大)

桑澤(早大) 8 桑澤(早大)

後藤(明大) 9 後藤(明大)

渡邊(早大) 10 渡邊(早大)

藤井(早大) 11 藤井(早大)

高橋(早大) 12 高橋(早大)

吉野(早大) 13 吉野(早大)

小川(早大) 14 小川(早大)

梅谷(早大) 15 梅谷(早大)

中谷(早大) 16 中谷(早大)

不破(早大) 17 不破(早大)

高橋(早大) 18 高橋(早大)

鹿島(早大) 19 鹿島(早大)

宮城(早大) 20 宮城(早大)

吉岡(京都俱) 13 吉岡(京都俱)

塚田(明大) 14 塚田(明大)

木下(關東大) 15 木下(關東大)

後藤(關東大) 16 後藤(關東大)

藤井(關東大) 17 藤井(關東大)

高橋(關東大) 18 高橋(關東大)

桑澤(早大) 19 桑澤(早大)

渡邊(早大) 20 渡邊(早大)

西村(慶應) 1 西村(慶應)

山岡(早大) 2 山岡(早大)

宮城(早大) 3 宮城(早大)

保田(早大) 4 保田(早大)

上原(早大) 5 上原(早大)

桑原(早大) 6 桑原(早大)

村上(早大) 7 村上(早大)

鹿島(早大) 8 鹿島(早大)

川崎(早大) 9 川崎(早大)

西村(早大) 10 西村(早大)

浦本(早大) 11 浦本(早大)

三浦(早大) 12 三浦(早大)

明正(早大) 13 明正(早大)

明正(早大) 14 明正(早大)

ラグビー 早大連続優勝す 七大学リーグ戦 昭和三年から早慶明立帝の五大学がリーグの形式をもつて試合をしてゐたが、昭和八年から法政、商大の二大学を加へ七大学リーグが形成されたので試合数も多くなり従つてシーズン開始は早くなつて九月廿三日の立教對商大戦を皮切りに十二月二十五日の慶應對明大戦を以つて幕を閉じた、本年も早明戦が優勝の分岐点となり、八對六の接戦で早大の連続優勝なり、以下順位は第二位明大、第三位慶應、第四位立教、第五位法政、第六位帝大、第七位商大となつた。

ラグビー

早大連続優勝す

七大学リーグ戦

昭和三年から早慶明立帝の五大学がリーグの形式をもつて試合をしてゐたが、昭和八年から法政、商大の二大学を加へ七大学リーグが形成されたので試合数も多くなり従つてシーズン開始は早くなつて九月廿三日の立教對商大戦を皮切りに十二月二十五日の慶應對明大戦を以つて幕を閉じた、本年も早明戦が優勝の分岐点となり、八對六の接戦で早大の連続優勝なり、以下順位は第二位明大、第三位慶應、第四位立教、第五位法政、第六位帝大、第七位商大となつた。

Table with 20 columns and 2 rows of player names and team abbreviations. Includes names like 吉岡, 塚田, 木下, etc.

Table with 20 columns and 2 rows of player names and team abbreviations. Includes names like 山岸, 山岡, 宮城, etc.

Table titled '試合勝敗數' (Match Results) with columns for teams and win/loss counts.

九月廿三日上井草競技場で舉行

Table showing player positions (FW, HB, TB, FB) and names for various teams.

Table titled '九月廿日駒球場で舉行' (Match Results) with columns for teams and win/loss counts.

Table showing player positions (FW, HB, TB, FB) and names for various teams.

Table showing player positions (T, G, P, G) and names for various teams.

十月七日神宮競技場で舉行

立教	33	20	13
法政	10	0	0
立教	1	4	
法政	0	0	
立教	2	1	
法政	0	0	
立教	0	0	
法政	1	0	
立教	33	3	
法政	0	0	

FW 田(昭)野藤川壽 井地多田石部守方
HB 大酒佐田伊川喜 井岡立
TB 沼林中加市惠林長青本中大阿式緒
FB 田東江弟田井兄 田野 利田間村 上野

FW 山酒佐田伊川喜 田中竹 田清石北
HB 下井倉川藤田部立 萬岡 中水井野
TB 田野 足石佐大
FB 田

十月廿二日神宮競技場で舉行

立教	19	8	11
法政	1	0	0
立教	1	0	
法政	0	0	
立教	1	1	
法政	0	0	
立教	1	1	
法政	0	0	
立教	19	6	
法政	0	0	

FW 梶井倉川藤多泉中井岡 水野尾林
HB 大酒佐田伊川和 田石竹西清北若田
TB 倉島海木崎石浦友 松田口矢藤居内
FB 小横淺高井立三大 重奥野關加糸竹

FW 堀原海野邊 華上森本 賀口木
HB 砂松西大渡薄米 野飯山原柯荒坂鈴
TB 田昭野藤川田 井勇 多方石部守本
FB 沼林中加市中林長橋 本緒大阿式緒

十月廿八日駒球場で舉行された

早大	40	20	20
商大	0	0	0
早大	5	5	
商大	0	0	
早大	1	1	
商大	0	0	
早大	0	0	
商大	0	0	
早大	40	0	
商大	0	0	

FW 大酒佐田伊川喜 井岡立 水野田林
HB 梶井倉川藤田 井岡立
TB 大酒佐田伊川喜 石竹足 西清北吉田
FB 田

FW 堀原海野邊 華上森本 賀口木
HB 砂松西大渡薄米 野飯山原柯荒坂鈴
TB 田昭野藤川田 井勇 多方石部守本
FB 沼林中加市中林長橋 本緒大阿式緒

十月廿一日神宮競技場で舉行

明大	81	36	45
法政	0	1	0
明大	4	2	
法政	0	0	
明大	6	6	
法政	0	0	
明大	1	0	
法政	0	0	
明大	81	8	
法政	0	0	

FW 堀原海野邊 華上森本 賀口木
HB 砂松西大藤薄米 山飯野原柯荒坂鈴
TB 田江中田井野 田野 澤利間村
FB 佐野 田中田井野 田野 澤利間村 上野

FW 堀原海野邊 華上森本 賀口木
HB 砂松西大藤薄米 野飯山原遠荒坂鈴
TB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
FB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木

十一月四日神宮競技場で舉行

早大	52	36	13
帝大	0	0	0
早大	1	3	
帝大	0	0	
早大	2	6	
帝大	0	0	
早大	0	0	
帝大	0	0	
早大	52	0	
帝大	0	0	

FW 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
HB 砂松西大藤薄米 野飯山原遠荒坂鈴
TB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
FB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木

FW 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
HB 砂松西大藤薄米 野飯山原遠荒坂鈴
TB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
FB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木

十一月十一日神宮競技場で舉行

早大	16	3	13
立教	0	0	0
早大	0	1	
立教	0	0	
早大	2	0	
立教	0	0	
早大	1	0	
立教	0	0	
早大	16	13	
立教	0	0	

FW 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
HB 砂松西大藤薄米 野飯山原遠荒坂鈴
TB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
FB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木

FW 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
HB 砂松西大藤薄米 野飯山原遠荒坂鈴
TB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木
FB 堀原木野邊 華上森本 藤賀口木

〔早大〕

堀原海野邊 華本森上葉越賀口木
砂松西大渡薄米 山飯野千川荒坂鈴

倉澤海木崎石浦松 友田口矢藤居内
小長淺高井立三重 大奥野關加糸木

法政 23
商大 0
十一月十七日神宮競技場で舉行

FW 前後 1 4
HB 前後 1 0
TB 前後 1 0
FB 前後 0 2
P G 前後 1 0
23-6

〔法政〕
田昭野藤川壽 井多地 田石方守
沼林中加市惠林長 本青 中大緒式 橋

松 田弟江井重野 野田 利田間村
廣西清野 比 牧細 足石佐久 上野

FW 前後 1 3
HB 前後 0 3
TB 前後 1 0
FB 前後 0 0
P G 前後 1 0
30-0

〔慶應〕
規井下藤川立多中井部 西岡飼田林
大酒山伊田足川喜 田石財 竹矢吉田

星 田雲松納上岡木 堤 林郷川原 賀
赤神 原三小加川藤青 堤 小南柄原 須

FW 前後 0 1
HB 前後 0 0
TB 前後 0 0
FB 前後 0 0
P G 前後 0 0
8-6

十二月三日神宮競技場で舉行

早大 0
明大 0
8-6

十二月二日神宮競技場で舉行

早大 8
明大 0
3-5
3-6
6

十二月廿三日神宮競技場で舉行

早大 0
明大 0
0-0
0-2
0-0
8-6

十二月廿五日神宮競技場で舉行

早大 18
明大 0
13-5
3-5
8

十二月廿七日神宮競技場で舉行

早大 0
明大 0
0-0
0-0
0-0
18-8

十二月廿九日神宮競技場で舉行

早大 2
明大 1
2-2
0-0
0-0
17-6

十二月三十一日神宮競技場で舉行

早大 11
明大 6
11-6
3-3
6
17-6

十二月一日神宮競技場で舉行

早大 11
明大 6
11-6
3-3
6
17-6

十二月三日神宮競技場で舉行

早大 11
明大 6
11-6
3-3
6
17-6

十二月五日神宮競技場で舉行

早大 11
明大 6
11-6
3-3
6
17-6

十二月七日神宮競技場で舉行

スポーツ—ラグビー

〔早大〕

堀原海野邊 華本森上葉越賀口木
砂松西大渡薄米 山飯野千川荒坂鈴

槻井倉川藤治部 中井部 尾飼水野林
大酒佐田伊田阿田石財若矢清北田

法政 33
立教 27
明大 6
十一月廿五日神宮競技場で舉行

FW 前後 1 4
HB 前後 0 3
TB 前後 1 0
FB 前後 0 0
P G 前後 1 0
33-3

〔明大〕
田田垣浦井邊口 隈下島田 沼原
太松西三松渡山 林 松木本辻岡 永笠

澤島海木崎石浦友本 田矢木内藤内
長横淺高井立三 大松 奥關鈴柿加竹

本 内雲松納上岡木 谷郷川林住
塚神宮三小加川藤青堤菅南柄小有

FW 前後 0 1
HB 前後 0 0
TB 前後 1 0
FB 前後 0 0
P G 前後 1 0
11-6

十一月廿三日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十一月廿五日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十一月廿七日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十一月廿九日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月一日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月三日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月五日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月七日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月九日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月十一日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月十三日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

十二月十五日神宮競技場で舉行

早大 11
慶應 8
11-6

四四九

一月二日神宮競技場で舉行、全日本のナンパーワンを決定すべき一戦、八対八で遂に引分けとなったが、一引分の早大の優勝となる

早大 8-0 同志社

堀原海野邊 華本森上葉 賀口木
砂松西大渡 米山飯野千 荒坂鈴

FW 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
HB 島部 桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
TB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
FB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本

一月八日神宮競技場で舉行

慶應 16-5 同志社

下井倉川野治田部井立尾飼水野林
山酒佐田眞田川財石足若矢清北田

FW 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
HB 島部 桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
TB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
FB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本

第十六回中等學校大會は一月二日から七日まで甲子園南運動場で舉行、秋田工業優勝

中等大會

早高 46-0 満醫大專
準決勝戦 早高 36-12 同志社高商
普成 16-5 天理外語
決勝戦 早高 19-8 普成専門

第一回戦
京城師範 58-0 北海中學
京都一商 8-8 天王寺商
神戸二中 40-0 脇町中學
臺北一中 40-0 廣島一中
第二回戦
鞍山中學 9-3 福岡中學
秋田工業 27-3 慶普
京城師範 16-0 京都一商

(同點抽籤の結果京一商勝つ)

明大 37-3 京大

田田垣水井邊口 下隈 岡 田羽多 原
太松西清松渡山 林 木松 辻丹本 笠

FW 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
HB 島部 桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
TB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
FB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本

一月七日神宮競技場で舉行

關東 40-3 關西

服坂梅那伊永渡多 齋島 小松磯伊 天
部井原須藤山邊田 藤本 施野田知 野

FW 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
HB 島部 桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
TB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
FB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本

一月廿一日花園競技場で舉行、關東七回連勝

神戶二中 11-0 臺北二中

工秋 業田 11-0 神戶二中
師京 範城 49-20 鞍山中學
決勝戦 業田 8-5 京城師範

準決勝戦 (神戶二中抽籤勝となる)

五大學OBリーグ戦 東京五大學OBリーグ戦は二月廿五日から三月廿五日の間に舉行され、慶應OB優勝

成績表

勝數 4 3 2 1 0
明治 〇 〇 〇 〇 〇
立教 〇 〇 〇 〇 〇
學士 〇 〇 〇 〇 〇
早大 〇 〇 〇 〇 〇
慶應 〇 〇 〇 〇 〇

慶早學立明 敗 0 1 2 3 4

關東 17-5 東北學院

西松西大田大 米清飯野 辻 加北 笠
海原(早) 垣野(早) 川龍(早) 水森(早) 田(早) 藤野(早) 原(明)

FW 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
HB 島部 桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
TB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本
FB 網桂部 美濃 高江田 藤内 橋本

第九回高專大會は一月二日から六日まで花園競技場で舉行、早稻田高等學院が優勝した

高專大會

第一回戦
高同志社 21-10 臺北高商
普成 14-11 關西學院
專門 17-6 東北學院

學士 43-17 明大OB
慶應 22-13 立教OB
立教 13-9 明大OB
早大 17-11 早大OB
慶應 14-8 學士
學士 20-17 立教OB
早大 16-11 明大OB
慶應 11-6 學士
立教 11-6 立教OB
早大 11-5 明大OB

陸上競技

全國高校陸上

東京・京都兩帝大主催の第八回全國高等學校陸上競技大會は八年七月廿二、三の兩日京大競技場で舉行、學習院優勝す。

- ▲各校得點 學習院六九・五 山形四四・五 八高三六・五 浪速三四・五 甲南三二・五 二高二四・五 六高二〇
- 〔トラック〕△百米小池(學習院)一〇秒七 (新記録) 2松平(學習) 3入江(松江) △二百米1小池(學習)二二秒三 2木村(山形)3竹花(山形) △四百米1木村(山形)五一秒一(新記録) 2鷹松(五高)3鶴澤(八高) △八百米1鶴澤(八高)二分四秒九 2菊池(二高)3鷹松(五高) △千五百米1菊池(二高)四分三二秒二 2片山(浪速) 3山崎(松山) △五千米1森下(八高)一七三分三八秒八 2片山(浪速) 3永安(六高) △高障礙 1山田(學習)一六秒六 2松村(福岡) 3山下(一高) △低障礙 1小池(學習)二六秒一 2宮崎(松本)

- 3山田(學習) △四百米繼走 1山形(岡、鈴木、竹花、木村)四四秒五 2學習3水戸 △千六百米繼走 1山形(岡、安部、竹花、木村)三分三八秒 2八高 3二高
- 〔フィールド〕△走高跳 1市岡(八高)一米七五A 2和田(山形) 3北原(一高) △走幅跳 1小池(學習)七米一六(新記録) 2鈴木(山形) 3白石(北大豫) △三段跳 1小池(學習)一四米八七 2小澤(甲南) 3小田柿(山形) △棒高跳 1山田(學習)三米四〇 2大宮(五高) 3山本(浪速) △砲丸投 1松野(甲南)一四米六三(新記録) 2徳永(浪速) 3森田(八高) △圓盤投 1松野(甲南)三九米三三(新記録) 2徳永(浪速) 3實吉(學習) △鐵槌投松野(甲南)四三米一 2徳永(浪速) △槍投 1小池(學習)五米八一 2徳永(浪速)

全日本中等選手權

第九回全日本中等學校陸上競技選手權大會は八年八月廿六、七日の兩日神宮で舉行。參加校中等百七十八校、師範三十六校。

◇中等部各校得點

1小野中二七・五 2下野中一七 3岩手中一六 4岸和田中一四 5十日町中一二 6高知農、木更津一一・五 8濱松一中、中外商業一一 10關西中一一(以下略) △トラック

- 優勝下野中一七點 △フィールド優勝小野中二一點五
- 〔トラック〕△百米井上(小野中)一一秒二 2北之坊(中外商) 3川手(高松一中) △二百米1北之坊(中外商)二三秒八 2相原(下野中) 3湯淺(匠塾中) △四百米1相原(下野中) 5〇秒九(中等新記録) 2西田(豐中) 3赤羽(栃木中) △八百米水澤(長岡工)二分五秒六 2申(義州農) 3杉山(和歌中) △千五百米樋口(十日町中)四分二八秒 2大森(關西中) 3佐藤(北海中) △五千米樋口(十日町中)一六分三六秒八 2棚木(會津工) 3大森(關西中) △高障礙水田(高知農)一六秒三 2前田(瀧野中) 3照澤(花卷中) △低障礙1齊藤(大田原中)二七秒參考 2小川(岸和田中) 3木村(函館中) △四百米繼走 1下野中(加藤、相場、岡田、相原)四六秒一 2岸和田中 3愛知一中 △千六百米繼走 1京一商(尾曾、堀江、清水、今井)三分四一秒七 2山形中 3佐賀中
- 〔フィールド〕△走高跳 1長谷川(中泉農)一米八〇 2田中(興風中) 3椎名(横手中) △走幅跳 1井上(小野中)六米九〇 2原(名三商) 3鳩飼(木更津中) △三段跳 1井上(小野中)一三米七八 2温美(濱松工) 3田中(興風中) △棒高跳 1井上(小野中)三米

- 七六(中等新記録) 2水田(高知農)前田(龍野中) △砲丸投 1寺澤(岩手中) 一三米七一 2林(濱松一中) 3安田(銚子商) △圓盤投 1林(濱松一中)三五米二四 2寺澤(岩手中) 3大住(北神商) △槍投 1赤羽(宇都宮商) 五四米四七 2植野(粉河中) 3畦地(都島工)
- ◇師範部各校得點
- 1新潟四〇・五 2静岡三九 3旭川三三 4京都三一 5豐島二一 6鳥取一九 7香川一七・五 8宮崎、埼玉一六 10鎌倉一五・五 (以下略)

- 〔トラック〕△百米1堤(旭川)一一秒二 2土持(宮崎) 3菱田(京都) △二百米 1堤(旭川)二三秒八 2庄田(埼玉) 3浦野(青山) △四百米 1勝又(静岡)五一秒八 2山口(愛媛) 3阿瀬(御影) △八百米 1平田(天王寺)二分五秒二 2永井(京都) 3星野(新潟) △千五百米 1中島(鹿兒島第一) 四分二秒二 2高田(京都) 3望月(静岡) △五千米 1望月(静岡)一六分三三秒 2松川(宮崎) 3鎌田(新潟) △高障礙 1佐藤(新潟)一六秒七 2本郷(京城) 3岡部(京都) △低障礙 1土持(宮崎)二五秒九 2佐藤(新潟) 3松島(濱松) △四百米繼走 1京都(大石、俣野、岡部、菱田)四四秒七(大會新記録) 2鳥取 3茨城 △千六百米繼走 1静岡(金

- 原、望月、齊藤、勝又)三分三六秒二(大會新記録) 2新潟三分三六秒八(大會新記録) 3京都
- 〔フィールド〕△走高跳 1竹内(豐島)一米八〇 2大沼(新潟) 3石井(鎌倉) △走幅跳 1堤(旭川)六米七八 2郡(徳島) 3菊地(豐島) △三段跳 1柴田(小倉)一三米七〇 2大根田(栃木) 3石川(豐島) △棒高跳 1岡原(香川)三米六〇 2植木(栃木) 3木原(香川) △砲丸投 1松島(鳥取)一四米〇七(大會新記録) 2橋本(埼玉) 3堤(旭川) △圓盤投 1松島(鳥取)三五米七九 2加藤(石川) 堤(旭川) △槍投 1安部(香川)五二米五三 2朝倉(鎌倉) 3萩原(静岡)

女子東西對抗

大毎主催第二回女子東西對抗陸上競技は八年七月廿日美吉野競技場で舉行

△六十米渡邊(東)七秒八(日本タイ記録)

△百米渡邊(東)一二秒六 △二百米牧野(西)二八秒四 △八百米井戸田(東)二分四三秒 △八十米障礙森岡(東)一三秒 △四百米繼走西(乾、牧野、住友、葛尾)五三秒六 △走高跳野口(東)一米四五 △走幅跳渡邊(東)五米二七 △砲丸投石津(東)九米七八 △圓盤投石津(東)三三米五三 △槍投田村(西)五三米三九

女子オリムピック

第十四回日本女子オリムピック大會は七月廿八、九、卅一日の三日間美吉野競技場に於て舉行された

△六十米葛尾(徳島女師教)八秒三 △百米渡邊(名古屋女)一二秒九 △二百米牧野(京都二條)二八秒七 △八百米井戸田(愛知淑徳)二分三四秒九(大會新記録) △八十米障礙高田(豐川實教)一三秒六 △四百米繼走徳島女師高女聯合(間島、松村、住友、葛尾)四二秒六 △走高跳野口(愛知淑徳)一米四六(大會新記録) △走幅跳渡邊(名古屋女)五米五三(大會新記録) △砲丸投山本(中京女)一〇米一一 △圓盤投吉田(大丸)二九米五二 △槍投山本(中京女)三八米五三(大會新記録) △五種競技柿田(京都女)一一點

關東學生對抗

第十五回關東學生陸上競技對抗選手權大會は九月廿三、四の兩日神宮競技場に舉行、早大と文理大の大接戦となり第一日は文理大のリードとなつたが第二日早大は三段跳高障礙、四百等で文理大を完全に壓へ百四十七點五の大量得點のレコードを作つて九年連続優勝した、二部は横濱専門が初めて優勝した

第一部〔トラック〕 △百米1吉岡(文理大)一〇秒四(日本新記録) 2佐々木(文理大)

3 高野(早大) △二百米 1 吉岡(文理大) 二秒一 2 佐々木(文理大) 3 鈴木(慶大) △四百米 1 張(早大) 五〇秒 2 窪田(早大) 3 吉住(明大) △八百米 1 青地(立教) 二分〇秒九 2 朝倉(早大) 3 猪飼(明大) △千五百米 1 朝倉(早大) 四分二秒 2 菅沼(慶大) 3 荒川(日大) △一萬米 1 村社(中大) 三二分三秒 2 金(早大) 3 竹中(慶大) △高障碍 1 村上(早大) 一五秒三 参考 2 浅川(文理大) 3 清水(早大) △中障碍 1 陸口(明大) 五五秒六 参考 2 張(早大) 五五秒九 (日本新記録) 3 大野(日大) △四百米 走 1 文理大(細川、執行、佐々木、吉岡) 四二秒二 2 早大 3 慶大 △千六百米 走 1 明大(岡澤、陸口、猪狩、吉住) 三分二九秒二 早大 3 慶大

〔フキルド〕 走高跳 1 矢田(早大) 一米九八(日本新記録) 2 木村(早大) 3 村上(早大) 金(文理大) △走幅跳 1 西田(早大) 七米一 2 淡川(早大) 3 吉岡(文理大) △三段跳 1 木村(早大) 一四米一五 2 西田(早大) 3 江尻(文理大) △棒高跳 1 西田(早大) 四米〇五 2 高野(文理大) 3 松本(日大) △砲丸投 1 西田(文理大) 一三米五六(學生新記録) 2 野口(早大) 3 加藤(文理大) △圓盤投 1 藤田(文理大) 四〇米九九 2 金子(文理大)

3 上條(早大) △鐵槌投 1 阿部(中大) 四七米二五(學生新記録) 2 吉澤(文理大) 3 飯田(明大) △槍投 1 國井(立教) 五六二六 2 山岸(文理大) 3 西澤(早大)

第二部(トラック) △百米 1 松平(學習) 一〇秒二 2 西久保(橫商專) 3 枝本(青學) △二百米 1 枝本(青學) 二二秒八 2 松平(學習) 3 藤田(農大) △千五百米 1 難波(日商) 四分二秒四 2 池中(東洋大) 3 鈴木(日商) △八百米 1 渡邊(宇高農) 二分九秒二 難波(日商) 3 兩田(拓大) △一萬米 1 池中(東洋大) 三五分一七秒六 2 難波(日商) 3 龜田(日商) △高障碍 1 吉武(橫專) 一六秒三 参考 2 山下(一高) 3 山田(學習) △中障碍 1 山田(學習) 五八秒三 2 川島(橫專) 3 小野(橫專) △四百米 走 1 青學(齋藤、高山、土居、枝本) 四九秒七 2 橫專 3 學習

〔フキルド〕 △走高跳 1 木原(商大) 一米七五 2 橋川(商大) 清水(國學院) 牧田(農大) 齋藤(日醫) 梶山(橫商專) 山邊(東商) 氣賀(東高) 渡邊(日商) 外川(商大) 平口(橫商專) 及川(農實) 秋永(農大) △走高跳 1 梶山(橫商) 六米五三 2 尾崎(橫商專) 3 牧田(農大) △三段跳 1 尾崎(橫商專) 一三米五二 2 大島(橫專) 3 山村(大倉) △棒高跳 1 山田(學習) 三米四〇 2 黒田(橫專) 3 登石(日商) △砲丸投

1 岸本(青學) 一〇米六八 2 黒木(慈大) 3 平塚(橫商專) △圓盤投 1 渡部(橫商專) 三五米一八 2 櫻井(折大) 3 樋口(外語) △鐵槌投 1 山下(一高) 三〇米八七 2 橋田(橫專) 3 吉田(大倉) △槍投 1 小池(學習) 五四米六一 2 外川(商大) 3 大谷(宇高農)

關西學生對抗

第十三回關西學生陸上競技對抗選手權大會は九月廿三、四日の兩日甲子園南運動場で舉行、關大對京大の優勝争ひとなり、僅か一點五の差で關大三年連続制覇するところとなり、二部では浪速高校が優勝した

第一部(トラック) △百米 1 原田(京大) 一〇秒二 谷口(關大) 3 田島(京大) △二百米 1 原田(京大) 二二秒六(大會新記録) 2 谷口(關大) 二二秒六(大會新記録) 3 野口(關大) △四百米 1 安達(京大) 五二秒八 2 白石(京大) 3 長瀬(同大) △八百米 1 高木(立命大) 二分四秒六 2 小西(關大) 3 安達(京大) △千五百米 1 松成(關學) 四分二秒六 2 高木(立命大) 3 木下(關大) △一萬米 1 岩田(京大) 三五分四八秒二 中山(同大) 3 高木(立命大) △高障碍 1 福田(關大) 一五秒九(大會タイ記録) 2 柳井(京大) 3 富谷(關大) △中障碍 1 中原(立命大) 五七秒二(大會新記録) 2 原田(京大) 3 野口(關大) △四百米 走

走 1 關大(野口、藤木、富谷、谷口) 四四秒(大會新記録) 2 京大 3 同大 △千六百米 走 1 京大(白石、原田、松本、安達) 三分三二秒二(大會新記録) 2 關大(中島、小西、林、野口) 三分三三秒(大會新記録) 3 立命大

〔フキルド〕 走高跳 1 富谷(關大) 一米八〇 2 松本(同大) 3 福田(關大) △走幅跳 1 原田(京大) 七米四一(大會新記録) 2 田島(京大) 七米三〇 3 戸上(關大) △三段跳 1 田島(京大) 一四米八六 2 原田(京大) 3 戸上(關大) △棒高跳 1 城戸(關大) 三米六〇 2 田島(京大) 富谷(關大) △砲丸投 1 川島(京大) 一五米七二 2 加藤(京大) 3 戸上(關大) △圓盤投 1 川島(京大) 三五米二七 2 木村(關大) 3 長尾(關大) △鐵槌投 1 城戸(關大) 四一米七五 2 高橋(同大) 3 村尾(京大) △槍投 1 長尾(關大) 六一米〇三(大會新記録) 2 木村(關大) 3 加藤(京大)

第二部(トラック) △百米 1 國田(廣島文理) 一〇秒三 2 榎本(浪高) 3 宮崎(浪高) △二百米 1 國田(廣島文理) 二二秒七 2 武山(和歌山) 3 山本(日大專) △四百米 1 上田(京藥專) 五三秒八 2 眞多(神高商) 3 大政(大外語) △八百米 1 長谷川(廣文理) 二分一二秒 3 川口(和高商) 3 片山(浪高) △千五百米 1 片山(浪高) 四分三八秒 2 長谷川(廣島文理)

3 川口(和高商) △一萬米 1 市田(神高商) 三八分一五秒 2 野木(三高) 3 大塚(三高) △高障碍 1 清水(阪大) 一六秒九 2 小寺(京藥) 3 高田(大商大) △中障碍 1 深見(和高商) 一分一秒六 2 小寺(京藥專) 3 西島(浪高) △四百米 走 1 和商(武山、阪口、笠井、鍋島) 四五秒一 2 浪高 3 廣文理 △千六百米 走 1 和商(鍋島、川口、深見、武田) 三分三九秒八 2 京藥 3 浪高

〔フキルド〕 △走高跳 1 山縣(和高商) 一米七五 2 高田(大商大) 兼島(大高醫) △走幅跳 1 根來(和高商) 六米六一 2 高田(大商大) 清水(阪大) △三段跳 1 清水(阪大) 一四米一六 2 角倉(廣文理) 3 高田(大商大) △棒高跳 根來(和高商) 三米六〇 2 高田(大商大) 中辻(京藥) 山本(浪高) △砲丸投 1 松野(甲南) 一三米一〇(大會新記録) 2 入江(廣文理) 3 和田(大高醫) △圓盤投 1 松野(甲南) 三八米一三(大會新記録) 2 入江(廣文理) 3 清水(阪大) △鐵槌投 1 松野(甲南) 四一米八〇(大會新記録) 2 佐藤(阪大) 3 徳永(浪高) △槍投 1 忠田(大高醫) 五一米七五 2 和田(大高醫) 3 徳永(浪高)

文理大對慶應戦

第一回東京文理大對慶應陸上競技は九月十日神宮で舉行四六點三分の一對二八點三分

の二のスコアで文理大優勝

△百米 吉岡(文) 一〇秒六 △四百米 吉岡(文) 五〇秒五 △八百米 菅沼(慶) 一分五九秒九 △一千五百米 竹中(慶) 一分六〇秒六 △高障碍 浅川(文) 一五秒七 △中障碍 中島(文) 五七秒七 △八百米 走 文理大(佐々木、執行、三柳、吉岡) 一分二九秒三 △走高跳 金子(文) 一米八五 △走幅跳 飯島(慶) 六米七三 △棒高跳 高野(文) 四米四八 △砲丸投 西田(文) 一三米二 △圓盤投 藤田(文) 三九米五七 △槍投 小野(慶) 五四米五八

東西中等對抗陸上

大毎主催第四回全日本中等學校東西對抗陸上競技大會は十月一日、甲子園南運動場で舉行、結局百六十二點五——百四十四點五で西軍の復讐成り、三度優勝す

〔トラック〕 △百米 瀨尾(愛一師) 一〇秒一 △二百米 今井(京一商) 二二秒四 △四百米 今井(京一商) 五〇秒五 (中等並に大會新記録) 2 相原(下野中) 五〇秒九 (中等並に大會新記録) △八百米 齋藤(靜岡師) 二分二秒五 △千五百米 中島(鹿一師) 四分一七秒六 △五千五百米(會津工) 一六分二三秒二 (中等並に大會新記録) △高障碍 前田(龍野中) 一六秒五 △四百米 走 1 西軍(井上、土持、那、瀨尾) 四三秒八 (中等並に大會新記録) 2 東

軍(庄田、身飼、相原、堤)四四秒二(中等並に大會新記録)△千六百米繼走西軍(山口、平田、西田、今井)三分三〇秒六(中等並に大會新記録)△走高跳田中(興風中)一米九〇A(中等並に大會新記録)△走幅跳1朝倉(神奈川師)七米〇二(中等並に大會新記録)2井上(小野中)七米〇一(中等並に大會新記録)△三段跳寺澤(岩手中)一四米一〇(中等並に大會新記録)△棒高跳井上(小野中)三米七〇(大會タイ記録)△砲丸投松島(鳥取師)一四米七一(中等並に大會新記録)△圓盤投松島(鳥取師)三六米三二(大會新記録)△槌投安部榮(香川師)五五米二七(中等並に大會新記録)

近畿對抗陸上

第一回近畿一般對學生對抗陸上競技は四月二十二日甲子園南運動場で舉行、槍投に日本新記録を出した外好記録續出され、結局一九三——一五二で學生チーム優勝す
【トラック】△百米1谷口(學)一〇秒九二南部(一)3田島(學)△二百米1谷口(學)二一秒七二内海(一)3青木(學)△四百米1住田(學)五三秒九二白石(學)3中島(學)△八百米1小西(學)二分四秒六二木下(學)高田(一)△千五百米1高木(學)四分一四秒四二木下(學)3小西(學)△五千米1堀尾(一)一

六分三一秒八二乗本(一)3林(一)△高障礙1柳井(學)一五秒六二原田(學)3福田(學)△中障礙1齋藤(學)六一秒五二山本(一)3松熊(一)△四百米繼走1學生(田島、原田、市原、谷口)四四秒二一般△千六百米繼走1學生(住田、長瀧、白石、市原)四分三八秒四二一般
【フィールド】△走高跳1木村(一)一米九四2富谷(學)3荒木、小谷(一)△走幅跳1南部(一)七米五一2田島(學)3原田(學)△三段跳1原田(學)一四米九〇2織田(一)3福田(學)△棒高跳1有田(一)三米六〇2阿江(一)竹内(一)富谷(學)根來(學)松本(學)△鐵槌投1塚本(一)四四米七一2城戸(學)3松野(學)3△砲丸投1西村(一)一二米五四2松野(學)3川島(學)△圓盤投1松野(學)三八米九九2川島(學)3佐々木(一)△槍投1長尾(學)六八米五九(日本新記録)2木村(一)3城戸(學)

關東中等選手權

第七回關東中等學校陸上選手權大會は五月六日神宮競技場で舉行、参加人員四百六十餘名、中等校七十五校七師範十三校、中等では濱松工業、師範部では神奈川が優勝した中等部【トラック】△百米甲賀(静岡中)一一秒三△四百米徳山(秋田中)五三秒七△千

五百米關口(拓賀)四分二五秒二△五千米北本(殖賀)一六分四一秒四△低障礙温美(濱松工)二七秒一△八百米繼走慶普(芥川、成瀬、三上、生江)一分三九秒一
【フィールド】△走高跳根本(淡商)一米七五△走幅跳根本(淡商)六米七二△棒高跳井上(富士中)三米二〇A△砲丸投平川(鍊子商)一三米七一△圓盤投温美(濱松工)三一米〇六△槍投高橋(高師附中)四七米八〇師範部【トラック】△百米朝倉(神奈川)一一秒二△四百米圓谷(福島)五三秒三△千五百米大木(神奈川)四分一八秒六△五千米大木(神奈川)一六分四〇秒六△低障礙鈴木(濱松)二六秒九△八百米繼走神奈川(込山、高橋、石井、朝倉)一分三七秒七
【フィールド】△走高跳石井(神奈川)一米七五△走幅跳朝倉(神奈川)六米八一△棒高跳森山(福島)三米四〇△砲丸投朝倉(神奈川)一三米四九△圓盤投土田(山形)三二米七六△槍投朝倉(神奈川)五二米二一

關西中等選手權

第七回關西中等學校對抗選手權大會は五月五、六の兩日甲子園南運動場に於て開催、中等部では大阪の都島工業、師範部では京都師範が優勝す
中等部【トラック】△百米和田(都島工)一一

關東女子陸上

關東女子スポーツ聯盟發會記念第一回關東女子陸上競技大會は女子オリムピック豫選を兼ねて四月廿九日神宮競技場で舉行。
【トラック】△六十米確井(體專)八秒二△百米確井(體專)一四秒一△二百米前田(體專)二九秒三△八百米河合(松任高女)三分二二秒△八十米障礙森岡(體專)一三秒三△四百米繼走體專A(掛川、廣島、荒子、確井)五六秒六
【フィールド】△走高跳廣橋(體專)一米四〇△走幅跳森岡(體專)四米七五△砲丸投石津(體專)一〇米一三△圓盤投石津(體專)三四米五九△槍投矢田(體專)三七米六〇

全國高工陸上

第十回全國高工陸上競技大會は六月二、三の兩日舉行された
【トラック】△百米稻葉(濱松)一二秒△二百米稻葉(濱松)二五秒四△四百米稻葉(濱松)五八秒△八百米淺野(濱松)二分二二秒△千五百米淺野(濱松)四分三六秒四△五千米上野(濱松)一九分四四秒△高障礙各務(名古屋)二〇秒七△八百米繼走濱松一分四八秒二
【フィールド】△走高跳柄澤(横濱)一米六五△走幅跳橋詰(横濱)六米二〇△三段跳植松

拳闘

【プロフェッショナル】

大日拳主催の拳闘試合は九月廿二日、大阪天王寺音樂堂で舉行
◇六回戦
伊藤(日米) TKO 池田(日活)
サクラメント(比) 判定 笛木(大日)
藤田(日米) TKO 芳川(無)
原(大日) 判定 レイ(比人)
◇八回戦
熊海(臨海) 引分 ネルソン(比人)
帝拳、日俱拳
帝拳、日俱共同主催の拳闘試合は十月三日日比谷新音樂堂で舉行
◇六回戦
梅野(日俱) 引分 レイ(比人)

【アマチュア】

大日拳主催の拳闘試合は九月廿二日、大阪天王寺音樂堂で舉行

◇六回戦

伊藤(日米) TKO 池田(日活)
サクラメント(比) 判定 笛木(大日)
藤田(日米) TKO 芳川(無)
原(大日) 判定 レイ(比人)
◇八回戦
熊海(臨海) 引分 ネルソン(比人)
帝拳、日俱拳

帝拳、日俱拳

帝拳、日俱共同主催の拳闘試合は十月三日日比谷新音樂堂で舉行

◇六回戦

梅野(日俱) 引分 レイ(比人)

秒一△四百米今井(京一商)五一秒八△千五百米大森(關西中)四分二五秒四△五千米大森(關西中)一六分五二秒△低障礙大河(都島工)二七秒一△八百米繼走愛知一中(山田水谷、野田、日吉)一分三六秒八
【フィールド】△走高跳1榎本(洲本中)一米八一(大會新記録)2岡本(關西中)一米八一(大會新記録)△走幅跳永井(甲陽中)六米五七△棒高跳山崎(高知農)三米二〇△砲丸投畔地(都島工)一二米四四△圓盤投近藤(岡山中)三〇米五八△槍投近藤(岡山中)四九米三五△鐵槌今井(京一商)二九米七一師範部【トラック】△百米菱田(京都)一一秒二△四百米竹本(鳥取)五三秒四△千五百米福島(和歌山)四分三一秒八△五千米福島(和歌山)一七一分一〇秒二△低障礙岡部(京都)二六秒(大會新記録)△八百米繼走京都(大石、鹽見、岡部、菱田)一分三四秒九(大會新記録)
【フィールド】△走高跳那須(岡山)一米八一(大會新記録)△走幅跳岡部(京都)六米六四△棒高跳水島(山口)三米四五△砲丸投松島(鳥取)一四米四七(大會新記録)△圓盤投松島(鳥取)三五米六四△槍投小田(京都)五三米六七(大會新記録)△鐵槌菱田(京都)二七米二三

鈴木(帝拳) 判定 スチュワード(米)
 清川(帝拳) 判定 ハート(黑人)
 マリナオ(比人) KO 多賀(帝拳)
 橋本(帝拳) 無判定 松岡(日俱)
 レゴ(ボ人) TKO 平川(帝拳)

◇八回戦
 ネルソン(比人) KO 佐藤(旭)
 堀口(日俱) KO 植村(帝拳)

英艦歓迎拳闘

大日拳主催の英國支那艦隊來朝歓迎拳闘は十月十日、日比谷公會堂で舉行

◇六回戦
 鈴木(極東) 判定 佐藤(大日)
 山岡(葵) 引分 原(大日)
 小池(大日) 判定 綱野(日米)
 入江(東協) 判定 サクラメント(比)
 服部(東協) KO キング(英艦)

◇八回戦
 名取(東協) KO グレディ(英艦)

◇十回戦
 ユイン(英艦) TKO 野口(大日)

布哇歓迎拳闘

帝拳、日俱、國際共同主催ハワイ選手歓迎拳闘試合(十月廿三日、日比谷新音楽堂)

◇六回戦
 長原(國際) 判定 木村(帝拳)

◇八回戦
 ボツグス(布哇) KO マリナオ(比)
 レゴ(布哇) 判定 佐藤(旭)

日米主催の拳闘試合は十一月廿日、日比谷公會堂で舉行

◇六回戦

山岡(葵) 判定 松永(東亞)
 藤田(日米) 判定 大津(極東)
 小池(大日) 判定 伊藤(大洋)
 高津(高津) 判定 名取(東協)

◇八回戦

ボツグス(布哇) 判定 アルデ(布哇)
 川田(日米) 判定 ネルソン(比人)

トミー歓迎拳闘

世界バンタム級の覇者ヤング・トミー來朝歓迎拳闘試合は十一月廿六日、田園調布特設リングに於て舉行

◇六回戦

雪野(日俱) TKO 鈴木(太陽)
 山崎(帝拳) 判定 楠本(日俱)
 清川(帝拳) 判定 原(報國)
 長谷川(日俱) 判定 近藤(帝拳)
 梅野(日俱) 引分 伊藤(銀拳)
 松岡(日俱) 判定 レイ(比人)

◇八回戦

◇六回戦
 淺川(大洋) 判定 高見(日米)
 長原(國際) 判定 伊藤(大洋)
 レイ(比人) TKO 室田(布哇)
 山岡(葵) 判定 ヤバ(比人)
 高田(日東) 判定 小池(大日)
 アルデ(比人) 引分 入江(東協)

◇八回戦

名取(東協) 判定 カマチヨ(ボ人)

全日本職業拳闘

全日本プロフェッショナル拳闘聯盟試合の拳闘試合は一月七日、國技館で舉行

◇六回戦

淺川(大洋) 判定 楠本(日俱)
 大津(極東) 判定 市村(日東)
 藤田(日米) 判定 中村(日俱)
 長谷川(日俱) TKO 篠原(國際)
 山岡(葵) 判定 松岡(日俱)
 高田(日東) 引分 入江(東協)

◇八回戦

名取(東協) 判定 ネルソン(比人)
 高田(日米) 反則 カマチヨ(ボ人)

全四回戦拳闘

帝拳主催、斯界最初のオール四回戦拳闘試合は二月十四日、日比谷公會堂で舉行

◇四回戦

ボツグス(布哇) 判定 高津(高津)
 ヤバ(比人) 判定 高津(高津)
 ボツグス(布哇) 引分 ネルソン(比)

十團體聯合拳闘

やまと新聞社主催、十團體聯合試合は十二月廿二日、國技館で舉行

◇六回戦

伊藤(日米) TKO 林(關東)
 鈴木(極東) 判定 船岡(日米)
 入江(東協) 判定 伊藤(大洋)
 高津(葵) 判定 小池(大日)
 名取(東協) 判定 高田(日東)

◇八回戦

トミー(比人) 引分 服部(東協)

各團體聯合拳闘

各團體聯合主催の拳闘試合は一月廿三日、東京國技館で舉行

花田(帝拳) 判定 楠本(日俱)
 山崎(帝拳) 引分 梅野(日俱)
 伊藤(銀拳) 判定 長谷川(日俱)
 清川(帝拳) 判定 原(報國)
 マリナオ(比人) 判定 清宮(帝拳)
 松岡(日俱) 判定 木村(帝拳)
 野田(ヤング) 判定 佐藤(帝拳)
 アルデ(比人) 引分 鈴木(帝拳)

帝拳主催拳闘

帝拳主催の拳闘試合は三月五日、日比谷公會堂で舉行

◇六回戦

光山(帝拳) 判定 伊藤(大洋)
 花田(帝拳) 判定 長谷川(日俱)
 松岡(日俱) 判定 橋本(帝拳)
 高田(日東) 判定 清川(帝拳)

◇八回戦

鈴木(帝拳) TKO ヴェントリロ(比)

日俱主催拳闘

日俱主催の拳闘試合は二月廿七日、日比谷公會堂で舉行

◇六回戦

眞田(日俱) 判定 廣田(ヤング)
 淺川(大洋) 判定 花田(帝拳)
 高田(日東) 判定 原(報國)
 松岡(日俱) 判定 藤田(日米)

佐藤(東邦) 判定 入江(東協)
 ◇八回戦 堀口(日俱) 判定 山岡(葵)
 東協主催拳闘
 東京拳闘協会主催の拳闘試合は三月十五日
 國技館で舉行
 ◇六回戦 大津(極東) 判定 山崎(帝拳)
 熊谷(日東) 引分 鈴木(極東)
 篠原(國際) 引分 淺川(大洋)
 ◇八回戦 山岡(葵) 無判定 ドマギユラス(比)
 名取(東協) 反則 佐藤(東邦)
 堀口(日俱) TKO 服部(東協)
 プロ拳闘審判團
 三月十五日から特に設立された全日本プロ
 拳闘審判團が拳闘の審判を行ふ事となつた
 團員は左の十名である、荻野貞行、岡本不
 二、川島清、白田金太郎、中村金雄、大森
 熊藏、佐藤東洋、吉本武雄、緒方哲夫、伊
 藤寅雄
 日東、葵拳闘
 日東、葵主催の拳闘試合は四月二日日比谷
 公會堂で舉行
 ◇六回戦 淺川(大洋) 判定 室田(布哇)

入江(東協) 判定 清川(帝拳)
 佐藤(東邦) 判定 原(報國)
 ◇八回戦 高田(日東) 判定 山岡(葵)
 帝拳主催拳闘
 三月廿七日、日比谷公會堂で舉行
 ◇六回戦 久宮(帝拳) 判定 大津(極東)
 篠原(國際) 引分 花田(帝拳)
 光山(帝拳) 判定 ウェントリロ(比)
 佐藤(東邦) KO 清川(帝拳)
 ◇八回戦 鈴木(帝拳) 判定 名取(東協)
 日俱主催拳闘
 五月一日、國技館で舉行された日俱主催の
 拳闘試合成績左の通り
 ◇六回戦 楠本(日俱) 判定 高橋(國際)
 眞田(日俱) 引分 大野(銀拳)
 桐畑(日俱) KO 伊藤(日米)
 アルデ(比人) 判定 清川(帝拳)
 淺川(大洋) 引分 梅野(日俱)
 松岡(日俱) 判定 パライゾ(比人)
 ◇十回戦 堀口(日俱) 反則 トミー(比人)
 五國體拳闘試合

日俱、國際、大洋、極東、日米共同主催
 の拳闘試合は五月十七日、日比谷新音楽堂
 に於て舉行
 ◇六回戦 奥山(日米) KO 清水(帝拳)
 高見(日米) 判定 北村(國際)
 阿部(大洋) 反則 有賀(東邦)
 桐畑(日俱) 判定 鈴木(極東)
 室田(布哇) 判定 梅野(日俱)
 山岡(葵) 判定 神山(國際)
 ◇八回戦 堀口(日俱) 判定 ドマギユラス(比)
 【學生・アマチュア】
 全關西學生拳闘選手權大會は九月廿四日、
 大阪朝日會館で舉行
 選手權試合
 ◇フライ級 安藤(關大) 判定 濱口(關大)
 ▲延長一回
 ◇パンタム級 倉橋(關大) 判定 高木(高醫)
 ◇フエザー級 坂本(關學) 判定 榎本(關大)
 ▲延長一回
 ◇ライト級 ライト

飯野(關大) 判定 三木(關學)
 ◇ウエルター級 吉田(關學) KO 押谷(關大)

内鮮對抗拳闘成績

本社、新愛知、全日本アマチエア拳闘聯盟
 共同主催の内鮮對抗拳闘試合は十月八日日
 比谷公會堂の對全關東戦をトップに四戦、
 三勝一引分の好成績で朝鮮快勝した
 全朝鮮 4—1 全關東
 ◇フライ級 朴 (朝鮮) 判定 楠本(關東)
 ◇パンタム級 金 (朝鮮) 判定 北村(關東)
 ◇フエザー級 金 (朝鮮) TKO 鳳城(關東)
 ◇ライト級 岩倉(關東) 判定 朴 (朝鮮)
 ◇ウエルター級 李 (朝鮮) 判定 木村(關東)
 朝鮮對關東學生戦、十月十四日日比谷新音
 樂堂で舉行引分となる
 關東學生 2.5—2.5 全朝鮮
 ◇フライ級 小倉(學生) 引分 朴 (朝鮮)
 ◇パンタム級

金 (朝鮮) KO 佐々木(學生)
 ◇フエザー級 高橋(學生) 判定 金 (朝鮮)
 ◇ライト級 龜岡(學生) 判定 朴 (朝鮮)
 ◇ウエルター級 李 (朝鮮) 棄權 三好(學生)

朝鮮對關西戦は十月十九日大阪中央公會堂
 で舉行、三點五分對一點五分で朝鮮勝つ
 全朝鮮 3.5—1.5 全關西
 ◇フライ級 朴 (朝鮮) 判定 濱口(關西)
 ◇パンタム級 金 (朝鮮) KO 倉橋(關西)
 ◇フエザー級 慎島(關西) 判定 金 (朝鮮)
 ◇ライト級 朴 (朝鮮) 判定 飯野(關西)
 ◇ウエルター級 李 (朝鮮) 判定 吉田(關西)
 朝鮮對中部日本拳闘は十一月三日名古屋市
 公會堂で舉行、三對二で朝鮮勝つ
 全朝鮮 3—2 中部日本
 ◇フライ級 村田(中部) 判定 文 (朝鮮)
 ◇パンタム級

金 (朝鮮) 判定 左右田(中部)
 ◇フエザー級 千崎(中部) 判定 金 (朝鮮)
 ◇ライト級 朴 (朝鮮) 判定 南 (中部)
 ◇ウエルター級 李 (朝鮮) KO 井上(中部)

東西學生對抗拳闘
 全關西學生拳闘聯盟主催の東西學生對抗全
 日本選手權拳闘試合は、中絶後三年振りで
 十一月廿五日千里山花壇音樂堂で舉行、六
 對零で關東全勝す
 ◇フライ級 小倉(關東) 判定 濱口(關西)
 ◇パンタム級 佐々木(關東) 判定 倉橋(關西)
 ◇フエザー級 高橋(關東) 判定 高木(關西)
 ◇ライト級 龜岡(關東) 判定 飯野(關西)
 ◇ウエルター級 三好(關東) 判定 吉田(關西)
 ◇ミドル級 平林(關東) TKO 押谷(關西)
 青學、關學拳闘
 第一回青山學院對關西學院拳闘試合は、十

一月廿五日舊關學講堂で舉行、四點五分で引分となる

- ◇フライ級
 - 金子(青) KO 富士水(關)
 - 山下(青) KO 庭高(關)
 - 矢橋(青) 判定 佐藤(關)
- ◇パンナム級
 - 小山田(青) 判定 蘆田(關)
 - 小堀(青) 引分 中村(關)
- ◇フェザー級
 - 阪本(關) 判定 白井(青)
 - 織田(關) 判定 宮本(青)
- ◇ライト級
 - 三木(關) KO 高松(青)
 - ウエルター級 KO 泉明寺(青)
- ◇ウェルター級
 - 仲田(關) KO 泉明寺(青)
- ◇パンナム級
 - 高瀬(靜岡) 判定 服部(東海)

全東海アマチュア拳闘聯盟主催の第二回全東海アマチュア拳闘選手権大會は十二月十五日名古屋市公會堂で舉行

◇選手権試合

- ◇ジュニア・フライ級
 - 小山(靜岡) 判定 安田(明燿)
- ◇フライ級
 - 高瀬(靜岡) 判定 服部(東海)
- ◇パンナム級

藍川(明燿) 判定 望月(靜岡)

- ◇フェザー級
 - 吉田(名拳) 判定 蘆田(靜岡)
- ◇ライト級
 - 工藤(東海) 判定 今泉(靜岡)
 - ウエルター級 判定 横山(菱友)
- ▲延長一回
- ◇中部關西拳闘
 - 中部日本アマチュア拳闘聯盟主催の第二回關西對中部日本アマチュア拳闘試合は一月廿四日名古屋市公會堂で舉行、七對三で中部快勝す
- ◇フライ級
 - 井本(中部) 判定 實積(關西)
 - 村田(中部) 引分 濱口(關西)
- ◇パンナム級
 - 福島(中部) 判定 大山(關西)
 - 武道(中部) TKO 藤井(關西)
- ◇フェザー級
 - 河合(中部) KO 阪本(關西)
 - 千崎(中部) 引分 倉橋(關西)
- ◇ライト級
 - 織田(關西) 判定 北野(中部)
 - 南(中部) 判定 飯野(關西)
- ◇ウェルター級

南條(關西) KO 武田(中部)

- ◇ミドル級
 - 加藤(中部) 判定 仲田(關西)
- ◇全關西アマ拳闘
 - 全關西アマチュア拳闘聯盟主催の極東大會關西豫選を兼ねた關西アマチュア選手権大會は二月廿四日、大阪朝日會館で舉行
- ◇選手権試合
- ◇フライ級
 - 濱口(關大) 判定 實積(大日)
- ◇パンナム級
 - 安藤(關大) 判定 中村(關學)
- ◇フェザー級
 - 村瀬(關學) 判定 高木(高醫)
- ◇ライト級
 - 織田(關學) 判定 飯野(關大)
- ◇ウェルター級
 - 南條(關大) 判定 吉田(關學)
- ◇ミドル級
 - 中田(關學) 不戦勝
- ◇關東對中部拳闘
 - 第十回極東大會拳闘選手派遣費募集、第一回中部日本對全關東對抗拳闘試合は三月八日日比谷公會堂で舉行、四對二で關東勝つ
- ◇フライ級
 - 齋藤(銀拳) 判定 小林(名古屋)

- ◇パンナム級
 - 竹崎(銀拳) 反則 村田(名古屋)
 - 内田(葵) 判定 久野(靜岡)
- ◇フェザー級
 - 河合(豊橋) 判定 秋山(第一)
- ◇ライト級
 - 岩倉(第一) 判定 佐藤(靜岡)
- ◇ウェルター級
 - 白井(名古屋) 判定 永松(明大)
- ◇フライ級
 - 松島(日大) 判定 高瀬(靜岡)
 - 小島(日大) 判定 萩野(靜岡)
- ◇パンナム級
 - 望月(靜岡) 引分 青木(日大)
- ◇フェザー級
 - 蘆川(靜岡) TKO 竹崎(日大)
- ◇ライト級
 - 高橋(日大) 判定 石川(靜岡)
 - 櫻井(靜岡) KO 木原(日大)

日大、靜岡拳闘 日大拳闘部對靜岡拳闘會の對抗拳闘試合は三月廿八日靜岡若竹座で舉行、日大勝つ

第一回慶應對關大對校拳闘試合は五月二日大阪朝日會館で舉行、六點五分對二點五分で關大勝つ

- ◇フライ級
 - 野口(慶) 判定 濱口(關)
 - 安藤(關) 判定 加茂(慶)
- ◇パンナム級
 - 倉橋(關) 判定 磯部(慶)
 - 高橋(慶) 判定 磯井(關)
- ◇フェザー級
 - 堤(慶) 引分 本田(關)
 - 南(關) KO 平井(慶)
- ◇ライト級
 - 押谷(關) KO 森片(慶)
 - 飯野(關) KO 片岡(慶)
- ◇ウェルター級
 - 南條(關) KO 雀(慶)
- ◇パンナム級
 - 澤田(明) 引分 磯部(慶)
 - 小倉(明) 判定 野口(慶)
 - 加茂(慶) 判定 吉岡(明)
- ◇パンナム級
 - 廣川(慶) 判定 伊藤(明)
 - 中島(明) 判定 平井(慶)
 - 道源(明) 引分 高橋(慶)

慶明對校拳闘試合 本社後援、復活第一回慶明對校拳闘試合は六月一日、外苑日本青年館に於て舉行、六對四で明大勝つ

第一回慶應對關大對校拳闘試合は五月二日大阪朝日會館で舉行、六點五分對二點五分で關大勝つ

- ◇フェザー級
 - 堤(慶) 判定 山中(明)
 - 御手洗(明) TKO 片岡(慶)
- ◇ライト級
 - 永松(明) 判定 澁谷(慶)
- ◇ウェルター級
 - 永田(明) KO 崔(慶)
- ◇パンナム級
 - 小泉(關東) 引分 濱口(關西)
- ◇パンナム級
 - 内元(關東) 判定 南井(關西)
- ◇フェザー級
 - 村瀬(關西) 判定 青木(關東)
 - 南井(關西) KO 高橋(關東)
- ◇ライト級
 - 飯野(關西) 判定 木原(關東)
- ◇ウェルター級
 - 岩本(關東) 判定 中田(關西)
 - 鶴澤(關東) TKO 南條(關西)

全關西アマチュア拳闘聯盟主催の第三回東西對抗アマチュア拳闘試合は五月廿一日大阪朝日會館で舉行、三點五分對三點五分で引分となる

第一回慶應對關大對校拳闘試合は五月二日大阪朝日會館で舉行、六點五分對二點五分で關大勝つ

蹴球

スポーツ—蹴球

関西學生蹴球リーグ戦は九月廿四日から一部は甲子園南運動場で二部は各校球場で舉行、十二月三日終了し、一部は京都市大連勝し、二部は大阪帝大が首位になり大阪商大と決勝戦に快勝して次シーズンから一部編入となった

△第一部

關大	7	4	3	1	6	7	7
京大	7	5	3	1	6	7	7
關大	5	4	1	7	5	3	7
京大	7	5	3	7	5	2	1
關大	5	2	1	0	4	2	6
京大	5	2	1	0	4	2	6
關大	5	2	1	0	4	2	6
京大	5	2	1	0	4	2	6

關東學生蹴球リーグ戦は十月一日から神宮競技場で舉行、第一回優勝以来九年目に早大の制覇成り、關東の覇者となった、二部は立教、三部は帝大、四部は拓大、五部は青學、六部は府立高がそれぞれ優勝した

△第一部

慶大	12	5	7	3	9	6	8	3	5
早大	5	7	3	9	6	8	3	5	12
慶大	5	7	3	9	6	8	3	5	12
早大	5	7	3	9	6	8	3	5	12
慶大	5	7	3	9	6	8	3	5	12
早大	5	7	3	9	6	8	3	5	12
慶大	5	7	3	9	6	8	3	5	12
早大	5	7	3	9	6	8	3	5	12

スポーツ—蹴球

一部勝敗表 (勝2引分1)

京大	5	2	2	2	2	10	1.000
關大	5	0	2	2	2	7	.700
神大	5	0	2	2	2	6	.600
外大	5	0	2	2	2	5	.500
大商	5	0	2	2	2	2	.200
勝率	5	0	0	0	0	0	.000
試合	5	0	0	0	0	0	0

一部勝敗表 (勝2引分1)

早大	4	6	4	2	11	1.000
文理大	4	6	4	2	11	.800
文理大	4	6	4	2	11	.600
早大	4	6	4	2	11	.400
早大	4	6	4	2	11	.200
早大	4	6	4	2	11	.000
試合	4	6	4	2	11	0

△第二部

立大	10	3	2	1
東高	1	1	1	0
法政大	1	1	1	0

△第二部

神商大	8	4	8	4	1
大阪大	7	7	4	1	1
大阪大	7	7	4	1	1
神商大	9	7	4	1	1
神商大	6	9	7	1	1
神商大	6	9	7	1	1
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2
神商大	4	7	4	2	2

學生蹴球界のナンパーワンを決定する、關東優勝早大と關西の覇者帝大の試合は十月十日、神宮競技場に於て舉行、京大の健闘も空しく早大は關東優勝の上、全日本の覇權をも獲得した

開始二時、「審判」竹腰(主)大崎、塚越(録)京大先蹴

早大	5	3	2	1
早大	5	3	2	1
早大	5	3	2	1

月十九日、愛知縣二女室内コートで舉行、参加七校

△準決勝試合

淑徳高女	25	18	愛知二女	15	17
名市一女	12	28	名市三女	8	11
名市一女	12	28	淑徳高女	19	11

△決勝試合

名市一女	40	28	淑徳高女	12	11
名市一女	12	28	淑徳高女	8	11

満洲女子籠球

昭和八年度全満洲女子籠球選手権大會は十一月十九日彌生高女で舉行、参加三チーム

△優勝試合

旅順高女	59	34	彌生女	25	15
旅順高女	25	34	彌生女	10	15

關東大學籠球

關東大學籠球リーグは十二月四日行はれた東大對早大の試合を以て終了、東大が連続覇権を確保した、東京商大對農大の一二部入れ替へ試合は東京商大が勝つて依然一部に残る事となつた

△第一部成績

東京商大	38	20	立教大學	18	14
東京商大	18	20	立教大學	17	14
立教大學	44	27	東京商大	15	15
立教大學	17	27	東京商大	30	15

各校勝敗表

率	勝	試	工	中	千	拓	農
.750	6	8	2	2	2	0	×
.700	7	10	2	2	2	×	×
.600	6	10	2	2	2	×	×
.400	4	10	2	×	1	1	0
.000	0	8	×	0	0	0	0
	敗	數	2	3	4	6	8

關西學生籠球

關西學生籠球聯盟秋季リーグ試合も十二月八日の同志社高商對神戸高商の入替試合を最後にシーズンの幕を閉じたが以下の成績で三部の三高が二部に、二部の神戸高商が一部にいづれも昇格した

△一部試合成績

關西學院	38	20	甲南高校	18	16
關西學院	18	20	甲南高校	20	16
甲南高校	46	12	大阪商大	34	7
甲南高校	12	19	大阪商大	26	7

一部勝敗表

率	勝	試	6	5	4	3	2	1
.909	10	11	2	2	2	2	2	×
.750	9	12	2	2	2	2	×	
.500	7	14	2	2	2	2	×	
.455	5	11	2	2	2	2	×	
.273	3	11	2	2	2	2	×	
.091	1	11	2	2	2	2	×	
	敗	數	1	3	7	6	8	10

△第二部成績

中央大學	37	23	千葉醫大	15	13
中央大學	20	23	千葉醫大	15	13
農業大學	61	15	農業大學	20	19
農業大學	46	20	農業大學	15	19
中央大學	46	16	中央大學	20	16
中央大學	57	22	中央大學	16	22
拓殖大學	62	36	拓殖大學	22	36
拓殖大學	39	22	拓殖大學	22	36
拓殖大學	38	22	拓殖大學	22	36
千葉醫大	37	23	千葉醫大	15	13

以上の成績で二部では農業大學が優勝した

神戸高商	57	27	關西大學	45	35
神戸高商	41	27	關西大學	35	35
關西大學	58	45	關西大學	35	35
關西大學	45	35	關西大學	35	35

二部勝敗表

率	勝	試	大	大	大	大	大	神
.909	10	11	2	2	3	2	2	×
.600	6	10	2	2	2	2	×	
.583	7	12	2	2	2	2	×	
.583	7	12	2	2	2	2	×	
.250	3	12	2	2	2	2	×	
.091	1	11	2	2	2	2	×	
	敗	數	1	4	5	5	9	10

△三部試合成績

大阪藥專	53	47	大阪外語	40	33
大阪藥專	32	47	大阪外語	33	33
大阪外語	29	29	大阪外語	29	29
大阪外語	29	29	大阪外語	29	29

三部勝敗表

三部	大高醫	神商	外語	試合	勝	敗	勝率
三高	×	2	2	11	8	727	
大高醫	×	2	2	9	6	.667	
神商	1	×	2	10	6	.600	
外語	1	0	×	9	3	.333	
三大	1	0	1	10	2	.200	
敗數	3	3	4	7	8		

〇一二部入替試合

神戸高商 70 21 29 46

同志高商 46 22 19 41

神戸高商 68 28 36 46

同志高商 40 24 10 46

三 高 41 23 18 17 11 28 大阪高校

愛知近県中等籃球 名高商主催の第二回東海中等學校籃球大會は十一月廿六日同校コートで舉行

〇準決勝試合

東邦商業 54 14 熱田中學

豊橋商業 39 28 名古屋中

〇決勝試合

東邦商業 68 31 37 8 4 12 豊橋商業

東海女子籃球聯盟主催、秋季リーグ戦は十月十二、廿六兩日愛知女師コートで舉行

〇一部試合成績

名市一女 34 15 12 愛縣二女

淑徳高女 27 23 4 津市高女

淑徳高女 47 21 26 8 2 10 愛縣二女

名市一女 23 12 16 4 10 津市高女

東海女子籃球聯盟主催、秋季リーグ戦は十月十二、廿六兩日愛知女師コートで舉行

〇一部試合成績

名市一女 34 15 12 愛縣二女

淑徳高女 27 23 4 津市高女

淑徳高女 47 21 26 8 2 10 愛縣二女

名市一女 23 12 16 4 10 津市高女

愛縣二女 32 13 9 16 津市高女

名市一女 22 12 10 4 17 淑徳高女

〇二部試合成績

愛縣一女 31 29 大垣高女

名市三女 35 8 津縣高女

名市三女 30 20 大垣高女

愛縣一女 35 15 津縣高女

津縣高女 21 20 大垣高女

名市三女 30 14 愛縣一女

〇三部同成績決勝

愛知女師 棄權 豊橋高女

桑名高女 棄權 豊橋高女

愛知女師 24 20 桑名高女

東西學生籃球 第三回東西學生籃球、關東代表東京帝大對關西代表京都帝大の試合は、十二月九、十日、大阪YMCA體育館で舉行、51-46、45-35で東大勝ち二年連続して覇権を獲得

〇第一試合

東 大 51 32 19 46 京 大

第五回全臺灣籃球選手權大會は十二月九、十日、臺北新公園コートで舉行

〇女子決勝試合

靜修女 17 15 臺北一女

〇男子決勝試合

北一師 23 14 6 11 16 帝 大

全臺灣籃球選手權

〔東大〕 尾本西本 藤田本

〔京大〕 尾山中西 橋加石松

〔東大〕 岩井 畑 浦 中子 江馬野 17 FG 16 FT 14

東大 45 30 15 17 18 35 京大

〔東大〕 岩井 畑 浦 中子 江馬野 20 FG 12 FT 11

全日本綜合籃球選手權 大日本バスケットボール協會の第十三回男子、第四回女子全日本綜合籃球選手權大會は九年一月六日から十一日まで、神宮外苑コートで舉行、男子は早大、女子は山形慶鳴俱樂部優勝す

〇第二次試合

千葉商業 40 36 京都俱樂部

大阪商大 54 20 札幌鐵道局

東京帝大 53 20 宇都宮商

成蹊高女 53 20 全新潟

早大 棄權 秋田師範

名古屋YM 棄權 廣島商俱

横濱外人 棄權 腎森師範

京都帝大 54 38 浦和高校

〇第三次試合

成蹊高女 45 24 千葉商業

東京帝大 80 14 大阪商大

早大 88 22 名古屋YM

京都帝大 50 38 横濱外人

全日本綜合籃球選手權

〇第二次試合

千葉商業 40 36 京都俱樂部

大阪商大 54 20 札幌鐵道局

東京帝大 53 20 宇都宮商

成蹊高女 53 20 全新潟

早大 棄權 秋田師範

名古屋YM 棄權 廣島商俱

横濱外人 棄權 腎森師範

京都帝大 54 38 浦和高校

〇第三次試合

成蹊高女 45 24 千葉商業

東京帝大 80 14 大阪商大

早大 88 22 名古屋YM

京都帝大 50 38 横濱外人

準決勝試合

成蹊高女 34 22 22 12 22 11 33 東京帝大

早大 56 34 34 22 22 14 25 14 39 京都帝大

決勝試合

早大 28 14 14 14 6 20 成蹊高女

〔成蹊〕 村谷 上 川 山

〔早大〕 澤藤井 内 山 崎 9 FG 10 FT 9

森齋櫻大牧石

〇女子一次試合

帝國女專 39 29 横濱一女

名古屋一女 棄權 山中高女

〇女子第二次試合

山形慶鳴 40 2 川越高女

京都府二 20 12 日本體專

木更津女 33 15 名古屋一女

新潟高女 45 15 帝國女藥

準決勝試合

山形慶鳴 22 16 6 14 7 21 木更津高女

新潟高女 29 18 11 16 5 21 京都府二

山形鳴鳴 72 14 13 22 新瀉高女
瀨林藤川野保
【新潟】加小佐荒高眞
【山形】藤津木本沼根
伊梅鈴森黑關
10 FG 6
10 FT 17

東京中等籃球
東京中等學校籃球大會は四月廿一日から三日間YMCAコートで舉行

東京實科工 35 18 成城高専
府立六中 38 17 府立一商
東京實科工 41 22 19 6 23 府立六中
東京實科 17 17
府立六中 17 17
東京實科 43 36 31 28 西野田職工
住吉中學 43 36 31 28 西野田職工

大阪中等籃球
第一回大阪府下中等學校籃球大會は、四月廿七、八兩日甲子園室内コートで舉行
準決勝試合
都島工業 36 28 豐中中學
住吉中學 43 31 西野田職工
決勝試合

神戸高商 29 50 17 41 同志社高商
關西學院 29 50 17 41 甲南高校
神戶高商 46 29 17 16 33 姫路高校
關西學院 32 15 17 13 3 16 關西大學

關西學院 46 25 21 5 20 25 神戸高商
關西學院 32 15 17 13 3 16 關西大學
決勝試合

【關學】 山濱宮植酒田小波田 19 FG 8 11 FT 3
【神戶】 木見 吉多 藤岡 部 11 3
鈴 吉 多 藤岡 部 11 3

全國高專籃球
大日本バスケットボール協會主催の第四回全國高專籃球大會は五月十九日から廿三日まで神宮、帝大兩コートに於て舉行
決勝試合
成蹊高校 38 18 20 9 13 22 立大豫科

成蹊高校 38 18 20 9 13 22 立大豫科

排球

全日本排球選手権
大日本排球協會主催の昭和八年度全日本排球選手権大會は八月五、六の兩日、神戸市運動場コートで舉行、参加廿三チーム
一般男子の部
第一次試合
廣島二中 21 21 16 44 東京帝大

東京高師 24 13 11 19 早大専門
東京高師 38 14 24 6 14 20 成蹊高校
決勝試合

【成蹊】 村上 植山 川原野
【高師】 石山 谷村 C 西小笠原 子 G 與謝野
16 FG 8
6 FT 4
0 TF 2

住吉中學 29 17 12 16 28 都島工業
全關西籃球選手権
大坂YMCA主催の第八回全關西籃球選手権大會は五月四日から九日までYMCA體育館で舉行

A組準決勝試合
京都帝大 76 50 50 京都師範
KGC 55 50 50 甲南高校
A組決勝試合
京都帝大 60 36 24 22 29 51 KGC
B組準決勝試合
神戸三 43 23 26 東商業
都島工業 37 23 26 東商業
B組決勝試合
神戸三 35 18 17 18 14 32 都島工業
關西學生籃球
關西學生籃球聯盟主催、大朝後授の第五回春季大會は五月十八日から廿日まで三日間甲子園室内コートで舉行
第三次試合
姫路高校 39 32 3 高
關西大學 29 28 大阪藥專

三高 3 大阪藥專

大筑後總 21 21 18 10 京城師範
三神同好 21 19 21 19 八高
大連二中 21 21 13 8 石川能美
準決勝試合
廣二中俱 21 21 18 15 京師醇和
三神同好 21 21 17 8 大連二中

廣二中俱 24 21 22 14 三神同好
第一次試合
香川師範 21 21 17 19 惟信中學
池田師範 21 21 14 8 廣島一中
松江中學 21 21 19 11 14 19 金澤中學

東京帝大 16 44

明善高女 21 16 21 14 21 18 愛知淑徳
日體女子 21 21 19 10 廣島縣女
明善高女 21 21 2 4 松江高女
愛知淑徳 21 21 13 13 金澤女職

小倉師範 21 21 11 12 藤澤中學
池田師範 21 21 15 11 香川師範
小倉師範 21 21 13 12 松江中學
決勝試合
小倉師範 21 21 12 18 22 池田師範
一般女子の部
第一次試合
愛知淑徳 21 21 13 13 金澤女職
明善高女 21 21 2 4 松江高女
日體女子 21 21 19 10 廣島縣女
神戶美東里會 不戰勝
準決勝試合
明善高女 21 16 21 14 21 18 愛知淑徳

四七九

四七九

美東里會 21 13 23
日體女子 16 21 21

美東里會 21 21 21
明善高女 13 10 12

關東排球選手権

昭和八年度關東排球選手権大會は全日本關東豫選を兼ねて七月廿九、卅兩日芝恩賜公園コートで舉行

中等準決勝試合

東京一商 21 21
東府六中 19 19

藤澤中學 21 21
浦和中學 11 10

決勝試合

藤澤中學 21 21
東京一商 11 10

女子準決勝試合

日體女子 21 21
眞澄 5 10

アルモンド 21 19 21
千葉女 12 21 18

決勝試合

早高 21 21
大阪外語 12 14

愛知近隣中等排球

名高商主催の第三回東海中等學校排球大會は九月十七日同校コートで舉行、参加十校

準決勝試合

惟信中 21 12 21
津中學 18 21 18

愛一中 21 21
熱田中 12 2

決勝試合

惟信中 21 15 21
愛一中 17 21 15

關東學生排球

關東學生排球聯盟主催の秋季リーグ戦は十月十四日から十一月廿日までの間芝恩賜公園コートで舉行、一部は帝大、二部は日大が優勝した

東京、京都兩帝大主催、朝日新聞社後援の第四回全國高等排球大會は七月廿一、二、三の三日間芝恩賜公園コートで舉行

第三次試合

八高 21 21 12
山口高校 9 5 21

早高 21 13 21
日體 15 21 17

大阪外語 21 21 18
長崎高商 15 13 21

準決勝試合

神戶高商 21 21
三高 11 9

大阪外語 23 14 21
神戶高商 20 21 11

早高 21 16 21
八高 17 21 16

女子決勝試合

日體女子 21 21
アルモンド 7 7

一般準決勝試合

早大 21 21
排人俱 14 13

帝大 21 21
日體 14 17

一般決勝試合

帝大 21 22
早大 9 20

愛知近隣中等排球

八高主催の第七回全國中等學校排球大會は八月卅日同校コートで舉行、参加十六校

準決勝試合

神戶縣商 21 17 21
惟信中 17 12 12

決勝試合

龍野中學 21 21
愛知一中 16 9

神戶縣商 21 21
龍野中 16 9

一部勝敗表

部	帝大	早大	日體	明德	慶應	勝敗	勝率
帝大	10	×	2	2	2	8	.800
早大	9	1	×	2	2	7	.778
日體	9	1	0	×	2	5	.556
明德	8	0	0	0	×	2	.250
慶應	8	0	0	0	0	0	.000
敗數	2	2	4	6	8		

二部勝敗成績

1 日本大學(八勝)、2 明治學院(六勝)、3 横濱高工(四勝)、4 浦和高校、文理大
東海女子排球
第二回東海女子排球リーグ試合は四月廿二日、愛知淑徳高女コートで舉行、愛知淑徳優勝す

A組リーグ試合

名市三女 22 21
名市一女 20 5

B組リーグ試合

岡崎高女 21 21
愛縣二女 2 6

愛知女師	21	18	21	21	18	21	愛縣一女
淑徳高女	21	21	21	21	21	21	愛縣一女
名市二女	21	21	21	21	21	21	愛縣一女
岡崎高女	21	18	21	21	18	21	名市二女
淑徳高女	21	21	21	21	21	21	愛縣一女
名市二女	21	21	21	21	21	21	愛縣一女
淑徳高女	21	21	21	21	21	21	愛縣二女
名市二女	21	21	21	21	21	21	愛縣二女
名市二女	21	21	21	21	21	21	愛縣二女
名市二女	21	21	21	21	21	21	愛知女師

名古屋女子排球
名古屋體協主催の第四回名古屋女子排球大會は五月六日名市三女コートで舉行

八高	21	21	21	21	21	大阪高
三高	21	21	21	21	21	四高

名古屋女子排球
決勝試合

名市二女	21	21	21	21	21	淑徳B
淑徳A	21	21	21	21	21	愛縣一女

東海男子排球
日本排協東海支部主催の第三回一般男子リグ試合は五月十九、廿日の兩日に亘つて八高コートで舉行、同成績となつた

決勝リーグ試合

瑞陵俱	21	21	21	21	21	名高商俱
-----	----	----	----	----	----	------

中部日本高校排球
中部日本高校排球リーグ試合は五月二十日八高コートで舉行、八高優勝す

試合成績

三高	21	21	21	21	21	大阪高
八高	21	21	21	21	21	三高
八高	21	21	21	21	21	三高
八高	21	21	21	21	21	三高
大阪高	22	22	22	22	22	四高

1 中京商(六戦五勝)、2 愛知商(六戦五勝)
3 惟信中(三勝)、4 愛知中(三勝)、5 熱田中(三勝)、6 名古屋商(二勝)、7 愛一中(六敗)

スキ

全日本學生スキ
第七回全日本學生スキ選手権大會は一月廿、廿一の兩日札幌市外宮の森スキ場で舉行、第一日より早大が斷然リードし總得點五四點を得、第二位北大と二六點の大差をつけて堂々優勝した

各校得點表

部	チーム	合	計	走	ジャンプ	複合	一八軒	三二軒
一部	早北	17	4	0	0	0	0	0
	大明法日農	19	13	3	5	7	47	3
二部	慶日	19	13	3	5	7	47	3
	大商	19	13	3	5	7	47	3

第一部成績
十八キロ 1 三上保(北大)一時間廿九分廿七秒
七秒2 野崎(早大)一時間卅一分八秒3 金子(法大)一時間卅一分十四秒4 余語(北大)一時間卅一分四秒5 可兒(早大)一時間卅二分六秒6 岡崎(早大)一時間卅二分卅八秒
卅二キロ 1 坪川武重(早大)二時間四四分四秒2 宇田(早大)二時間五十分十七秒3 花田(北大)二時間五十分廿秒4 上島(早大)二時間五十分八秒5 齋藤(早大)6 井浦(日大)
卅二キロレレー 1 早大チーム(野崎、岡崎、坪川、宇田)二時間四三分卅二秒2 北大チーム二時間四九分五八秒3 明大チーム二時間五十分十秒4 小樽高商チーム5 日大チーム6 法政チーム
純ジャンプ 1 伊黒正次(北大)五四米五〇
2 可兒(早大)3 森(明大)4 平林(法政)5 梅田(小樽高商)6 野口(小樽高商)
複合競技 1 可兒久男(早大)二九四・五2 龍田(早大)二七二・八3 岡崎裕(早大)二六四・一4 梅田(小樽高商)二五〇・七5 伊黒(北大)二四五・八6 一戸(早大)二四五・〇
第二部成績
十八キロ 1 柴山敏次(慶大)一時間四十分廿八秒2 丸山(慶大)3 高津(日商)4 高橋

東海支部男子排球
排協東海支部主催の第九回男子中等學校及び一般排球リーグ試合は五月廿七、八、六月一日の三日間八高コートで舉行、一般は名高商、中等は中京商業優勝す

一般リーグ試合

八高A	21	21	21	21	21	八高B
名高商	21	21	21	21	21	古新俱
名高商	21	21	21	21	21	古新俱
八高A	21	21	21	21	21	八高B
名高商	21	21	21	21	21	八高B
古新俱	21	21	21	21	21	八高B
名高商	21	21	21	21	21	八高A

(日商)5 小林(日商)6 石塚(慶大) 廿二キロ 1 松本哲太郎(慶大)三時間十八分廿四秒 2 手島(慶大)三時間廿六分五秒 3 福岡(慶大)三時間廿九分五秒 4 古屋(慶大)5 藤田(日商)6 石黒(日商) 卅二キロリレー 1 慶應チーム(三時間八分十三秒)2 日商

純ジャンプ 1 週(日商)一一九・三 2 門倉(慶大)3 高津(日商)4 高橋(日商) 複合競技 1 高津(日商)二六六・〇 2 週(日商)二三九・二 3 高橋(日商)二三〇・四 4 門倉(慶大)二〇九・二、備考 同点であったが慶大が三種目に選手権を得て優勝す

全日本選手権大会

東京都大山岳スキー部主催、第二回全日本選手権大会は一月十三、四の両日米澤スキー場で舉行、参加八校

◇各校得点

1 小樽高商(四九點)2 米澤高工(廿點)3 弘前高校(十七點)4 北大豫科(十六點)5 山形高校(二點)

◇競技記録

十八キロ 1 登坂三夫(米澤高工)一時間四十分五秒 2 梅田正二(小樽高商)3 宮田進(北大)4 青山友一(米澤高工)5 角江重保(小樽高商)6 藤山嘉造(小樽高商)

三十キロ 1 赤川賢之助(小樽高商)一時間四十七分四〇秒 2 安部庸夫(米澤高工)3 葛西清美(弘前高校)4 邊谷敏雄(弘前高校)5 今村久藏(弘前高校)6 杉本秀司(北大) 三十キロリレー 1 小樽高商チーム(赤川、角江、梅田、藤山、小柳、伊藤)一時間四十分廿秒 2 弘前高校一時間四十分十秒 3 北大豫科一時間五十分四秒 4 米澤高工一時間五十二分廿秒

複合ジャンプ 1 梅田(小樽高商)二九四・一 2 宮田(北大豫科)二八一・七 3 藤山(小樽高商)二八一・三 4 野口(小樽高商)二五八・三 5 登坂(米澤高工)二三七・〇 6 青山(米澤高工)二二七・五

純ジャンプ 1 野口(小樽高商)一四九・〇 2 梅田(小樽高商)一四八・七 3 藤山(小樽高商)一四一・九 4 高橋(弘前高校)5 米谷(北大豫科)6 澤木(秋田鐵専)

關西學生スキー 第七回關西學生スキー大会は一月十三、四の両日、兵庫縣神鍋山岩倉スキー場を中心として舉行、参加八校

◇各校得点

1 立命館大(三三點)2 高岡高商(十七點)3 關西大學(十七點)4 大谷大學(十二點)5 高野山大學(十一點)6 浪速高校(八點)7 神戸

商大(七點)8 鳥取高農(五點)

◇競技記録

十八キロ 1 羽室(立命館大)一時間卅三分三秒 2 芝(高岡高商)一時間卅七分〇秒 3 山下(立命館大)一時間卅七分卅秒 4 親見(鳥取高農)一時間四十二分卅九秒 5 淺野(關大)一時間四十二分四十九秒 6 大間知(高岡高商)一時間四十四分一秒 7 二

卅二キロ 1 品川(高野山大)二時間五十六分十二秒 2 小池(立命館大)三時間六分三秒 3 黑田(關大)三時間七分十四秒 4 清水(立命館大)5 飯田(關大)6 圓淨(大谷大) 卅二キロリレー 1 立命館大チーム(二時間十五分九秒)2 關大(二時間十七分八秒)3 高岡高商(二時間廿一分十六秒)4 大谷大學(二時間廿二分四一秒)5 鳥取高農(二時間廿三分四一秒)6 高野山大學(二時間廿四分四七秒)

ストラローム 1 上宮(大谷大)三四秒二二芝(高岡高商)三六秒六 3 花澤(神商大)四十秒 4 内田(高野山大)四一秒二 5 羽室(立命館大)四一秒六 6 近藤(浪速高校)四二秒八

ジャンプ 1 河原(浪速高校)一三八・四 2 山下(立命館大)一三九・九 3 黑田(關大)一一九・四 4 小池(神商大)一一〇・九 5 大間知(高岡高商)一一九・六 6 横田(大谷大學)一

一七・二

青森中等スキー

青森縣下中等學校スキー大会は一月十日大樽で舉行、参加八校

◇各校得点

1 弘前中學(五六點)2 五所川原農(四九點) 3 八八キロ 前田(五農)一時間十四分廿五秒 複合 立田(青森商)二八九點、ジャンプ 安田(青森師)不倒二七米、一四七點、リレー 一六キロ 弘前中(山形、中村、藤田、山田)一時間廿九分卅八秒

大倉ジャンプ大会

札幌スキー聯盟主催の第三回大倉ジャンプエ建設記念トロフィー争奪ジャンプ大会は一月廿八日大倉ジャンプで舉行、北大の伊黒正次選手が六七米の驚異的新記録を作った

◇選手成績表

1 伊黒(北大)二二〇・五、五九米、六五米、六七米、2 關口(北大若老)二一九・八、五七米、六一米、六三米、3 瀧田(早大)二一三・一、五五米、六四米、六五米、4 濱(山印)二〇三・八、六〇米、六一米、六十米五〇、5 龜村(北海中)一七九・三、五十米五十、四七米、五五米

萬國學生スキー

第十回萬國學生スキー選手権大会は二月九十、十一の三日間、スイスのウエンゲンで舉行、わが選手は活躍目覚ましく第二位を占め、ついで二月十五、六、八の三日間サシモリツで開催の萬國スキー選手権大会に出場、更にドイツの招聘に応じて二月廿四、五、六の三日間ガルミツシエで開催された全ドイツ學生スキー大会に参加大いに奮闘して日本スキーの威力を發揚した

◇萬國學生記録

十六キロ 1 木越(日本)一時間十五分四二秒 2 オウガスト・ギャンサー(スイス)一時間十六分十五秒 3 グツトルムセン(ノルウェ)一時間十七分一秒 4 清水(日本)一時間十七分零秒 八五 スツチエル(獨)6 逸見(日本)10 栗山13 四谷

二千米滑降 1 クレイジン(ミュンヘン)、日本はリレーに全力を注ぐため棄権

三十キロリレー 1 ミュンヘン大學、二時間廿分三秒 2 チュリッヒ大學、二時間廿分三秒 四九秒 3 日本(清水、逸見、木越、栗山、四谷)二時間廿分五十分

ジャンプ 1 グツトルムセン(チュリッヒ)三二八、四六米、四八米、五十米 2 メンヒル(ミュンヘン)三一八 3 竹内(日本)三一

〇・三、四一米五〇、四五米、四四米五〇、 4 デメル(ミュンヘン)5 クラベネス(ノルウェ)6 栗山(日本)二七六・五、三六米五〇、 三九米、三八米五〇

◇萬國選手権記録

滑降 1 ダグウィット・ツイッグ(スイス)四分廿七秒 2 ブニユール(ドイツ)3 フォンアレン(スイス)4 栗山(日本)八分廿五秒 四十八キロ 1 ハウスウイルト(スイス)一時間廿九分卅秒 2 清水(日本)一時間卅分五一秒 3 ヘドベルグ(スエーデン)4 栗山(日本)一時間卅八分卅四秒 5 四谷(日本)一時間四十四分四秒、木越、逸見は少年十七キロコースを間違つて走り失格す

ジャンプ 1 レット・バットラット(スイス)三四一・一〇、六三米、六九米、六八米、 2 ジグモンド・ルード(ノルウェ)三三八・七〇 3 ラントム・レーレンゼン(ノルウェ)三一三・三、一〇六 竹内(日本)三一、六一米、六二米、六十米 9 栗山(日本)二六四、五四米、五六米、四十米 12 四谷(日本)二二九・三〇、五一米、五八米、五九米

ドイツ學生大會

十六キロ 1カウフマン(獨)一時間四分四十秒 2清水(日本)一時間四分五十秒 3ツアイトラー(獨)一時間六分十二秒 12逸見(日本)一時間八分四秒
ジャンプ 1ブランテンブルグ(獨)四七米 四六米 2デーメル(獨)四六米、四二米 3栗山(日本)四一米、四一米、竹内(日本)四十米、四十米、四谷(日本)四七米、轉倒
滑降 (高度五百米、距離三千五百米)
1クライジ(獨)三分六秒 2シユートベル(獨)三分八秒 3ブライル(獨)▲日本清水(四分三秒)、逸見(四分三秒)、栗山(四分五秒)
三十キロリレー 1獨逸チーム(二時間十分廿三秒) 2日本(清水、木越、逸見、四谷)二時間十一分廿四秒 3スイス(二時間廿三分十五秒)
得點 1獨逸(二一〇・三七點) 長距離六七八、ジャンプ七一五・七、リレー七二〇、2日本(一八四九・四九) 長距離六六三・七五、ジャンプ四七九、リレー七〇六・六四
宮御來道スキ
札幌スキ 聯盟主催の第五回宮御來道記念スキ大會は二月廿四、五の兩日札幌宮の森スキ場で舉行

◇競技成績

距離競走、壯年組工藤(道廳)一時間三九分廿二秒、少年組安藤(札一中)一時間卅一分一秒、青年組廣島(青森)一時間十九分廿三秒 純ジャンプ、壯年組(不詳)、少年組南(札商)一三四點、青年組淺木(小樽製鐵)一四七・五、複合1關戸(道廳)二七五・一 2坪川(稻門)二二九・五 3廣島(青森林友)二二四・二
全東海スキ
東海スキ 研究会主催の第二回全東海スキ競技大會は二月廿五日、伊吹山スキ場一合目で舉行
◇競技記録
男子十六キロ 伊藤(名鐵)五九分四一秒 二△彌轉、藤松(岐阜高農)五九分四四秒 伊藤(名鐵)三分十四秒九△十六キロリレー名鐵ダルマ俱樂部(清水、龜井、上田、伊藤)一時間四八秒二
女子組轉 加藤(名市一女)一分〇秒六、△二キロ加藤(名市一女)二分卅一秒

スケート

關學、同大氷上

關西學院對同志社大學の第二回定期對抗アイギユア・スケート競技會は十二月五日朝日ビルスケート場で舉行、兩校から三名宛出場の結果次の成績で關西學院勝つ
◇競技成績
1片山(關學) 2倉橋(關學) 3國廣(同志社) 4田中(同志社) 5大石(關學) 鷺尾(同志社)
全國學生氷上選手權
全國學生氷上競技聯盟主催の第九回全國學生氷上選手權大會は一月二日から六日まで日光細尾リンクで舉行、参加九校、スピードは明大、ホツケイとアイギユアは慶大がいづれも連続優勝した

◇スピード

五百米 1雀龍振(明大)四七秒九大會及び日本新記録 2濱英(明大)四九秒九タイ記録、3大澤(早大) 4柴山(早大) 5藤野忠(慶大) 6小柳(立大)
千五百米 1雀龍振(明大)二分三七秒五學生新記録 2濱三(明大) 3大澤(早大) 4濱英(明大) 5藤野正(慶大) 6渡邊(早大)
五千米(オープンコース) 1金(明大)九分卅一秒 一大會新記録 2矢崎(明大)九分四十分 八大會新記録 3寺尾(明大)九分四十三秒 八大會新記録 4羽田(早大) 5加藤(立大) 6李(早大)

全國高校氷上

帝大氷上競技聯盟主催の第四回全國高等學校氷上競技大會は十二月廿八日から卅一日まで日光細尾リンクで舉行、スピードとホツケイは二高、アイギユアは學習院が優勝した
◇スピード
五百米 1山下(一高)五四秒四 2佐野(二高) 3青木(二高)
千五百米 1青木(二高)三分八秒六 2八木(二高) 3佐野(二高)
五千米 1山下(一高)一分廿七秒六 2八木(二高) 3青木(二高)
一萬米 1山下(一高)二四分四五秒九 2八木(二高) 3一見(二高)
二千米リレー 1二高(一見、佐野、八木、青木)四分十七秒四 2成城
各校得點 1二高(五八點) 2一高(廿一點) 3成城(十五點) 4北大豫科(一點)
ホツケイ決勝
二高 2 0 0
1 1 0 1
1 1 1 1
成城

アイギユア

個人成績 1黒田(學習院) 2八木(二高) 3

準決勝試合

北大 5 2 2 0 1 0 3
慶大 2 0 0 1 0 1 1
決勝試合
慶大 6 2 1 0 3 0 0
北大 3 1 0 0 0 0 0

FW

忠田 千五末 佐藤正
佐藤正 佐藤正

DF

井屋川澤波田 藤龜古平伊丹鹽 新城部

GK

立大 4 2 北大
二位決定二次試合
明大 3 1 1 1 1 0 1 2 立大

第一次試合

明大 3 0 早大
北大 4 2 東北大
慶大 6 1 立大
盛岡醫大 5 1 東京帝大

スポーツ—スケート

一萬米(オープンコース) 1金(明大)十九分五十秒 四大會新記録 2矢崎(明大)廿分九秒 五大會新記録 3安(明大) 4加藤(立大) 5羽田(早大) 6李(早大)
二千米リレー 1明大(矢崎、金、雀、濱)三分十八秒二大會及日本新記録 2早大 3慶大 4立教
各校得點 1明大(六二點) 2早大(二四點) 3慶大(七點) 4立教(六點)
◇アイギユア
個人成績 1片山敏一(關學) 七一六・九〇 2長谷川次男(慶應) 七〇二・一三 3渡邊善次郎(慶應) 六三九・八七 4小林二郎(明大) 六〇一・四四 5小林勝利(慶應) 6倉橋哲夫(關學) 7山本嘉成(明大) 8上谷銳吉(東大) 9大石歳男(關學) 10伊勢秋磨(明大) 11金子秀夫(明大) 12吉川豊(早大) 13野崎勝豊(早大)

學校順位 1慶應一〇 2關學一六 3明大廿一 4早大六

ホツケイ

高野(二高)4鹿島(学習院)5東郷(学習院)6瀧内(二高)

全國中氷上

全國學生氷上競技聯盟主催の第四回全國中氷上競技選手権大会は、十二月廿八日から卅一日まで日光細尾リンクで舉行、ホツケーとスピードは苦小牧工業、フイギユアは學習院中等部が優勝した

◇スピード

五百米 1 泉山(八戸商)四九秒學生タイ、中等新記録2張(名教中)3 安保(苦小牧)千五百米 1 泉山(八戸商)二分四三秒二2 中村(苦小牧)3張(名教中)五千米 1 中村(苦小牧)十分九秒六中等新記録2 泉山(八戸商)一萬米 1 張(名教中)廿分四二秒六中等新記録2 中村(苦小牧)廿分四三秒中等新記録3 安保(苦小牧)廿分四三秒四中等新記録二千米リレー 1 苦小牧工(安保、北澤、片平、中村)2 北海中各校得点 1 苦小牧工(四一點五)2 八戸商(一九點五)3 名教中(一七點五)4 京城中(五點)5 普(五點)

◇ホツケー準決勝

苦小牧工 2 — 1 京城師範
札幌師範 3 — 0 札幌一中

◇ホツケー決勝

苦小牧工 4
2 1 1 0
1 1 1 0
2 0 0 2
2 0 0 2
2 札幌師範

◇フイギユア

個人成績 1 東郷(學習院)2 辻(札幌一中)3 島津(學習院)4 有坂(北海中)5 星野(今市中)6 小島(今市中)7 長谷川(慶普)8 金子(今市中)9 池田(北海中)10 長谷川(慶普)11 前田(學習院)12 大村(北海中)13 銘刈(慶普)團體成績 1 學習院2 今市中3 北海中4 慶普

全滿氷上ホツケー

滿洲氷上競技聯盟主催の全滿洲アイスホツケー選手権大会は一月五日奉天醫大・A・B國際、中學の四リンクスで舉行

◇第二次試合

南滿工專 3 — 1 大連二中
全新京 8 — 1 玉澤クラブ
大連滿鐵 2 — 0 全撫順
滿洲醫大 13 — 3 大連一中

◇準決勝試合

新京 9 — 4 工專
3 — 2 1 0 0
1 — 0 1

滿醫大 6
3 0 1 0
3 0 0 0
3 0 0 0
0 滿鐵

◇決勝試合

滿醫大—棄權—新京
滿洲スピード記録
スピードスケートで内地を壓倒してゐる滿洲スケート界の今シーズンの躍進は實に目覚ましく記録は全部更新された
男子平均記録比較

〔昨年〕

〔今年〕

五百 五十秒八五 四八秒六五 (吉野)
千五百 二分四十秒八 二分卅七秒一 (河村)
五千 九分五十秒 九分四三秒二 (石原)
一萬 十九分五七秒 十九分五一秒三 (安達)
滿洲氷上十傑
1 河村泰男(奉天)2 安達和夫(奉天)3 南洞邦夫(奉天)4 木谷徳男(安東)5 三代正勝(撫順)6 出原清夫(撫順)7 石塚庄三(撫順)8 伊藤(撫順)9 穂口(大連)10 林義燦(奉天)

◇女子滿洲記録比較

剣道

全國高専大會

東京帝大主催第十回全國高専剣道大會は七月廿一日から三日間東大道場で於て舉行

三勝者戦
横濱専門 (勝) 慶應豫科
早大専門 (勝) 明大専門
静岡高校 (勝) 早稻田高等
中大豫科 (勝) 日本體專

準決勝戦
早大専門 (勝) 静岡高校
横濱専門 (勝) 中大豫科

決勝戦
早大専門 (勝) 横濱豫科
東北帝大主催第十回大會は七月十三、四の兩日同大學道場で舉行

準決勝戦
早大専門 (勝) 福島高商
弘前高校 (勝) 二高

決勝戦
早大専門 (勝) 弘前高校
京都帝大主催第廿一回大會は七月廿日から四日間京大道場で舉行

◇準決勝戦

名古屋高商 (勝) 山口高校
關西學院 (勝) 八高

九州帝大主催の第十三回大會は七月十三日から十五日まで福岡武徳殿で舉行

準決勝戦
長崎高商 (勝) 佐賀高校
山口高商 (不戦勝)

決勝戦
長崎高商 (勝) 山口高商

全日本中等剣道
全日本學生剣道聯盟主催の第四回全日本中等校剣道大會は八月十二、三の兩日京都武徳殿に於て舉行、参加二十地方代表廿校

各組代表試合
濟々餐 (不戦一人) 小樽水産
小牛田農 (大將試合) 岡崎師範

優勝試合
濟々餐 (不戦二人) 小牛田農

全國中等優勝大會
第十四回全國中等學校剣道優勝大會は九月廿四日、高師講堂で舉行、参加百七校
準決勝戦
秋田商業 6 — 3 安房中學

〔昨年〕 五九秒九
〔今年〕 五八秒二
(瀧谷) (瀧谷)
千五百 三分廿五秒五 三分五秒六
(瀧谷) (瀧谷)

◇女子滿洲氷上十傑

1 瀧(奉天)2 壹岐姉(安東)3 木谷(奉天)4 江島(奉天)5 梁瀬(奉天)6 平野(奉天)7 岩田(撫順)8 汾陽(奉天)9 壹岐妹(安東)10 四方(奉天)

東西對抗フイギユア

關東スケート聯盟主催の第二回東西對抗フイギユア競技は四月十四、五兩日東京山王スケートリンクで舉行、順位九點の差で關東再勝し、個人成績では關西の片山が第一位となつた

◇各選手得点表

1 片山(關西) 一一五・三 2 長谷川次(關東) 一〇七・四 〇 3 渡邊(關東) 一〇七・三 一 4 倉橋新(關西) 九九三・六 5 小林勝(關東) 一〇〇三・六 6 長谷川章(關東) 九六二・六 7 小林二(關東) 九三六・五 8 佐藤(關西) 九四〇・九 9 倉橋哲(關西) 九二九・三 10 北川(關西) 八四四・六

青森商業 4-1 札幌商業

◇二部決勝試合

青森中學	4	3	青森商業
太田	3	2	佐藤
太田	0	3	石井
宮川	3	1	佐藤
宮川	3	0	今
宮川	2	1	今
太田	0	3	今
太田	0	3	今
太田	1	3	石井

【備考】試合時間を一時間と限られ宮川
對今の試合は宮川優勝

◇三部準決勝

京都高女	4	3	大分四日市女
奈良郡山女	4	0	成女高女

◇三部決勝試合

京都高女	4	3	郡山高女
山下	0	3	植田
境	3	1	忍田
境	1	3	植田
保原	3	1	忍田
保原	3	2	勝山
保原	3	0	忍田
山下	2	3	勝山

日本卓球會男女順立

日本卓球會では十二月廿六日、昭和八年度成績により九年度ランキングを次の如く發表した

◇男子の部

- 1 村田康方(東京城南俱)
- 2 井上景介(慶大)
- 3 山田孝次郎(日大)
- 4 森田圭純(大阪)
- 5 小林綱太郎(關學)
- 6 吉住弘(早大)
- 7 程塚昇(立教)
- 8 角田鉦二(早大)
- 9 藤村繁藏(大阪)
- 10 相澤直考(大正大)

◇女子の部

- 1 黒崎榮子(東京)
- 2 保原きよ子(京都)
- 3 忍田ふく(奈良)
- 4 奥山春江(熊本)
- 5 西山喜代子(大阪)
- 6 平尾ひつの(山形)
- 7 小川菊枝(千葉)
- 8 小林敦子(千葉)

關西推薦選手卓球

第二回關西卓球選手権推薦大會は三月四日卓球會館で舉行

◇準決勝試合

土屋(大阪)	3	1	白木(大阪)
武川(大阪)	3	1	二本(吳)

◇決勝試合

土屋(大阪)	3	1	武川(大阪)
--------	---	---	--------

都市對抗卓球

日本卓球會、廣島卓球會主催の東郷元帥旗爭奪第三回全國都市對抗卓球大會は四月廿一、二の兩日廣島縣教育會館で開催、参加

十都市で大阪市勝つ

◇第一次試合

大阪市	4	0	門司市
吳市	4	2	京都市

◇第二次試合

廣島市	4	1	山口市
大阪市	4	1	松山市
岡山市	4	2	福岡市
吳市	4	1	京城市

◇準決勝試合

吳市	4	3	岡山市
大阪市	4	1	廣島市

◇決勝試合

大阪市	4	1	吳市
勝田	1	3	船波
藤村	3	0	友重
勝田	3	2	友重
小林	3	0	二本
森田	3	1	二本

關西學生卓球

全關西學生卓球聯盟主催の第十二回春季チ大会は五月廿日、京大學生集会所で舉行

◇一部各校得点

關西學院(十五點)	2	神商大(八點)	3
同志社大(五點)	4	浪速高(二點)	

相撲

上野(京大) 3-2 渡邊(關學)

全滿洲選手権大會

第一回全滿洲相撲選手権大會は七月廿一日大廣場東拓空地で舉行

◇準決勝

高木(滿鐵)	勝	高井(大連)
古關(大連警)	勝	山本(滿鐵)
高井(大連)	勝	山本(滿鐵)

◇決勝

高木(滿鐵)	2	1	古關(大連警)
--------	---	---	---------

全國中等學校大會

大毎主催第十五回全國中等學校相撲大會は十月廿一、二の兩日堺大濱土俵で舉行

◇對抗試合

長崎師範	3	0	富田林中
愛知商業	2	1	帝京商業

◇決勝

愛知商業	2	1	長崎師範
○光内(突き出し)	堤		
伊藤(吊り出し)	榎並		

○川澤(押し出し) 川邊

◇個人試合

◇準決勝

川澤(突き出し)	柏本
光内(足とり)	川村

◇三等決定戦

柏本(外掛け)	川村
---------	----

◇決勝

川澤(押し出し)	光内
----------	----

第十五回全國學生大會

大毎主催の第十五回全國學生相撲大會は十一月十、十一日、堺大濱公園で舉行、團體に東京醫專、個人に早大の貝藤が優勝した

◇團體

◇準決勝

早大	4	1	日大
東京醫專	3	2	關學

◇決勝

東京醫專	3	2	早大
------	---	---	----

相良(より切り) 貝藤

○山瀬(浴せ倒し) 金子

○城(押し倒し) 山本

○橋(突き出し) 二宮

藤岡(下手投げ) 村上

◇個人

◇準決勝

B組1 京都帝大(十四點) 2 大阪外語(七點)

3 大阪商專(六點) 4 彦根高商(三點)

△下位決定試合 浪速高 3-2 彦根高商

◇同決勝試合

關西學院	3	1	京都帝大
神	3	0	矢木
林	0	3	上野
日垣	不戰		福森
渡邊	3	2	鈴木
奥山	3	1	松下

◇二部各校得点

A組1 大阪高校(十一點) 2 龍谷大(七點) 3 關大、高松高商(六點) B組1 大阪帝大(十四點) 2 鳥取高農(十點) 3 關大一專(五點) 4 立命大(一點) C組1 神戸高商(八點) 2 關大二專(四點) 3 大高醫(三點)

△決勝リーグ 1 大阪商大 4-1 神戸高商、大阪帝大 3-2 大阪高校

全關西學生卓球

全關西學生卓球聯盟主催の第十二回選手権大會は五月廿七日、京都帝大學生集会所で舉行

◇準決勝試合

渡邊(關學)	3	0	福壽(京大)
上野(京大)	3	0	日垣(關學)

◇決勝試合

森田(明薬)(内掛け) 田中(關學)
 貝藍(早大)(もたれ込み) 齊藤(立教)
 ▲決勝
 貝藍(早大)(上手投げ) 森田(明薬)
 ▲三等決定戦
 田中(關學)(引き落し) 齊藤(立教)
 靖國神社相撲
 靖國神社奉納、陸海軍人對學生相撲は四月
 廿九日、神社境内で舉行

軍人
 第一回 軍人 87—66 學生
 第二回 軍人 30—22 學生
 第三回 軍人 28—23 學生
 ◇個人決勝
 豐平(學)(叩き込み) 中谷(海)
 ◇二位決定
 金子(學)(抱ひ投げ) 淺尾(海)
 關東學生大會

第十五回關東學生相撲大會は五月廿二、三
 の兩日、兩國國技館で舉行、個人、團體と
 も早大優勝す

◇團體決勝第一次戦
 早大 5—0 法政
 日體 3—2 中大
 立教 3—2 明大
 慶應 3—2 日大

(陸軍戸山學校)の關東豫選決勝戦が事實上
 の選手権試合となり慶應が優勝した。

分	負	勝	農	商	立	明	早	慶
0	0	5	1	1	1	1	1	0
1	1	4	1	1	1	1	0	0
1	2	2	1	1	1	0	0	0
0	2	1	1	1	1	0	0	0
0	4	1	1	1	1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇一、二位試合(十一月五日神宮)

慶應 3—30 早大

◇決勝戦(十一月廿三日戸山學校)

慶應 4—13 大和

〔審判〕 朝長、原兩氏

▲三等決勝
 慶應 3—2 日體

▲決勝
 早大 4—1 立教

○安藤(押し出し) 齊藤
 ○金子(押し出し) 宇田川
 ○二宮(吊り出し) 淺野
 ○左近允(寄り倒し) 増田
 ○豊平(寄り倒し) 伊濱

◇個人準決勝
 豊田(早)(寄り倒し) 二宮(早)
 梅澤(慶)(打棄り) 佐藤(拓)
 ▲三等決勝
 二宮(早)(ゐぞり) 佐藤(拓)
 ▲決勝
 豊田(早)(吊り出し) 梅澤(慶)

第十回關西學生相撲大會は六月三日、堺大
 濱新設土俵で舉行

◇準決勝
 關西學院 3—2 立命館
 名高商 3—2 同高商
 ◇決勝
 關西學院 4—1 名高商
 ○戸田(下手投げ) 浦上
 ○野村(押し切り) 水野

FW	HB	FB	GK	FH	SC	LC	PH
本 寺岡 品塚 田花 尾井	本 大村 八温 大濱 立幾 松	本 和田 出安 見 木弟 藤原 兄	藤高 割井 富能 五 杉村 伊吉 杉村	16	3	4	0
				17	1	1	0

全國高校ホッケー
 第五回全國高校ホッケー大會は一月一日か
 ら三日間戸山學校球場で舉行、學習院優勝す

◇準決勝	學習院 5—3 三高	成城 4—3 浦和
◇決勝	學習院 1—0 成城	

山下(打棄り) 前川
 ○林(上手投げ) 北岡
 ○木村(叩き込み) 中島
 關東中等大會

第十五回關東學生相撲聯盟大會中等校の部
 は五月廿七日、國技館で舉行

◇團體準決勝
 帝京商業 4—1 關東商業
 大成中學 3—2 植民貿易
 ▲三等決勝
 關東商業 4—1 大成中學
 ▲決勝
 帝京商業 4—1 大成中學
 ◇個人三等決勝
 長内(大成)(勝) 寺上(東商)
 ▲決勝
 吉田(帝商)(勝) 笹井(帝商)

ホッケー

全日本選手権
 全日本ホッケー選手権大會の決勝は十一月
 廿六日舉行の處、名高商の棄權により十一
 月廿三日戸山學校球場で行はれた學生テ
 ー代表慶應俱樂部、チーム代表大和俱樂部

水上競技

昭和八年度全日本水上競技選手権大會は第
 十回極東大會第一次豫選を兼ねて八月十二
 三、四の三日間神宮プールで開催、水泳日
 本の名に背かず世界新記録九、日本新記録
 十七の目覺しい收穫を得た

競 泳
 ◇百米 1 遊佐(日大)五八秒二宮崎(濱
 名)3 坂上(稻泳)▼第一豫選準決勝に遊
 佐(日大)が五八秒の日本タイ記録を出し
 た
 ◇二百米 1 遊佐(日大)二分一三秒〔日本
 新記録〕2 横山(稻泳)3 杉本(日大)▼遊
 佐(日大)は第一豫選で二分一三秒六、準
 決勝で二分一三秒四の日本新記録を作る
 ◇四百米 1 牧野(稻泳)四分四六秒四〔世
 界新記録〕2 北村(高知商)3 横山(稻泳)
 ▼牧野(稻泳)は第一豫選で四分四七秒六
 の日本新記録を作った
 ◇千五百米 北村(高知商)一分九分〇八秒
 〔日本新記録〕2 牧野(稻泳)3 本田(セン
 トポール)
 ◇百米平泳 1 小池(靜浦)一分一四秒八

文藝・美術

文藝界

文藝復興

昭和八年九月から翌九年八月までの満一ヶ年以内での最大の問題は、所謂文藝復興のことであつたらうと思ふ。久しい間みじめな不振を續けた文藝、殊に純文學が、漸く復興の瑞徴を示して來たと爲すもので、これを唱導する立場乃至尺度には各自異つたものがあるが要するに次の事項が具體的現象として數へられた。

先づ文學雑誌が續出した。八年十月號を以て紀伊國屋出版部から「行動」文化公論社から「文學界」文藝春秋社から「文藝通」の三誌が現れ、續いて十一月號を以て改造社の「文藝」更に九年六月號を以て第三次「早稲田文學」が創刊された。この中でも「文藝」創刊號は増刷五版を重ねたと噂された程である。「文學界」は初め宇野浩二、川端康成、小林秀雄、深田久彌、林房雄、武田麟太郎、廣津和郎の七氏を同人

としたが、九年三月休刊に陥り、後に横光利一、里見淳、藤澤桓夫、豊島與志雄の四氏を新に同人に加へ六月復活號を文圃堂書店から發行するに至つた。また「早稲田文學」は云ふまでもなく早稲田關係者を母胎とするものであるが、右の二誌を除く諸雑誌は何れも營利出版企業者の手になるもので、在來の「中央公論」「改造」「新潮」「文藝春秋」其他に加へて、文藝作品の發表市場を著しく擴充したことは疑ふべくもない。これに附隨して文藝書の出版が比較的活潑の道程をたどつたことも事實である。九年五月出版された改造社の「文藝復興叢書」の如きその一例である。

同時にまた、既成大家が復活して、續々と作品を發表したことが擧げられてゐる。宇野浩二氏を筆頭に、上司小剣、志賀直哉、正宗白鳥、永井荷風、里見淳、泉鏡花の諸氏がそれである。これに對して近松秋江、林房雄、室生犀星、横光利一の諸氏以下、現役大家は勿論、中堅、新人の一群も實によく書きよく發表した。

作家と作品

この期間に、別の一つの現象として長篇の執筆に志す作家の増加したことも擧げることが出来る。島崎藤村氏が「中央公論」に執筆する大作「夜明け前」は八年度を以て第一部を終り九年度から第二部に入つたが、横光利一氏は長篇「紋章」を「改造」一月號から續載してゐる。また林房雄氏は「青年」を八年度の「文學界」に發表したほか新たに「N男爵の平凡な半生」を「文學界」六月號から執筆を開始した。更に「文學界」七月號からは川端康成氏が「南方の火」を、尾崎士郎氏が「人間形式」を、武田麟太郎氏が「屋根」を描つて執筆し、其

他同人雑誌上にも野心的な長篇を散見するに至つたのである。この現象は我國の短篇小説が殆んど最高度の發達を遂げたことに起因すると説く者もあつた。

視野を擴げて、この期間内に量的に最も活躍した作家に宇野浩二、室生犀星兩氏を擧げることが出来る。宇野氏には「湯河原三界」(文藝春秋九、十月)「一週間」(文學界十月)「人さまざま」(改造十一月)「蝙蝠とぶ空」(文學界二月)「異聞」(改造六月)「歴間」(中央公論六月)があり、室生氏には「庭のわかれ」(行動十月)「菩薩」(文藝春秋十二月)「小さい町で」(文藝一月)「鶴千代」(新潮一月)「洞庭記」(中央公論五月)「獵人」(行動六月)「醫王山」(改造七月)「あにいもうと」(文藝春秋七月)があつた。次いで徳田秋聲氏は「死に親しむ」(改造九・十月)「金庫小話」(文藝一月)「一つの好み」(中央公論四月)「一莖の花」(文藝春秋七月)を書き、近松秋江氏には力作「山雨」(文藝春秋七月)のほか「苦海」(中央公論十二月)「春の戯れ」(經濟往來一月)「思ひのこし」(改造八月)の諸作があり、横光利一氏には「時機を待つ間」(改造九月)「書翰」(文藝十二月)「博士」(文藝春秋一月)の諸作、林房雄氏には「ハムレットの母」(改造一月)「殿様教育」(新潮一月)「特

等席(文藝二月)等があつてそれぞれに秀れた業績を残したと云ふべきである。

志賀直哉氏は「萬曆赤繪」(中央公論九月)を以て復活し引續き「日曜日」(改造一月)「日記帳」(改造四月)「朝晝晩」(中央公論四月)を發表し、小司小剣氏には「U新聞年代記」(中央公論十一月)「涙の踊」(中央公論七月)「里見淳氏に」(無法人) (中央公論九月)「馬鹿」(改造一月)「加能作次郎氏に」(息子と美人) (文藝春秋三月)「長與善郎氏に」(背水) (改造四月)「正宗白鳥氏に」(二人の樂天家) (中央公論十月)「晝脱」(改造一月)其他があり、いろいろの意味で興味を惹いた。右のほか主な作家と作品として次の諸作を擧げることが出来る。

- ▼「死の前後」常識▼「死ね!」道化役▼豊島與志雄▼「冬日さす」小島龍▼「久米正雄」▼「斧琴菊」泉鏡花▼「色さんげ」赤い自轉車▼「日曜日」宇野浩二▼「老父のはなし」飯田橋の神様▼「少年の話」國姓爺の使者▼佐藤春夫▼「巫女」街▼「小賣店」母と子▼「青猪」深田久彌▼「江南燕」餓鬼▼藤森成吉▼「春」煉瓦の破片▼「二階の姉妹」平林たい子▼「ノツケウシ」野上彌生子▼「ヨット」地圖▼「山上」阿部知二▼「物慾」老父二人▼松柏苑▼「芹澤光治良」▼「小さい花」紅葉の懺

- ▼「牡丹のある家」獨り立ち▼窪川いね子▼「組合はせ」陋巷▼片岡鐵兵▼「レドモア島」中河與一▼「ひかげの花」永井荷風▼「白夜」椿の島の二人のハイカー▼何田勘太シヨ▼「歸郷」村山知義▼「手紙」瀧子▼あるかなきかに▼「現はれた女」虹▼「四竹」通り▼「夏」川端康成▼「秋果園」佐々木茂索▼「苛める」石田の話▼「微の花」武田麟太郎▼「登音」土曜の夜▼M子への遺書▼龍膽寺雄

就中龍膽寺氏の「M子への遺書」は、その暴露的部分が物議を捲き起した。新人としては、張赫宙、平田小六、永井龍男、石坂洋次郎、鈴木清、金親清、和田傳の諸氏が注目を受けた。各雑誌とも新人の推挽に力め、同時に懸賞募集作品を競つて發表するところがあつた。即ち「新潮」は九月號を新鋭十六氏創作特輯とし、「行動」も五月號を、新人創作特輯に充て、「中央公論」は七月臨時増刊新人號を出した。他に「文藝」「改造」「中央公論」で發表した懸賞當選作は都合次の五篇であつたが、その文壇的前途は豫測すべくもない。(文藝)「少年の果實」竹森一男(改造)

「油麻藤の花」酒井龍輔「牛生」大谷藤子
(中央公論)「葱の花と馬」伊東祐治「深夜」
小山いと子

なほ、評論方面では正宗白鳥、青野季吉
廣津和郎、杉山平助、豊島與志雄諸氏が衰
るへざる活力を示したほか、小林秀雄、阿
部知二、井汲清治、林房雄、それに矢崎彈
氏も新人として潑刺さを見せた。廣津和郎
氏の「作家・生活・社會」林房雄氏の「プロ
レタリア文學の再出發」徳永直氏の「創作
方法の新轉換」正宗白鳥氏の「山本有三論」
「宇野浩二論」久米正雄論、杉山平助氏の
「徳田秋聲論」直木三十五論「林房雄論」
上司小劍氏の「正宗白鳥論」等が現れ、更
に生田長江氏は「中央公論」七月號に久し
ぶり「明治大正時代文學の檢討」の一文
を發表した。この他、リアリズムに關する
檢討が處々で行はれたことは記憶されれば
ならない。

大衆文藝其他

大衆文藝の發表数は依然として盛大で娯
樂雜誌、婦人雜誌、新聞等の大部分の市場
の獨占を續けてゐるが、内面的に見るとき
は、既に或種の行き詰りを來たし轉換の機
に迫られてゐるの觀があつた。直木三十五

警保局長松本學氏の肝煎りで九年三月廿九
日その第一回が行はれ、爾來しばしば開催
されて徳田秋聲、島崎藤村、近松秋江、菊
池寛、吉川英治、中村武羅夫、其他の諸氏
が交々出席したが、七月の政變によつて松
本氏の警保局長辭任に遭ひ一時挫折するに
至つた。同懇談會は松本氏が個人の資格と
して幹旋してゐたものであるが、既に或る
程度迄具體化してゐたことではあるし、何
等かの形となつて現はれるものと期待され
てゐる。

文壇過去帳

物故者の数は驚くべき多數に上つた。昭
和八年九月から九年八月迄の順序に舉示す
れば次の通りである。
巖谷小波(九月五日)嘉村礪多(十一月
廿日)池谷信三郎(十二月廿一日)佐々木
味津三(二月六日)横瀬夜雨(二月十四日)
直木三十五(二月廿四日)宮島新三郎(二
月廿七日)瀬戸英一(四月十日)土田杏村
(四月廿五日)中村憲吉(五月五日)松崎
天民(七月廿二日)
巖谷小波氏は尾崎紅葉、石橋思案、川上
眉山等と硯友社を結び、後少年文學に轉じ
我國の少年文學への、偉大な功績者であつ

佐々木味津三兩氏の死はさらでだに一抹の
淋しさを加へるもので、湊邦三、海音寺潮
五郎其他二、三の新進作家の擡頭があつた
が、第一線作家の地位には微動だに與へる
ことは出来なかつた。
詩壇に於ては、有力詩人の大部分が小唄
民謡方面の制作に従ひ、詩の本流は依然混
沌衰微を續けた。歌壇の主流は前年に引つ
づき現實主義がその中心となつた。俳壇で
は日本俳人協會の創立準備委員會が設けら
れ、實現の運びが近づいてゐる様である。
文藝家協會では定款の變更、稿料内規の
勵行、共済部存廢等が議せられ、日本歌人
協會では恒例によつて新會員十五氏の推薦
を行つた。
十一月廿六日から坂東義助等によつて新
歌舞伎座に上演の豫定だつた番匠谷英一氏
脚色「源氏物語」が當局の忌諱にふれ開演
を前にして上演禁止となつたのも記憶すべ
きである。

左翼文藝陣

左翼文藝はフアツシヨの擡頭、純文學の
復活、當局の彈壓等の爲め極度の不振に陥
入り表面的には全く無力化したときへ見ら
れるに至つた。

嘉村礪多氏は雜誌「不同調」から文壇に
スタートし「業苦」を始め數篇の秀れた短
篇があり、池谷信三郎氏は出世作「望郷」
以來「有閑夫人」「遙かなる風」「柳はみど
り」等の作品を残し中堅作家中でも重きを
なしてゐた。
佐々木味津三氏は「蘆毛の馬」「地主長男」
「へちま」「兄馬鹿」等の純文學作品もある
が、後大衆文學に移つて「まぼろし峠」「旗
本風流陣」「謎の人物師」「右門捕物帳」等
は特に有名であつた。
横瀬夜雨氏は明治文壇に文名をうたはれ
た詩人でその著に「花守日記」「廿八宿」が
ありまた「夜雨集」がある。
直木三十五氏は僅か三、四年來に華星の
如く現はれ忽ち斯界を風靡した大衆作家で
「南國太平記」「足利尊氏」「楠正成」「源九
郎判官義経」「青春行狀記」「光・罪と共に」
或ひは「日本の戦慄」等の力作のほか枚舉
にいとまない程の作品を残し、同時に大衆
文藝界の最大の論客として精力的な存在で
あつた。
宮島新三郎氏は評論家として知られ「近
代文明の先驅者」「改造思想十六講」等の著
のほか翻譯數種があり、瀬戸英一氏は劇作

文壇時事

警視廳當局が麻雀賭博問題に關して八年
十一月徹底的の檢舉を行つた際、數名の文壇
關係者がその取調べを受けた。里見淳、中
戸川吉二、美川きよ、久米正雄、川口松太
郎、佐々木茂索の諸氏である。續いて翌九
年三月の第二次彈壓には川崎備寛、甲賀三
郎、海野十三、大下宇陀兒、廣津和郎、菊
池寛、宇野千代の諸氏が取調べを受け文壇
麻雀禍として世人の注目を惹いた。
文藝院の設立に關する懇談會は、内務省

家として特に花柳物を描いて傑出した代表作
は「人來鳥」「夜の鳥」「花の夜がたり」等
である。
土田杏村氏は評論家として萬能の才能を
示し「文化主義原論」「現代哲學概論」「マ
ルキシズム批評」等著書多く、啓蒙的役割
につくしたところは決して少くはない。中
村憲吉氏はアララギ派の歌人で歌集に「林
泉集」「しがらみ」があり、松崎天民氏は新
聞記者出身でかつて雑誌「食道樂」を主宰
し、著書にも「淪落の女」ほか卅餘種があ
つた。

文藝團體その他

- 文藝家協會 京橋區木挽町五丁目四ノ七
- 日本歌人協會 本郷區駒込東片町二二丁目
- 野方 本郷區向岡彌生町三はノ
- 七小林立方
- 日本挿畫家協會 麻布區斧町一八〇海野方
- 日本歌謡協會 神田區表神保町二精文館内
- 日本詩人會 澁谷區向山三三三原方
- 藝術家俱樂部 麴町區有樂町一丁目三柏ビ
ル内
- 文學クオタリイ社 淺草區新森田町四

三田文學會 芝區三田慶應義塾内
 作品社 神田區須田町一丁目
 ホトトギス發行所 丸ビル七階
 同人社 大阪市東區北濱二ノ四二
 層雲社 麻布區新堀町三
 アララギ發行所 赤坂區青山南町六ノ二二
 白日社 淀橋區西大久保三ノ一二八
 勁草社 本郷區駒込東片町二二
 國民文學社 小石川區大塚坂下町一〇〇
 大地舎 豊島區雜司ヶ谷町一ノ六一
 文藝汎論社 品川區大井塚町四九二八
 詩之家 川崎市砂子町一ノ二六
 詩人時代社 神田區鍋町二八
 改造社 芝區新橋七丁目一二
 文藝春秋社 麹町區内幸町大阪ビル
 中央公論社 丸ノ内ビルサンゲ
 大日本雄辯會講談社 本郷區駒込坂下町
 新潮社 牛込矢來町
 博文館 日本橋區三ノ九

文藝家協會會員

秋田雨雀、淺原六郎、足立直郎、阿部知二、
 安藤盛、安藤徳器、飯島正、生田葵、生田
 花世、井汲清治、池田大伍、池田鏡子、池
 田桃川、石川千代松、石川欣一、石丸梧平、

太郎、武川重太郎、室生犀星、村山知義、
 村松梢風、森田草平、森田信義、本山萩舟、
 百田宗治、山本有三、山本修二、山崎紫紅、
 山崎斌、山田清三郎、山田珠樹、山上貞一、
 安成二郎、柳原輝子、行友李風、横光利一、
 吉江喬松、吉川英治、吉屋信子、吉田甲子
 太郎、吉田人世、米川正夫、龍膽寺雄、和
 氣律次郎、渡邊均、渡邊默禪、鷺山第三郎、
 小寺菊子

日本歌人協會會員

北原白秋、山下秀之助、佐治斗牛、大高富
 久太郎、野地曠二、小笠原文夫、村野次郎、
 酒井廣治、橋本敏夫、今井規清、大伴貢吉、
 荒木暢夫、池上秋石、芥子澤新之助、清原
 齊、冬野清張、木俣修、南部松若丸、水谷
 静子、清水乙女、若林牧春、中村正爾、岡
 山巖、橋宗利、橋本政一、河内野弘基、矢
 吹正衛、相坂一郎、川田順、折口信夫、土
 岐善磨、大熊信行、前田夕暮、矢代東村、
 米田雄郎、楠田敏郎、矢島歡一、熊谷武雄、
 金子不泣、阪口保、狭山信乃、飯田兼治郎、
 萍水馬、元吉利義、原三郎、美木行雄、中
 野嘉一、久保田安治、窪田空穂、松村英一、
 谷鼎、菊池劍、日夏八郎、菊地貞也、塚田

石丸喜世子、伊藤松雄、伊藤貴磨、伊藤仁
 太郎、井東憲、犬養健、伊原青々園、今井
 達夫、今井邦子、岩田豊雄、宇野浩二、生
 方敏郎、江戸川亂歩、圓地文子、大下宇陀
 兒、大村嘉代子、大倉桃郎、大木惇夫、大
 隈俊雄、大坪草二郎、大佛次郎、岡本綺堂、
 岡田三郎、岡田積子、岡野馨、沖野岩三郎、
 翁久允、尾崎士郎、落合浪雄、小野金次郎、
 賀川豊彦、片岡鐵兵、勝本清一郎、加藤一
 夫、加藤武雄、金子洋文、加能作次郎、上
 司小劍、加宮貴一、川村花菱、川端康成、
 川口松太郎、菊池寛、河野義博、河井醉茗、
 龜尾原徳、菊池幽芳、岸田國士、貴司山治、
 北村小松、北村喜八、北村壽夫、北尾龜男、
 北林透馬、木村毅、木村幹、木村富子、清
 澤淵、草野貞之、國枝史郎、邦枝完二、久
 保田万太郎、久米正雄、倉田百三、倉島竹
 二郎、藏原惟人、黒鳥傳治、甲賀三郎、古
 賀殘星、小島政二郎、小林徳二郎、小島健
 三、小島徳彌、小寺融吉、齋藤茂吉、齋藤
 龍太郎、酒井眞人、坂崎垣、佐々木茂索、
 里見淳、佐藤惣之助、山宮允、白井喬二、
 白鳥省吾、十一谷義三郎、下村千秋、榛村
 專一、菅忠雄、菅原寛、杉村廣太郎、杉山
 平助、鈴木善太郎、鈴木信太郎、鈴木氏亨、
 鈴木彦次郎、須藤鐘一、陶山務、諏訪三郎、

菁紀、宇都野研、氏家信、杉田鶴子、保坂
 嘉藏、成田憲三、山田武彦、山縣汎、大塚
 政光、柳瀬留治、割田斧二、小森眞瑤郎、
 森田佐一郎、稻垣浩、日比野道男、西村陽
 吉、上田英夫、松田常念、金澤種美、加藤
 増夫、湯木喜作、日比修平、日比野友子、
 市山盛雄、道久良、岡野直七郎、齋藤豊人、
 小泉三三、阿部静枝、額田島一二郎、百瀬
 千尋、平井二郎、平野宣紀、尾崎孝子、水町
 京子、北見志保子、川上小夜子、若山喜志
 子、神原克重、大悟法利雄、三苦守西、平
 賀春郊、大橋松平、竹添履信、小川水明、
 白井大翼、桐田露村、渡邊湖畔、中井コッ
 フ、藻谷六郎、飯田英哀、春日井渡、奥貫
 信雄、藤崎杏水、齋藤勇、結城健三、阿部
 鳩雨、金子薫園、今井潔、早川幾忠、佐佐
 木信綱、齋藤淵、山下陸魚、前田福太郎、
 小宮良太郎、下村海南、印東昌綱、栗原潔
 子、依田秋圃、今井邦子、相馬御風、四海
 民藏、土尾静男、松岡貞總、矢部道氣、米
 倉章五、石河和夫、清水信、山脇一人、三
 田淳人、棚橋古刀雄、淺野保、前田源、早
 川孝、逗子八郎、上田穆、兒山敬一、柳田
 新太郎、前川佐美雄、渡邊順三

美術界

美術界消息

帝展審査員 左の如く十月二日の官報をも
 つて發表された。
 沼田勇次郎、鹿島英二、清水龜藏、服部
 謙一、後藤良、伊東一、伊東幸右衛門、
 池上國三郎、磯崎美亞、堂本三之助、太
 田三郎、太田喜二郎、川崎隆一、金山平
 三、横江嘉純、吉田清二、高間徳七、堆朱
 豊五郎、中村大三郎、中野和高、宇田善
 次郎、熊岡美彦、矢野一智、山本菊一、
 案本謹之助、牧野虎雄、小糸源太郎、迎
 田嘉一郎、寺田萬治郎、阿以田治修、安
 藤照、佐々木長次郎、北村正信、楠木久
 太、廣川松五郎、白瀧幾之助、杉田精二
 帝展の推薦者 帝國美術院は五月二十八日
 の總會において、各部の推薦を左の如く決
 定、常議員は第三部において建島大夢氏に
 代り山崎朝雲氏が新たに選ばれた以外は重
 任となつた。

推 薦

第一部 石渡風古、大木豊平、吉岡堅二、
 竹原嘲風、常岡文龜、矢野鐵山、前田萩

邸、福田浩湖、古屋正壽、穴山勝堂、三谷十糸子、宮田司山、白倉二峰、森白浦
第二部 猪熊玄一郎、橋本八百二、山下繁雄、小磯良平、江藤純平
第三部 安達貢一、西村雅之、小笠原貞弘、富永朝堂、岡本金一郎
第四部 北原三佳、宮永東山、鳥野三秋、森川紫山

帝展出品手数料徴収 帝國美術院は五月二十八日の總會で會員、推薦者並に一般出品者に對し作品一點につき出品手数料一圓を取ることに決定、昭和九年秋の帝展より實施することとなつた。

藤田嗣治氏 二科會に入會、會員となる。美術院新會員 帝國美術院會員故山元春舉畫伯の後任として西村五雲氏九月十九日美術院會員仰せ付けらる。

中村研一畫伯 パリ、サロン・ドートンヌの審査員に任ぜらる。日本學生製作美術品展覽會 五月八日パリで開會、出品點數意匠圖案八百點、作品八十點

正倉院御物拜觀規程 九月二十九日改正さる。正倉院曝涼中(一)宮中席次第四階以上の者及其の配偶者、(二)帝室技藝員、帝國

美術院美術展覽會審査員、學術研究會議會員、國寶保存會會長副會長及委員並工藝審査委員會委員、(三)本邦駐劄各國大使公使及其の配偶者並に前各號に準ずべき外國人にして當該大使公使の推薦する者に御物の拜觀を許可する。

主要美術展覽會

帝展 帝國美術院第十四回美術展覽會は十月十六日より十一月二十日まで、東京府美術館において開催、受付たる出品點數は第一部繪畫二千七十六點、第二部繪畫(油繪、水彩畫、パステル畫、創作版畫等)三千七百六十九點、第三部彫塑五百二十四點、第四部美術工藝千六百點、合計七千三百八十五點。この内鑑査の上陳列したるもの第一部二百三十八點、第二部二百三十七點、第三部百三十二點、第四部二百二十三點、合計八百三十三點、鑑査を経ずして陳列したるもの第一部九十七點、第二部七十三點、第三部五十四點、第四部四十點、合計二百六十四點、總計千九百九十四點である。特選は左の如くである。
第一部 飛瀑(狩野光雅)、小憩(吉岡堅二)、洛北の佳人(谷角日染春)、棕櫚(常岡文龜)、荒涼(矢野鐵山)、菜園の黎明(山

本倉丘)、旗亭涼宵(小早川清)、磯松風(穴山勝堂)、朝(三谷十糸子)、池心洋津(森白浦)、△第二部 畫室(猪熊玄一郎)、炭坑夫(堀田清治)、三人裸像(田中繁吉)、閑庭(野口謙藏)、軍鶏(山下繁雄)、室内裸婦(江藤純平)、畫室(佐分眞)、▽第三部 踊女(富永朝堂)、作品第十二(小笠原貞弘)、海邊の夏(岡本金一郎)、すまふとる(安達貢一)、蹴球(森野圓象)△第四部 陶製色繪八重葎文花瓶(伊東信助)、鑄銅廣間用四方花さし(豊田勝秋)、陶製黒豹置物(小川雄平)、彫金矢立(岡部達男)、彫金花瓶(大須賀喬)、蒔繪棚(吉田源十郎)、おはぐろとんぼ器(高野松山)、黄銅鹿置物(根前忠雄)、青銅方盤(長野坪志)、青華甜瓜文菱口花瓶(楠部彌一)、陶窯つゞれ織壁掛(遠藤順治)、彫漆硯箱(佐藤湯雲)、青銅仙果文壺(北原三佳)、染色獅子舞二曲屏風(木村和一)、蒔繪濕原の原棚(森川紫山)
院展 九月四日から十月四日まで上野府立美術館で開會、搬入總數七百二十九點、うち日本畫五百二十四點入選五十五點、彫塑二百五點、入選四十六點、新入選は左の人々である。(繪畫部) 山下摩耶、小柳泰然、片山俊

三、三宅淳、館山栗山、里内三郎、岩永蘇香、野口トミ子、藤田安正、座間素賢、白山春邦。
(彫塑部) 山口眞一郎、一元正、渡邊近三、小林貞吾、高山東一、片野不空藏、辻汎吉

「院賞」(彫刻)第二賞 松原松造
「新院友」(繪畫) 宮田隆子、鈴木三朝、鶴岡節夫、横田仙掌、花岡朝生、坂本華光、新井白鳳、(彫刻)大野隆一

二科會 二十回展は九月三日より十月四日まで上野府美術館に開會、總搬入繪畫三千四百七十二點、彫塑百四十七點、入選繪畫三百五十九點、彫塑四十五點、新入選は左の如くである。

「繪畫部」 高木一郎、森繁、鈴木信夫、金繪山、菊池キミ、清野恒、三好悌吉、出口實、神田英子、秋元達三、松島蘇順、清水正義、松田春雄、山田榮二、瀧澤清、齋藤大、太田虎雄、柏木房太郎、沙見清、納富進、細見治逸、劉英夫、野田武男、山内善三郎、内山泰一、北條俊治、清水ふく、青木壽、河原勉一、西坂修、福井勇、福田深恵、伊藤静尾、多木透哉、佐々木一郎、影山静子、榊原勉、能間弘、小森進、佐々木孔、辰巳義人、伊佐治勝

太郎、伊澤紀、大和義男、申鴻休、松村秀夫、大塚興志、柴田又太郎、水谷道彦、牧野政吉、峰岸義一、丸野道司、高橋迪章、山尾薫明、江崎義郎
「彫塑部」 大橋孝吉、岩井順子、織田久馬一、廣瀬不可止、島村治文、小田慶一、東國雄、河合芳男、中村暉、加賀山敬二、赤塚秀雄、富久經男、金森勝。
春陽會 第十二回展四月二十一日より上野美術館に開會。新入選及び受賞者は左の如くである。
茂呂康雄、後藤禎二、梅澤妙、サルゾトウレ・メルシエ、佐藤篤郎、二見利一、小田幸子、猪瀬正、田邊謙輔、高島千代、田尻民藏、向坂次郎、木寺敏、内藤撫子、河合晋、上田稻子、津谷鹿市、奥秀次郎、松永浩二、櫻田角二郎、水船六洲、野村チハル、上田常太郎、今井治兵衛、石井彌一郎、井上八郎、石川武彦、三木明太郎、本莊越、李仲生、田家秀雄
「受賞者」 大森啓助、小栗哲郎
「新會員」 國盛義篤、小穴隆一、岩山爲三

「新會友」 遠藤典太郎外八氏
國畫會 第九回展四月二十二日より上野府美術館に開催、新入選者左の如し。

吉見庄助、永原織治、アベル・シエルが、原信重、香月泰男、窪田榮、黒澤久乃、杉本英一、山田稔、三浦うめ、梨本松太郎、海川博一、森澤兼三、小栗慶太郎、谷口ふみえ、明田川孝、日根野作三、新田實、谷本洋一、武内收太、古戸いせ、今西洋、石村春莊、河井武一、川連繁、中村武義、永美きり、内藤四郎、鈴木周、高木錦治、田村静枝、横原兼太郎、安川慶一、柳生喜美
「受賞者」 大谷房吉、山田正、小川龍彦、明田川孝、笹村良紀、船木道彦、山村誠
「新會員」 辻愛造、山下品藏
「新會友」 外村吉之助、柳悦孝、奥村博史

日本南畫院 第十三回展覽會五月十六日より六月六日まで上野公園府美術館で開會、總搬入數百卅四點、入選者百一點、そのうち新入選は左の十七名である。
鳥海山亭、森毒萃、八百谷大樹、月居玄衣、大根田雄國、小山居泉、小林金鼎、峰村北山、稻田米花、横山松雲、大木豊平、村岡應東、五十君凌雪、青木虹橋、高島祥光、鈴木石鶴、村上景雲
國寶(昭和六年)

神社所屬	三〇〇
寺院所屬	五六一
國所屬	七
公共團體所屬	二四
個人所屬	一一
計	九〇三
繪畫	七九一
彫刻	八八〇
工藝	三七〇
刀劍	三二二
書籍、文書等	五五二
總計	四、八一八

新語集

アシ 英語アシテーション(煽動)の略語。労働運動、社会運動者の専用語。これを動詞に使用してアシるなどいふ。アシピラは煽動用のピラで、アシ・プロは煽動宣傳のこと。プロレタリア文學はこのアシ・プロの文學を目指してゐる。アシテーターは煽動者。

アップ・ツー・デート(Up-to-date) 最新式、最も現代的といふ意味だが、事物の推移、流行の變遷が活潑で、分秒を標準にしなければならなくなつた今日では、テ

ト(日)などといつてゐたのでは間に合はずミニットを呼び、アップ・ツー・ミニットといふ。これと反対の意味はアウト・オヴ・デート(あるひびはミット)で現す。

アナクロニズム(Anachronism) 英語で「時代錯誤」の意。もし此頃ちよんまげに大刀ぶちこんで銀座を闊歩し、尊王攘夷でも唱へれば、これ正しくアナクロニズムだ。

アパート アパートメント(Apartment) の略。外國で生活の便宜上、大きな建物を小區分して住んだものだが、近來日本の大都市にも澤山出來て活用されてゐる。東京小石川區大塚には女ばかり住むものもある。

アツピール(Appeal) 「訴へる」こと。何か論文を書く、それが大衆の間に非常に問題を起したとする。すると、それは大衆にアツピールしたのである。それが性的に行はれ、性的に訴へる場合はセックス・アツピール。

アメリカニズム(Americanism) 世界大戰を機會に非常な繁榮を來したアメリカの中流以上につつて、全世界へ向け洪水した諸種の流行風習思想の總稱。

ア・ラ・カルト フランス語で「一品料理」のこと。

ア・ラ・モード フランス語で「最新流行」のこと。

行」のこと。銀ブラのモゴ、モガの服装はア・ラ・モードである。

アンコール フランス語で「更に」といふ意味。音楽會などで餘り好いと讚奏者が一旦ステータから引いても聴衆は又拍手して呼び出す。これをされるのは人氣がある證據だ。

アンデパンダン 美術上、無鑑査の自由出品團體。フランスで大いに發達したが、他の諸國では試みられるだけでまだ大した發展を見ない。

イツト 英語の「ソレ」だ。ソレだが、ただのソレではない。性的魅力を意味する。百パーセントのイツトといへば充分過ぎるほどの性的魅力があるといふことを指す。だがItを英語の辭書でいくら探しても見付かりつこない。タララ・ボウ主演の映畫「イツト」から流行した言葉だから。日本語でも「あれ」といへば相當意味深長だ。

イデオロギー 意識形態。觀念形態。意識の總體概念。それは社會的經濟的諸條件の上に築かれる。が、最近のわが國に於ける亂用にすれば「左翼意識」といふ事になつてゐる。たとへばイデオロギー映畫とか。しかしイデオロギーにはアルジョア・イデオロギーもあるのだ。

イニシアチブ(Initiative) 發案權。發議權。何事でも他に率先してやることをイニシアチブをとるといふ。

インターナショナル(International) 普通には國際的といふ意味だが、政治的存在としては、無産階級解放を目的とする所の國際的な組織。そしてこれの具體的な組織としては現在二つある。一つは世界に一つの本部を置きその世界政策の指令によつて世界の各支部が活動する——これは第三インターナショナル。その二は、第一のものほど相互に緊密な關係を持たず、各國の組織が自治的に活動する。これが第二インターナショナル。前者はコンミニユニズムの立場にあり、後者は社會民主主義の立場にある。

インチキ 最初は賭博用語。それが今ではモダン語の一つとなつてゐる。いかさまだがひもの、けちな、ちやちなといふやうな意。

インテリ インテリゲンチヤ(知識階級)の略呼。特にプロレタリア陣營内に於ける知識階級出身者を指していふ。その特長は聰明ではあるが意志力がないとされてゐる。

インフレーション(Inflation) 通貨膨脹。通貨が過度に膨脹し、その結果貨幣價值が

下り、物價が騰貴する現象をいふ。

ウルトラ(Ultra) 「超」の意味。ウルトラ・モダンといへば超モダン。ウルトラ・ヴァイオレット・レイといへば紫外線。社會運動でウルトラは極左主義に投げかける輕蔑の語。

ヴァリエテ 諸藝演劇大會の意。ヴァオリドグイル(寄席)、レヴューなどと本來は違つたものなのだが、現在では皆同じやうな事になつて、結局レヴューの名が他を被はんとしてゐる。

ヴァリュエ(Value) 價值といふ英語。これがニユース・ヴァリュエとなれば新聞もしくは雜誌で充分報道の價值あるものゝ意味。セックス・ヴァリュエは性的價值。フエイス・ヴァリュエは顔の價值、これがあるといへば美人のこと、ないといへば十人並以下といふことになる。なほボスタ・ヴァリュエは廣告價值。

ヴァイタミン(Vitamin) 蛋白質、脂肪、含水炭素、鹽類、水、また、食物の味となるべき嗜好素の外に、なほ人間の榮養上缺くべからざる第三の成分があることが發見された。その成分がヴァイタミンと名づけられてゐる。

エキスパート(Expert) 専門家。熟練

エスベラント(Esperanto) 國際補助語。一各自國語は使つて、世界共通語をこれにしようといふのだ。始祖はポーランド人ザメシホッフ博士。ロシアでは労働者間にこれが大いに擴がつてゐる。

エポック(Epoch) 時期、時代。エポック・メイキングは劃時代的。

エロ エロス(ギリシヤ神話の愛の神)、エロチック(英語で色情的、戀愛的の意)から來た略語。エロチズムといへば色情感戀愛本位。エロはモダニズムの一大要素とされてゐるが近頃はナンセンスといつしよになつてエロ・ナンなどといふ略語も現れた。淺草、上野、新宿で風嬢を取締る巡查をエロ・ポリスなどといふ。

エンゲルス ドイツ人フリードリッヒ・エンゲルス(一八二五—九五)。共産黨の鼻祖カール・マルクスの終生變らぬ、熱烈なる共働者で有名な共産黨宣言もマルクスと共同署名。現代のマルクス主義研究家は、マルクス、レンンと共に彼を見逃さない。エンゲルス・カールといふのはマルクス・ホイイに對照したもの。

圓タク 一圓タクシーの略呼。が近頃の不景氣で圓が五十錢、三十錢と値切られる。

そこで少女を乗せて商賣するのがある。これが圓タク・ガール。なほ一晩一圓のホテルで圓宿ホテル。東京市警乗合自動車は圓太郎。一圓の豫約本これが圓本。

オー・ケー・エス 普通使はれてゐるオー・ライと同様、「よろしい」「合點だ」「結構です」といつたやうな意味。語源は區々として異論あり。

オーソリテイ (Authority) 權威。わが國で普通使はれてゐるのは政治上宗教上の權力の場合でなく、學藝百般上の權威ある人の事を指してゐる。

オリエンタリズム (Orientalism) 東洋(オリエンタル)主義。西洋の物質文明主義に對する東洋の精神文化主義だとの論者はいふが、これは政治經濟上の主義にはなり得ない。わが國では高須芳次郎氏がこれを主張する。

オルガナイザー (Organizer) 組織者。工場労働者の中に入つて黨を組織(オルガナイズ)したり、貧農の間に組合を組織したりする人。アシタイターなどと同列語。レニンは好きオルガナイザーであり、トロツキーは好きアシタイターであつたといはれてゐる。

オン・パレード (On parade) メレード

は行列、觀兵、誇示を意味する英語。總じて勢ぞろひ、總まくりの意になる。

カー・ペー 共產黨(コンミュニスト・パーティー)の略稱。

ガール 英語で少女だ。現代は正にガール進出時代ともいへる。曰くストリート・ガール(淫賣婦)、ゲイシヤ・ガール(わが藝者を外人はかう呼ぶ)など古いのから、シヨップ・ガール(女店員)、ガソリン・ガール(ガソリンを商ふ)、エレベーター・ガール(ビルのエレベーターを上下する)、麻雀ガール(麻雀の相手をして金を得る)などの純職業的なのから、ステツキ・ガール(銀座の散歩にステツキ代りに一緒に歩いて金を得る)、エンタク・ガール(エンタクの條を見よ)、テント・ガール(目を限つてキヤンプに同棲する)などの半職業的、半尖端的なのから、モダン・ガール(モダンの條を見よ)やエンゲルス・ガール(エンゲルスの條を見よ)、スピキング・ガールなど消費的、或は思想的なガールスに至る。

カムフラージュ (Camouflage) フランス語で擬裝。歐洲大戦の時飛行機襲撃に對する防禦法として最初これが行はれた。現在日本の兵隊も盛にこれをやらされてゐる。その他、階級意識ある映畫をさうでないや

であるが、社會生活者、公的生活者として、それはキツパリ區別されなければならぬといふ主張。戀愛無政府などと混同されるのは間違である。

コンマーシヤリズム (Commercialism) 商業主義。現代の經濟組織は自由競争の形になつてゐるから、商品を賣らんがためには、殆んど手段を選ばずといつたやうなことになる。その弊害を總稱していふ。

コンサート (Concert) 演奏會。音樂會。著音器でやるのがレコード・コンサート。コンサート・シンガーといへばオペラ以外の歌手。

サーヴィス (Service) 奉仕。だが、近頃は營利を目的とする店舗に於て客釣りのために種々な設備をしておきながら、これをサーヴィスと稱してゐる。

サイエンティフィック (Scientific) 科學(サイエンス)的。いひかへれば客觀的。近代の學問は客觀的であること、サイエンティフィックであることを要する。またさうでないといふ眞の價値がない。

サイン (Sign) 符號。合圖。署名。野球のは合圖で、比島選手が騒がしたのは署名だ。

サボ サボタージユ(怠業)の略。労働者

うに見せかけておくやうな場合等々に使はれる。

カリカチュア (Caricature) 戲畫。漫畫。諷刺畫。さうすることをカリカチュアライズするといふ。偉人は皆カリカチュアを描かれるが、反對にカリカチュアに好い顔の人物が偉人になるといふ説まである。

脚線美 露出された女性の脚の美。現代人の活動性、暴露性はその基調をなしてゐる。

キュービズム (Cubism) 美術用語で立體派。フランスに起つた美術革命運動で、在來の色彩や光線に依らず物象の體積、量感を現すといふのが、この畫派の主張である。現在のフランス畫壇の元老パブロ・ピカソがこの派の首領と目されてゐるが、最近また變つた形式を求めてゐる。

クラシック (Classic) 古典。古代ギリシヤ、ローマとか、わが王朝とか、相當の年代を経た時代の名作で、今更評判によつてその價値を上下されないもの。クラシカルといへば古典的。

クローズ・アップ (Close up) 大寫し。人物の顔がスクリーンいっぱいになり、そこに特別に表情が示される映畫用語。

クロス・ゲーム (Close game) 接戦。シ

罷業戦術の一。日本では神戸の労働者が最初にやつた。

サナトリウム (Sanatorium) 海岸、山間の空氣の清澄な閑靜な場所に建てられた結核療養所である。わが國にも中野の東京市療養所、信州富士見高原の療養所等ある。

サラリーマン (Salary man) 俸給生活者。資本家階級と労働階級との間にあつて、一番無氣力なる群と見なされてゐる。現下日本のエロチシズムやナンセンスの文學などはやはりこの層を發生の根據としてゐる。

産業豫備軍 失業者群の意味、マルクスの用語。現在働いてゐるのが産業現役軍だとすると、失業者は豫備となるわけ。

産兒制限 バイス・コントロールの譯。アメリカのサンガー夫人が始めて唱道し出した。この頃は日本でも政府が奨励しようとしまいと、ドシ／＼實際には行はれてゐる。これに用ひる用具も立派なのが出來てゐる。

シツク 元はドイツ語、それがフランスに入り、フランスから改めて日英獨米各國に流布された言葉。「ハイカラ」とか「モダン」とかよりもつと新しいもので、重厚なる粹を意味する。活併でいへばヴァレンチ

ソロー・ゲームと洒落る。ダール・ゲームの反對だ。

グロ グロテスク(怪奇な、怪奇で美しい)の略。西歐ではこれは文藝上のロマンチズムの一要素であつた。今や「エロ(エロチック)」と「グロ」などと略して用ひられる。

ケヤレス・ミステーク (Careless-mistake) そつつかしい失敗、愛嬌のある間違ひ。

ケープ (Cape) 婦人用の廻し外套。海水著用のマント。

ゲルト (Geld) 獨逸語で金錢のこと。英語の「マネー」と同じ、略してゲルトともいふ。

コケツト (Coquett) 嬌態。コケティッシュと形容詞に使ふ。

ゴシツプ (Gossip) 噂話。ムダ話。

コスモポリタン (Cosmopolitan) 世界主義者、四海を家としてゐる人。だが近頃の解釋では、政治に、積極的に世界の障壁を取らうと運動する人のことは、かういふはな

い。たゞ漠然と考へてゐる人のことを指してゐる。

コロンタイズム ソグイェト同盟の女傑コロンタイ女史がその著作で展開してゐる新しい戀愛思想。戀愛は各個人の全然自由

ノなどではなくてパンクロフト型だ。
資本主義第三期 マルクス主義者は世界
大戦後の資本主義を第一、第二、第三の三
期に別つて説明するが、一九二八年以後の
世界的恐慌、失業群氾濫等の最近段階がこ
の第三期に相當する。

シナリオ (Scenario) 映畫脚本。シナリ
オ・ライターは映畫脚本作者。

ジャーナリズム (Journalism) 新聞。新
聞界。新聞記者業の意。が一般に用ひられ
てゐるのは、新聞雑誌が、常にセンセイシ
ヨナルなニュース、興味中心的な材料、商
品価値ある記事を求めてゐる、その状態を
指す。

ジャズ 元々アフリカから發生した黒人
音楽。モダン・アメリカ人によつて取りあ
げられ、世界的流行を遂げた音楽。近頃何
でも狂躁的なものにジャズ的といふ形容詞
を附するやうになつた。

シャン 美人。とてシャンはとても素晴
らしい美人。これと反對に頗るつきの醜婦
はどてシャン。

シャンデリア (Chandelier) 枝形燈架。
飾り電燈。劇場、ホールなどの天井から下
つた大型の飾り燈のこと。
スター (Star) 立役者。大立物。映畫花

形。人氣者。元來は星といふ意味から現代
では殆んど映畫上のみ使はれる。オール
・スター・キヤストは花形總動員といふと
ころ。

ストライキ (Strike) 同盟罷業。同盟罷
工。労働賃銀、労働時間など労働條件の改
善を要求して、資本家が容れない場合、勞
働者は團結してその仕事を放てきし、資本
家に對抗する。これがストライキだ。最近
に至つて、事件數激増の上にも激増してゐ
る。

スナツプ・ショット (Snap-shot) 銃で速
射すること。寫眞の瞬間撮影。寫眞の場合
だとスナツプだけでもその意味がある。

スパイ (Spy) 間諜、探偵。外國からわ
が軍事の秘密を盗みに來てゐるのもスパイ
だし、また左翼の運動の秘密を聞き出さう
とする刑事もスパイだ。また反對に敵方に
通じて味方の秘密を洩らすのもスパイだ。

スピード・アップ 速力を早めること。
飛行機、自動車、機關車、レレグイジョン
と今やスピード(速力)時代だが、もつと早
く(スピード・アップ)を社會は要求してゐ
る。

スマート (Smart) 敏捷、輕快、瀟洒、
才氣あり氣な——モダン・ボーイとしては

がれる。現在、蒙古にも中國にもソヴィエ
トがある。

ダラカン 墮落幹部の略稱。社會運動、
労働運動に於ける幹部で、闘争をサボリ、
或は資本家に款を通ずるなど、運動者とし
ての本分を忘れたるものを罵倒していふ。

タワリシチ ロシヤ語で同僚、同志と
いふ意。新ロシヤでは閣下とか殿とか御前
とかをつけて呼ぶやうな事なく、相手が誰
でもみなこのタワリシチをつけて呼ぶ。
たとへば一労働者が共産黨執行委員長カリ
ーニンを呼ぶやうな時でも「タワリシチ
カリーニン」である。

ツーリスト (Tourist) 漫遊者、觀光者。
ツーリスト・ビュローと云へば、ツーリ
ストを案内し、便宜を講じる局——觀光團
案内所或は旅客案内所。

テーゼ 運動方針。階級運動の戦略は戦
術を決定し、戦術は運動の方針、方法、形
態、スローガンを決定する。その方針が即
ちテーゼだ。

テクニク (Technic) 技術、要領、手
練などの意。
デパート デパートメント・ストア (百貨
店) の略語。現日本では比較的大資本に
よるデパートが小賣商人の商賣をすつかり

第一の條件だ。

スローガン (Slogan) 合言葉、標語、こ
れは一つの組織體の運動目標を示す爲に、
それ／＼の情勢に應じて決定されるが、近
來、運動促進、目的貫徹のために非常に重
要視されてゐる。

精神分析學 オーストリアの心理學者フ
ロイドが創始した新興の心理科學。人間の
行動はその意識的部分よりも無意識的部分
に支配される。従つて現實の精神を、その
意識下の根源まで掘り下げればならぬとい
ふ。他人に分析を行つて病氣を治療する資
格あるものを精神分析士といふ。わが國に
於ても精神分析學會なるものが設立されて
著書に講演に活動してゐる。

センセイション (Sensation) 評判、人氣
感動の意。
尖端的 モダン性中最も大膽、最も鋭敏
なることを差す。

ソヴィエト (Soviet) ロシヤ語の協議會
といふ意。新ロシヤが建設されてから世
界的になつた語。新ロシヤは農村、小學校
工場、自治民族等あらゆる組織の上にソヴ
ィエトを構成し、國家機關はその上に立つ
てゐる。だから第三インターナショナル指導
下の革命には必ずこのソヴィエト制度が數

吸收して、商店の王者となつてゐる。従つて
流行の尖端もこのデパートが切つてゐる。

デビス・カップ 米人デビス氏寄贈の賞
杯争奪に端を發した庭球だが、今や寄贈者
の個人名など離れて、すつかり「庭球世界
争覇戦」の代名詞となつてゐる。

デビュウ 音楽家なら處女演奏。役者な
ら初舞臺。

デマ デマゴギー(逆宣傳)の略。敵方の
事實無根の事をさも事實の如く傳へたり、
針小を悪誇張したりすること。プロレタリ
ア用語としては、かうすることを「デマを
飛ばす」といふ。元の意味は單に「民衆指
導者」。

デモ デモンストレーション(示威運動)
の略語。或る團體の威力を示し、或はその
意のある所を宣傳するため、その團體の成
員が隊を組んで見せる事。

テレヴィジョン 電送寫眞。電化とスピ
ードの時代は遂に、言葉の電送たる電話か
ら無線電信を生み、更らに形態の電送たる
電送寫眞を産んだのである。一九二七年ア
メリカ合衆國のベル實驗所の發明による。
今や日常の新聞にも實用化されてゐる。

テロ テロリズムの略語。テロリズムと
は合法的方法には勿論ならず、また非合法

的方法にしても一定の戦術及び戦術の基準
にもよらない恐怖的な暴力的手段。それが
反動的目的のために使はれれば白色テラー
といはれ、反對に現在の社會組織破壊の目
的を以つて使はれ、それが共産主義と關係
ありとされた場合赤色テラーと呼ばれる。
テンポ (Tempo) もとは音楽用語で樂曲
進行の速度をいふ語、一目見て惚れ合ふな
どは急テンポの戀。

トーキー (Talkie) 發聲映畫。フィルム
といつしよにレコードを廻す方法もあれ
ばまたフィルムの縁に音を刻んだ方法もあ
る。これによつて映畫は形、色の次の第三
のもの即ち音を獲得したことになるので、
この次は立體感をさへ出し得れば完全無缺
のものとなるわけである。アメリカの次に
はロシヤが今やトーキー製作に熱中してゐ
る。

トーナメント 試合、競技、特にテニス
に用ひる。

ドライ (Dry) 乾いてゐるといふ形容詞
轉じて酒氣無し之意。この店はドライか?
ビール位はあるだらうなどと使ふ。

トリオ 三重奏、三部合奏、だが普通三
人で一つの仕事をやるやうな場合にも用ひ
る。

トリック (Trick) 詭計。わな。
ナイン 野球チームは九人だから、それでその一方の組をいふ。
ナイス・ガール (Nice girl) 美しい女。これは餘り上品な語ではない。いふ女といふ程度の意味だ。あのカフェにはナイス・ガールが居るか。等といふ。
ナンセンス (Nonsense) 無意味といふ意味。だが、無意味のやうで或る意味を持つてたり、意味があるやうで無意味なもの。わが文學としてはモダン派の一派として最近に起つたものだが、徳川時代の戯作や落語もやはりナンセンスの祖先だと見なす人がある。

ニュース (News) 新聞。記事。珍事。報道。消息。電光ニュースといへば電光を利用したのニュース。
ネオ 「新しい」の意。ネオ・ロマンチズムといへば新ロマン主義、ネオ・リアリズムといへば新現實主義。
ノック・アウト (Knock out) 拳闘でリングの上へ相手を突き倒すこと、規定時間を過ぎると勝ちを宣される。野球だと敵方の投手を打ちまくること。
ハッピー・エンド 幸福なる結末。芝居でも小説でも映画の筋でも、正しく善なる

人が結局勝つて幸福なる結末を見るといふ俗受けのする筋をいふ。
パトロン (Patron) 保護者。後援。美術家などの生活を支へ、彼を自由にする藝術に精進せしめるため金を出してやる人。

ハンガー・ストライキ 餓死同盟。絶食同盟。囚人が牢獄内に於て彼等の或る目的を貫徹するため、團結し、食を絶ち、彼等自らの餓死によつて示威する同盟。
ピオニール 労働少年團。ソヴイェト・ロシアに於て組織的訓練を受けてある少年團。日本でも方々に現れ、大人の社會運動に参加してゐる。

ファツシズム (Fascism) 「イタリーに發生した獨裁反動主義。共産主義と最も尖鋭に對立する主義として、イタリーののみならず世界的に發生してゐる。ファツシズム化した社會民主主義を社會ファツシズムと呼ぶ。
ファン (Fan) ひるき。應援者。取り巻き。スポーツなり、或る人物なり、或る組織なりに異常な關心と興味とを持つて、これを聲援し、これを外部的に助ける。が、それはその内部にまで立ち入り、また飽くまでそれを助け、それと生死を共にするまでには至らない事をその特色としてゐる。

フアン (Fan) ひるき。應援者。取り巻き。スポーツなり、或る人物なり、或る組織なりに異常な關心と興味とを持つて、これを聲援し、これを外部的に助ける。が、それはその内部にまで立ち入り、また飽くまでそれを助け、それと生死を共にするまでには至らない事をその特色としてゐる。

抗の表示。アメリカ、特にシカゴ名物。即ち強盗なり、また警官が武器をとつて相手方を服従せしめるに際し、先づこれを求める。
マニキュール (Manicure) 美爪術。美人少女がこれに多く従事する。
マネキン 従来店頭で人形がやつてゐた廣告の役目を演ずる新商賣。
マルクス主義 ドイツ人カール・マルクス(一八一八—一八八三)が礎石を置いた革命的

世界觀。後ちレーニン等ボルシェヴィクに繼承されてロシア革命、ソヴイェト・ロシアの實現となり、現在スターリン等に繼承されて世界共産黨の理論をなし、各國プロレタリアートの政治經濟哲學藝術等あらゆる方面の運動の國際的規模に於ける指導理論をなしてゐる。
メトロ フランス語で地下鐵道のこと。
モダン (Modern) 當世風。この字は近代

的といふ意味だが、現在使用されてゐるのは「當世風」といふ意味に於てである。古い傳統には反對で思想上、流行上「新しい」が新興のプロレタリアには反對である。
モチ 勿論の略語。
モラトリアム (Moratorium) 支拂猶豫、法律によつて債務の支拂が一定期間猶豫さ

フラツパー (Flapper) モダンな運葉女の意。スカートをひらめかせ、脚線美を輝かし、無政府的な戀愛をし、氣が利いて、スマート、輕快な女、元々はヒラ／＼する意。

フリー・ランサー (Free-Lancer) 一つの映畫製作所(または新聞社)に屬さないで、その時々契約によつて何處にでも勤める男、女。語源は中世紀十字軍時代の騎士から。
プリマ・ドンナ (Prima donna) オペラの第一歌手。

プロ 四つの現代用語の略語をなす。その一。プロレタリア(ブルジョアに對する都會労働者階級)。その二、映畫やラジオのプログラム。その三、プロダクション(映畫製作所)。その四、プロスタチューション(淫賣)。なほプロ・キノといへば日本プロレタリア映畫同盟の略稱。
ペーゼー フランス語でキス。接吻。
ヘゲモニー 先優指導權。ヨーロッパで封建諸侯が同盟をつくり、誰がその盟主になるかといふ場合、誰がそのヘゲモニーを握るかといはれたのが始まりだと傳へられる。

ホールド・アップ 両手を上げての無抵抗の風景を利用して撮影するため、適當な場所に出張して撮影すること、野外撮影、出張撮影、略して單にロケ。

ロツク・アウト 閉め出し。工場閉鎖。(資本家が不況のため、或は労働者の争議に對抗するため、工場の經營を中止し、工場を閉ぢてしまふ事。)

ロボット 人造人間。チエツコの作家カール・チャベツクの命名による。機械にして人間のいろ／＼な仕事をなす。今日までのものはまだ好奇を満足せしめる程度に過ぎないがこれがもつと多角的に實用化される時代が來たら、機械化の極致として文化はすつかり改革されるだらう。

家庭知識

榮養

食物の榮養價は熱量を以て計算し、熱量を表すには、カロリーといふ語を用ゐる。カロリーとは清水一リットルを攝氏十七度から十八度に温むるに要する熱の量である。幾分の熱量は次の如くである。

蛋白質	一瓦	四・一	一瓦	四・一
脂肪	同	九・三	同	三・九
炭水化物	同	四・一	同	一・五

ビタミンC

壊血病を予防す

ビタミンD

佝僂病を予防す

ビタミンE

生殖機能を維持し不妊症を予防す

家庭常備薬

△重曹 重炭酸ナトリウム即重炭酸曹達の略名。胃酸過多症(所謂胸やけ)によく、吸入の材料に用ゐられ、また豆のやうなものを柔く煮るに役立つ。

△硼酸 危険のない消毒薬である。水には極少量(三百分の一)位しか溶けない。四匁を水二合に溶かせば一般のうがひ料となり、目にやにが滲むのを拭ふため、楊枝を使ふことの出来ない幼児や乳児の口中を拭くため、その他用途極めて広い。

△ヒマシ油 食すぎや食あたりで腹痛のときにこれを呑むと悪いものを下して下ふ。分量は大人ならば三十グラムから二十五グラム、子供ならば二匙位。これは假令飲み過ぎても殆ど悪い不快な副作用はないから、安心して用ゐられる。瀉腸用には△リスリン 本名グリセリン。瀉腸用には

蜜柑、レモン等の果實、トマト、大根、サラダ等の野菜、乳汁等に多く含有せられる

ビタミンAと共存すること多し
米、麥の胚、葉緑素植物、油類に存在す

は五十倍の用ゐる。

△絆創膏 絹絆創膏、ゴム絆創膏及び亜鉛華絆創膏がある。亜鉛華絆創膏が一番宜しい。絆創膏は皮膚にガセや脱脂綿などを止めるために用ゐるもので、すりむき傷などに貼つてはいけない。

△ビツク氏硬膏 顔にニキビなど出来た時これを小さく切つて貼り付けて置くと膿まらずに吸収される。

應急手當

△卒倒 患者を仰臥させ衣類を弛め殊に胸部を露出させ呼吸を容易ならしめる。次に顔面と胸部とに冷水を吹きかけ、又は鼻さきにアンモニア水、芥子などを吸入させる。鳥毛などで鼻腔内を刺戟するもよい。その他芥子泥を頂部又は足部に貼るも一方法である。これでも尙ほ知覺を恢復しなければ人工呼吸法を施す。知覺を得たならば濃い

茶、コーヒー又は酒類を飲ませる。この場合患者は静な所に置かれねばならぬ。腦充血の卒倒ならば頭を高くして冷されねばならぬ。

△昏睡、ひきつけ、身を安静にして頭部を高め顔部赤色なるか又は發熱あれば頭に氷嚢を置き、次に足部を温める爲め湯タンポ熱湯(薄く芥子をとかした)で絞つたタオルで足部をまくか又は胸部(乳房と乳房との間)に芥子泥を塗るといふ時もある。一般にひきつけた場合にはリスリン又は石炭酸水で瀉腸するがよい。

△凍死 温い室に運び入れる前に水で絞つた布片で身體各部を摩擦し體温が出たらば温室に運び入れ温い衣類で保護し四肢は熱布で包む。尙ほ興奮劑として茶、珈琲、酒類を與へるがよい。

△鼻出血 脱脂綿又は細く切つたガセで鼻腔内を塞ぎ、鼻部に軽い氷嚢をあてる。尙ほ止まれば明礬水、過クロール化鐵液に浸したガセを詰める。
△口腔出血 殺菌して脱脂綿、ガセを以て強く壓迫するか、食鹽又は硼酸の一茶匙を水二合に溶かしたもので含嗽する。
△咯血 安静にして談話などせず、コップ半杯乃至一杯の食鹽水を飲ませる。

家庭知識

△腸出血 腹部に微温濕布をする。痔出血と間違ひ易いから注意を要する。

△痔出血 温浴後アドレナリン坐薬、イヒチオール坐薬を押し込み、若し痛みが劇しければ肛門部を氷嚢で冷却する。

△急性出血 四肢の創傷ならば傷口の上方部を手拭、布片又は軟いゴム管で縛り、同時に殺菌したガセ又は脱脂綿及繃帯で創口を縛り、傷いた四肢を少し高く擧げて居る。創口に不潔物があれば清水、硼酸水、又は石炭酸水で洗つた後右の方法を取る。△菌類及びぶぐ中毒 早く吐き出させるがよい。氷片を飲み込ませ心臓部に芥子泥を貼る。これ應急の手當である。速に醫治を乞はねばならぬ。

△鮪、青魚類、貝類、蝦類の中毒 胃の内容物を吐き出させ、ヒマシ油を飲ませ、急に下痢せしめ、重曹水(コップ一杯の水に重曹一茶匙を溶かしたもの)を飲ませ、又は氷水、茶などを與へる。

△瓦斯中毒 新鮮な空氣の所に運び去り、人工呼吸を行ひ、意識が回復したら興奮劑を與へる。

△急性アルコール中毒 冷水、濃い茶、珈琲等を與へて安臥させる。永く冷氣に當つた場合には温い室に運び、又た腦溢血を起

した者は頭部を冷す、さめたら茶、珈琲等を與へる。

△蟲類の刺傷 アンモニア水又は砂糖をつけ更に二パーセントの鉛糖水で冷毒法を施す。

△蛇類の咬傷 直に傷口の上部を布片で固くしばり、血行を止め、創口を十分吸引するか或は局部を少し切開して出血せしめ、十分吸引する。次に局部を沃度丁幾、三パーセントの硝酸銀水乃至石炭酸で腐蝕せしめ、尙ほ二パーセントの過マンガン酸加里液でよく洗滌し、且つ同一液で毒法する。同時に興奮劑を與へて體温を保つやうにする。犬、猫、鼠等も大體上の手當をする。但し、犬は狂犬病の恐があるから速に醫師を招かねばならぬ。

△火傷 指先その他小さい場所を火傷した時は直に紙に飯粒を、稍厚い位に練り着けて、その火傷の部分に貼り、空氣に觸れさせぬやうにきりで結び、紙が自然に剥がれて来るまでその儘にして置く。稍々廣い面積を火傷した場合に、油を塗るか或は灰汁の中に入れて一時の苦痛を凌ぎ、速に醫師の手當を受くべきである。

△人工呼吸法 これに二法ある。第一法は假死者の衣類を脱がせ仰臥させ、枕又は疊

んだ衣服を腰の下に置く。術者はその上に跨がり両手で患者の胸側乳房の下(胸の下)を力こめて静に上方(頭の方)に壓迫し、肺、肋骨を上舉して呼吸状態とし、次にその手を放して呼吸状態とする。右の方法を継続する。

時間は一時間以上を要する。その回復する速度は一分間に約十五回(大人の呼吸数)即ち術者の呼吸に合せて行へば宜しい。これを行ふ際注意すべき事は助手をして常に死者の口を開け舌を外方に引き出させることである。第二法は假死者の衣類を脱がせ仰臥させ胸下に枕を置き假死者の両手を胸側に置き術者は假死者の頭部に坐り假死者の両腕の中間即ち肘の所を両手にて持ち假死者の頭の方へ舉げ次に静に元の位置にかへす。かうすれば前者は呼吸となり後者は呼吸となる。その速度及び継続時間は前法同様である。場合によつては第一法及び第二法を併用するも宜しい。

しみぬき

△血 卸大根を局部にのせ暫くその儘にして置く。この方法を数回繰返すと大抵きれいになる。

△肉汁や膿 揮發油又はベンジンで脂肪

黒い物は單に冷水で洗ふが、普通の石鹼で洗ふ。仕上げに黒物は布糊、白物はひめのりをつける。麻物に米の磨汁は禁物である。△絹物 石鹼水二升五合にアムモニア一匙の割合で洗濯水を作り、それで洗つて後に清潔な微温湯で濯ぎ、絞らずに干せば艶が出て綺麗になり地質も損じない。絹の洗濯に注意すべきは、絹布の目方に對して適度の石鹼水を用ゐること、絹布百匁に對し石鹼六匁から九匁迄が丁度適度で、それだけの石鹼を初め少量の熱湯で溶き適當の水を入れた盥の中に入れて揉まない様に靜かに洗ふ。

△毛絲編物 毛糸編物の洗濯には普通の石鹼よりも粉石鹼、マルセル石鹼、ラツクス等がよく、方法はそれを溶かした水の中に編物を入れて漬けて置く。それだけで垢は取れる。決して揉み洗ひしてはいけない。垢の取れた編物は水洗ひして日蔭乾しにし、乾いてから一度蒸せば綺麗になる。△革の手袋 革の手袋は牛乳や石鹼で洗ふと皮がゴワ／＼になつて困ることがあるから注意を要する。これを洗ふには始めベンジンに三十分程漬けて置き、手にはめて摩擦すると綺麗になる。

分を去り微温湯で洗ふ。△乳汁 水で落ちない時はアムモニア水研砂水又は揮發油で洗ふ。決して高温に加熱してはならない。△鐵錆 薄い酸の温液又は熱液で洗ふ若し酸で染色を損する虞あらばグリセリンと石鹼を適宜に混ぜた液を塗り數時間放置する。

△墨や朱 布のり、姫のり、飯類、小鳥の糞で揉み出して除く。

△トリモチ 先づ種子油で除き去つた後油分を揮發油又はベンジンで除く。

△酢 薄いアムモニア水で洗ふ。

△煙草のやに アルコール、揮發油又は味噌汁で洗ふ。

△インキ 煮え立つた牛乳で拭けば大抵落ちる。それでも落ちない時はレモン汁で洗ふと善い。

△酒 研砂液に少量のアムモニア水を加へて處理する。

△泥 絹のやうな上質の薄物に泥が附著した時には、その儘泥をよく乾かしてから指先で揉み落し、更に柔いアラシで拂ひ、最後に重曹の溶液に浸したフランネルのきれで泥の附著した後をこすれば綺麗にとれる。

△尿 酢をよく浸み込ませてから水で洗ひ出す。△汗 水二合にアムモニア水を盃に一杯混ぜた液で洗ひ、清水で能く濯ぐ。△車の油 揮發油で拭き取るか或は揮發油の中へその部分だけを浸し靜に揉む。卵のしみも同様の遣り方で取れる。

洗濯の仕方

△木綿物 石鹼や洗濯ソーダで洗つてもよし、又米の磨ぎ汁にソーダを入れて洗ふもよい。紺物は絶対に石鹼を使はず、少量の酢を入れて洗ふと紺の色がよくなる。△カラゝ 洗濯曹達と石鹼で普通の通りに洗ふ。餘り汚れが落ちなければ、一パーセントの漂白粉の液に一分間浸して十分水洗ひする。仕上げ糊をつけて乾燥し、きりを吹いて火のしをかける。

△足袋 粉石鹼を熱湯に溶かし、その中に足袋をつけて二十分許り蒸してからアラシで擦り洗ひ、底はタワシに石鹼をつけて擦る。十分汚れが取れたらよくすすぎ出す紺足袋は粉石鹼を溶かした水に少量の醋酸を入れ、その中にやはり二十分位浸してから前と同様に洗ふ。△麻物 白い物は粉石鹼を冷水に溶かし

乳兒發育標準

Table with columns for age (months), sex, weight, and height for infants. Includes data for 1-7 months.

幼兒發育標準

Table with columns for age (years), sex, weight, and height for children. Includes data for 1-6 years.

小兒の體温と脈搏

體温は日本流儀では脇下と股とを計る。體温を計る檢温器には一分計といふものがあるが通常體温を計るのには一分位では駄目で、大抵五分位か太いものになると七八分かけておくがよい。肛内などで計る方法もあるが、わが國ではあまり行はない。體温は通常子供では朝が三十六度四分、夕が三十六度七八分位あるが普通で、朝夕の差は四五分位が常である。その差が一度以上にお

よぶときは異常のある時である。子供に
ると朝夕の體温が前の標準よりも二三分位
高いものもある。さういふのは體質の關係
から起つてゐるので、濕疹などのでき易い
様な子供に往々ある。それから體温を計る
場合に心得ておくことはあはれたり、さわ
いだりした直後だと五、六分位高いことが
ある。例へば夏などに子供をあつめて十分
間相撲をやらして、その前とその後で計る
と、子供によつては一度位高くなるものが
ある。これと同じで非常に子供が泣いた後
に計ると、時によつて三分から五分高くな
ることがないともいへない。それから脈
と呼吸であるが、これは年齢が少なければ
少ないだけ、寝てゐる時に計らないと誤り
易い。子供は非常に周囲に反應しやすいか
ら、起きてゐる時に計ると本當の數を得ら
れない場合が多い。脈や呼吸の數は一分間
どの位かといふと年齢によつて異なるが大
體は次の通りである。

Table with columns for age (年齢), pulse (脈), and respiration (呼吸). Rows include '生れた時分', '満一歳', '七歳頃', and '十三歳頃'.

種痘

嬰兒は生後七十日目位から種痘を施しても
差支へないが、一般に六ヶ月月から十ヶ
月目位の間に打られる。この期間の小児は
身體の抵抗力も強く知覚が遲鈍であるか
ら、種痘によつて起る苦痛は割合に少い。
生後七十日未満の小児には天然痘がひどく
流行してゐないかぎりは見合せた方がよろ
しい。種痘の時期は春と秋が一番適してゐ
る。といふのは室内にゐても汗が流れる程
でもなく従つて皮膚病と直接關聯しないか
らである。天然痘流行の時以外は夏の種痘
は避けねばならない。未痘者に接種した時
二日目の終りにその局部を見ると創痕が残
つてゐるばかりで三日目になると局部に輕
い炎症が起り少し膨れて来る。四日目には
尖端に水泡が出来て痒くなる。發熱するの
は八日目ごろで十二日目には次第に炎症も
消えてゆく。

住居と日光

「光線の來ぬ所には醫者が來る」といふ諺
がある。住居には日當りのよいといふこと
が第一要件である。出来ることならば家屋
の凡ての部分に日光を得たいのだが、少く

井戸水の消毒

井戸水を完全に消毒して、飲料に適するや
うにするには、まづ漂白粉十匁をビール瓶
に入れ、水を加へよく振り交ぜて堅く栓を
して置く。これを井戸水が五石位ならば漂
白粉一匁(前記の方法でビール瓶に拵へた
ものならば十分の一)を入れ、釣瓶を動か
しなどしてよくまざるやうにする。この方
法を一日に二回(午前九時、午後九時)行
へば、完全に消毒される。

乳齒

乳齒は普通生後七八ヶ月頃から生えるが、
稀には一年経つても生えぬこともある。最
初下顎に前齒(内門齒)が二枚生え、満二
ヶ年頃までには全部二十枚が出揃ふ。その
順序は、
下顎内門齒(二枚) 六一七月
上顎内門齒(二枚) 七一八ヶ月

蚤の退治法

蚤の爲めに安眠が妨げられることは、甚だ
大なるものであるが、それ許りでなく蚤は
メストの媒介者として極めて危険なもので
ある。これを退治するには大掃除の時に疊
を上げて縁について居るゴミを綺麗に拂ひ
落とし、疊を日光に少くも五時間位さらして
置く。床の上のゴミも綺麗に取る。このゴ
ミが蚤の卵の棲息地である。疊を床の上に
敷く時に、床に新聞紙を敷き詰めて、疊を
敷き、疊と疊との間にナフタリン粉を入れ
る。(ナフタリン粉は、疊一枚當り五匁位
入れれば宜しい。値段は百二十匁で二十錢
位。)蚤は疊の合せ目から飛び出すのだから、
ナフタリン粉は床一面にまく必要はない。
押入れ等も常にゴミを拂つてナフタリ

ン粉をまいて置く。この方法を一年に二度
も行へば家庭内で繁殖する蚤は退治が出来
る。

釣魚ごよみ

Table listing fishing bait (釣魚ごよみ) by month from January to June. Includes items like (河)ふな, (海)はぜ, (河)かき, etc.

Table listing fishing bait (釣魚ごよみ) by month from July to December. Includes items like (河)鮎, (海)すゞき, (河)うなぎ, etc.

趣味・娯楽

競馬

競馬の歴史

我が國古來から各地に競馬はあつた。賀茂の祭禮に行はれる競馬は殊に有名であつた。しかし明治維新後外國の競馬に倣つて行つた競馬の最初は北海道札幌で、明治十一年開拓使育種場内に楕圓形馬場を作り競馬規則を發表して春季に發行したことで、續いて明治十二年十二月馬匹増殖の主旨で三田育種場(今の四國町)に開催されたのが本土での嚆矢。札幌競馬はこの後身で明治天皇の天覽を賜はつたこともあつた。三田の方も民間の催しで、東京ではその後不忍池畔、戸山學校で行つたこともあつたがこれは全部廢滅してしまつたのである。明治十五年在留外國人が設立し馬券を賣る競馬を始めたのが日本レース・クラブの前身で、これと相前後して函館競馬が行はれることとなつた。しかし馬券を賣らないう競馬は永續の可能なく、函館の他は全部

滅して日本レース・クラブのみが隆々としてゐた。その後日露戰爭によつて馬匹の不足不備が國家に大影響を持つことを悟り、こゝに明治三十九年政府の許可を得て府下池上に東京競馬會が設立された。これが我が國の眞の意味の馬券發賣の元祖であつた。その成績がよいので引つゞいて、川崎、松戸、目黒、板橋、京都、鳴尾、小倉、宮崎、新潟、藤枝、札幌等新設或は復興して大變な勢ひであつたが、種々の弊害が起つて來たといふ理由で、四十一年松戸秋季を終りとして馬券を禁止されることになり、我が競馬はこゝに一頓挫することになつた。政府は競馬規程を設けて補助金を出して繼續方を講じたが到底挽回の策なきを知り、大正三年には現在の地方競馬とやゝ相似たる勝馬投票券を添へ投票の中者に景品券を贈るといふ姑息手段を考へ出したが、これとて衰頹を防ぐのみの方法で、一方明治四十四年東京、小倉、京都、藤枝(今の福島)、新潟、松戸(今の中山)、札幌、函館宮崎の九競馬の代表者が協議して毎年秋定會を開くことになつた。これが現在の帝國競馬協會で大正九年阪神、日本も加はり社團法人として許可されこゝに大同團結を遂げ、十數年に互る馬券復活の運動に熱中

し、漸く大正十二年第四十七議會で政府提出の競馬法案が通過し七月から實施され、昭和四年及び昭和五年、更に昭和六年と三度大改正が行はれ、復活後十年益々基礎固く、今や競馬黄金時代が築かれんとする。以上は全國十一ヶ所と限定された公認競馬についての事であるが、全國各府縣には畜産組合聯合會の主催によつて許可される地方競馬がある。これも近來異常な向上進歩を示し、設備等も殆んど公認競馬の域にまで到達せんとしてゐる。

競馬協會の事業

帝國競馬協會は馬匹の血統と能力の登錄を受付け血統書を發行して、産馬事業の大方針を定むると共に外國より優秀なサラブレッド種牡馬を購入して馬匹改良の實を擧げるべく、又騎手の講習、荷車の改良、馬政史編纂の大事業を完成、毎季成績報告書を刊行する外會報を月二回發行して一般に馬事思想の普及を計つてゐる。又地方競馬や乘馬大會に副賞を贈り、優良馬の生産者や所有者に賞金を贈つて馬匹改良に努力してゐるのである。

競馬の現状

公認競馬：日本十一ヶ所の公認競馬は帝國競馬協會(東京市芝區新樓田町)に於

てその事務一切を統轄連絡してゐる。出走馬の名登録、血統登録、騎手の服色登録等を行ひ、この登録を完了せざる馬は、公認競馬に出走せしめない事になつてゐる。各俱樂部毎に一年春秋二季開催して賣上げる勝馬投票券の金額は頗る尠大な數字を示しその一割五分を俱樂部の手数料及び政府納金に充てるのであるが、農林省に入るこの政府納金も従つて年額二百萬圓に近く、これは一部を救護法の財源に充てることになつてゐる。その財源となる勝馬投票券は全國十一ヶ所所殆んど凡て二十圓券で單複一枚づゝ買ふ事が出来る。最高拂戻は二百圓と限定されてゐる。

地方競馬：勝馬投票券は一枚一圓で、公認競馬の二十圓券に比して、大衆的であるため、フアンの数は頗る多く、三日間の一季開催中に百萬圓を賣り上げる程の盛況である。昭和八年八月より農林省令により規則改正され、公認競馬同様、馬名登録、騎手登録等の事務を帝國馬匹協會(芝區内幸町東洋ビル内)に於て統轄してゐるが、全國百ヶ所に近き地方競馬の連絡は相當困難とされ、將來幾多の改善が必要とされてゐる状態である。

クラシック・レース記録

趣味・娯楽——競馬

- ▼東京優駿(二千四百米) 九年春
フレイモア 55 大久保龜 三・四〇
- ▼このレースは明け四歳馬最初の犬競走で英國競馬界のダービー・レースと同じシステムによる競走である。本賞金一萬圓餘に上り、我が國最高の賞金が賭けられる重大な競走である。
- ▼阪神四歳牝馬(二千米) 九年春
グロリア 53 武田文 三・九〇
- ▼これは東京ダービーに對して、英國のオークス・レースに範をとつたもの、明け四歳牝馬のみを出場せしめる本賞五千萬圓の競走。
- ▼阪神四歳牝馬(二千四百米) 八年秋
エツフォード 60 武田文 三・三三
- ▼春は二千米、秋は四歳馬の成熟を見て距離を延長してある。
- ▼札幌ステークス(二千米) 八年秋
ボニータヤメル 56 青山 三・九〇
- ▼北海道産の四歳牝馬の競走で、北海道唯一のクラシック・レース、このために札幌競馬俱樂部としては過大な三千圓の一著賞金を出してゐる。
- ▼中山ステークス(二千四百米) 八年秋
レッドサン 59 古川政 三・三〇

(四歳牝馬のためのステークスで、東京優駿以後の名馬の進境を見るべき重大な意義を持つてゐる。本賞三千五百圓、附加賞五千圓内外の大賞金である)

農林省賞典(三千二百米)

- 東 八秋ハツヒラ 徳田 三・四四
- 京 九春ワカミチ 尾形 三・四〇
- 阪 八秋カブトヤマ 大久保房三 三・三三
- 神 九春スターカッパ 中島 三・三二
- ▼このレースは農林省の大賞金を獲得する長距離競走、前季新呼競走に於て一、二三者に入つた馬を出場資格としてゐる。

中山五歳馬特別(三千二百米) 八年秋

- ハクコウ 60 尾形 三・二六
- ワカミチ 50 二本柳 四・一四
- ▼五歳呼馬のレースで、重量は長距離レースの勝利度數により増加削減される。
- ▼東京五歳馬特別(二千四百米) 春秋
ハクセツ 70 田中和 三・三〇
- ワカミチ 62 尾形 三・四六
- ▼中山と違ふ點は四歳當時競走出場した馬といふ條件が加はつてゐること、重量がハンデイクヤツプになつてゐることである。

横濱特別(三千二百米) 春秋